
亀岡市 高齢者等実態調査（令和4年度）
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
3. ご家族や生活状況について	3
(1) 家族構成	3
(2) 暮らし・住まいの状況	4
4. からだを動かすことについて	12
(1) 運動・転倒の状況	12
(2) 外出の状況	16
5. 食べることについて	25
(1) 口腔	25
(2) 栄養	33
6. 毎日の生活について	35
(1) 物忘れ	35
(2) IADL の状況	37
(3) 社会との関わり	40
(4) 趣味・生きがいについて	46
7. 地域での活動について	49
(1) 地域活動づくりへの参加状況	49
(2) 地域活動づくりへの参加意向	54
8. たすけあいについて	56
(1) 周囲との相互の関係	56
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	60
(3) 友人・知人との関係性	61
9. 健康について	64
(1) 健康状態	64
(2) 飲酒・喫煙	70
(3) 病気の状況	72
(4) 日常生活の状況	77
(5) 通院等の状況	82
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	84
(1) 認知症の症状の有無	84
(2) 認知症の相談窓口の周知状況	85
11. 介護保険サービスについて	86
12. その他	96
13. 生活機能評価等に関する分析	102

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、第9期亀岡市介護保険事業計画を包含する「亀岡市いきいき長寿プラン」を策定するにあたり、高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズ、健康づくりや生きがいづくりに関する意識などを的確に把握し、「亀岡市いきいき長寿プラン」に反映させる基礎資料として活用するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象者	令和4年11月1日現在で65歳以上の高齢者の中から層化抽出（市内3圏域・要介護1～5を除く）
実施期間	令和4年12月13日（火）～12月28日（水）
実施方法	郵送配布、郵送回収

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
2,250件	1,405件	1,399件	62.2%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。
6. 前回調査とは、第8期計画策定時（令和2年3月）に実施した同調査結果を掲載。

2. 回答者の属性

		全体	認定該当状況				
			一般高齢者	要支援 1	要支援 2		
全体		1,399人	1,331人	50人	18人		
		100.0%	95.1%	3.6%	1.3%		
性別	男性	675人	646人	21人	8人		
		100.0%	95.7%	3.1%	1.2%		
性別	女性	724人	685人	29人	10人		
		100.0%	94.6%	4.0%	1.4%		
年齢	65-69歳	332人	330人	1人	1人		
		100.0%	99.4%	0.3%	0.3%		
	70-74歳	402人	393人	7人	2人		
		100.0%	97.8%	1.7%	0.5%		
	75-79歳	309人	303人	5人	1人		
		100.0%	98.1%	1.6%	0.3%		
年齢	80-84歳	209人	191人	15人	3人		
		100.0%	91.4%	7.2%	1.4%		
年齢	85歳以上	147人	114人	22人	11人		
		100.0%	77.6%	15.0%	7.5%		
	性・年齢	男性	前期高齢者	364人	359人	4人	1人
				100.0%	98.6%	1.1%	0.3%
	性・年齢	男性	後期高齢者	311人	287人	17人	7人
				100.0%	92.3%	5.5%	2.3%
性・年齢	女性	前期高齢者	370人	364人	4人	2人	
			100.0%	98.4%	1.1%	0.5%	
	女性	後期高齢者	354人	321人	25人	8人	
			100.0%	90.7%	7.1%	2.3%	
圏域	市街地		496人	478人	12人	6人	
			100.0%	96.4%	2.4%	1.2%	
	中山間部		462人	432人	22人	8人	
			100.0%	93.5%	4.8%	1.7%	
圏域	山間部		441人	421人	16人	4人	
			100.0%	95.5%	3.6%	0.9%	
家族構成	1人暮らし		220人	199人	13人	8人	
			100.0%	90.5%	5.9%	3.6%	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)		604人	580人	18人	6人	
			100.0%	96.0%	3.0%	1.0%	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)		79人	76人	3人	-	
			100.0%	96.2%	3.8%	-	
家族構成	息子・娘との2世帯		369人	355人	12人	2人	
			100.0%	96.2%	3.3%	0.5%	
家族構成	その他		109人	105人	3人	1人	
			100.0%	96.3%	2.8%	0.9%	

3. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

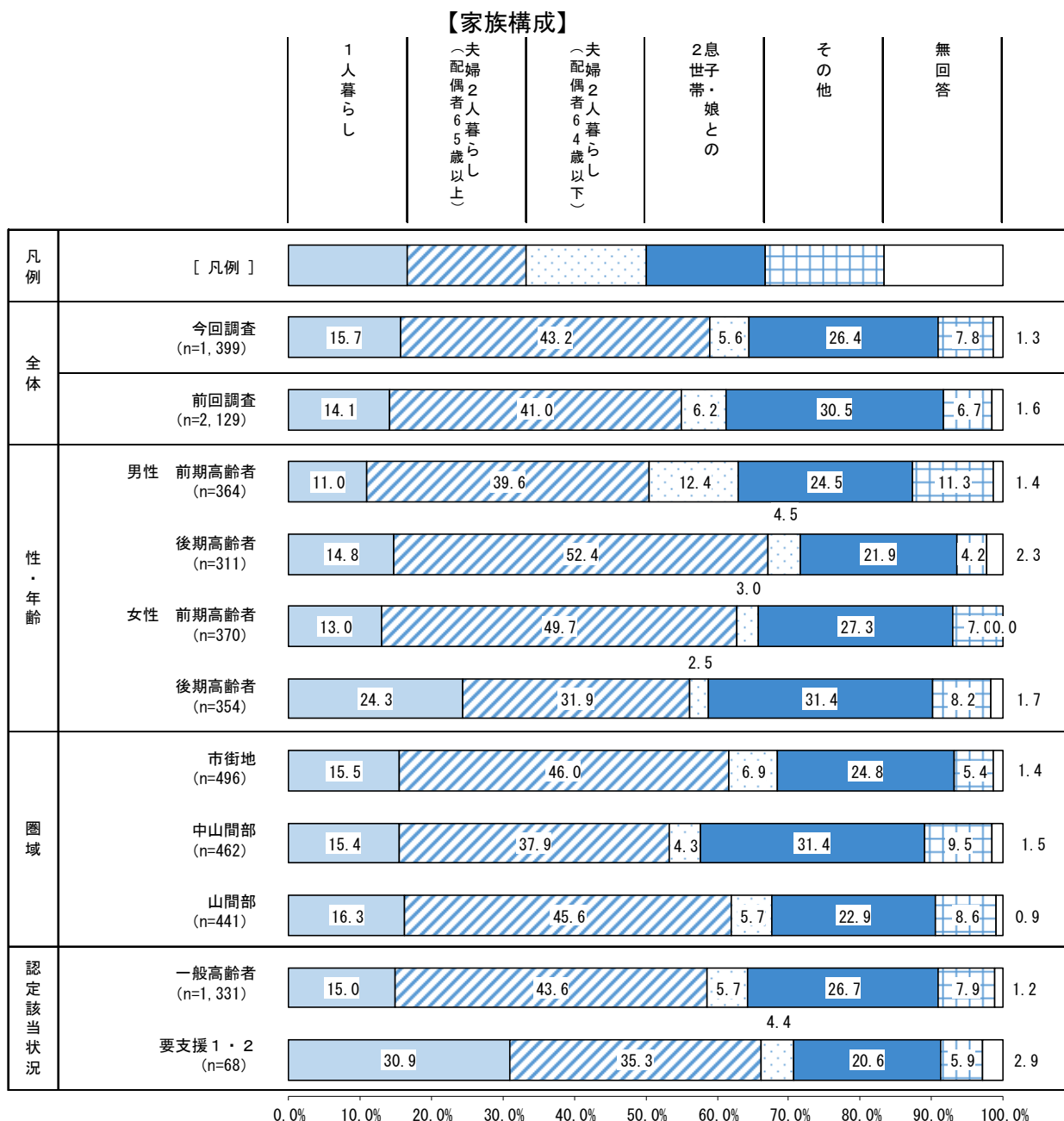
●問1(1) 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

【全体】
 ○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 43.2%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が 26.4%、「1人暮らし」が 15.7%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が多くなっています。

【性・年齢】
 ○ 「1人暮らし」は男性 後期高齢者が 14.8%、女性 後期高齢者が 24.3%と女性で多くなっています。

【圏域】
 ○ 中山間部は「息子・娘との2世帯」が 31.4%と多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「1人暮らし」の割合は一般高齢者では 15.0%、要支援1・2では 30.9%と約2倍になっています。



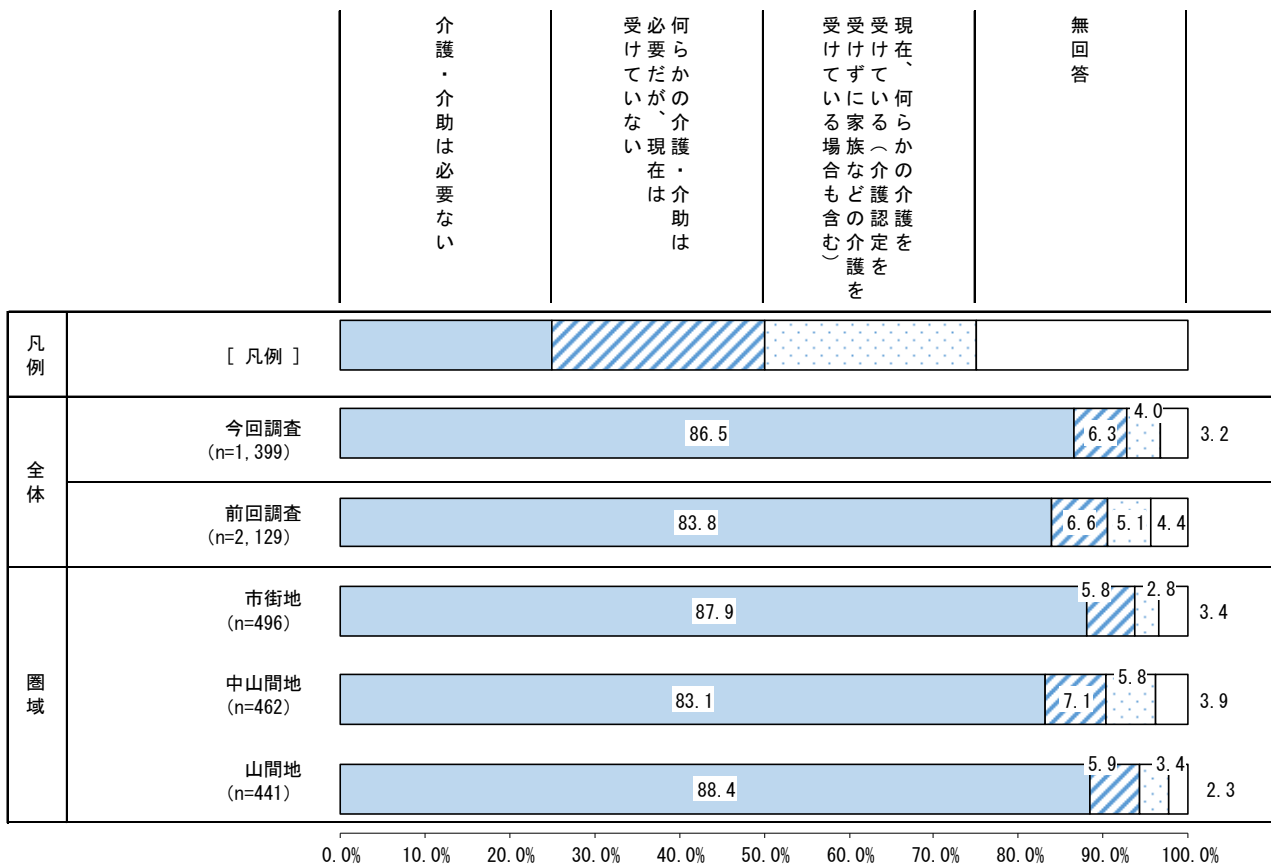
(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

【全体】
○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が86.5%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が4.0%となっています。
○ 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護・介助が必要”は10.3%（前回調査11.7%）となっています。
【圏域】
○ 「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」は中山間部が5.8%と多くなっています。

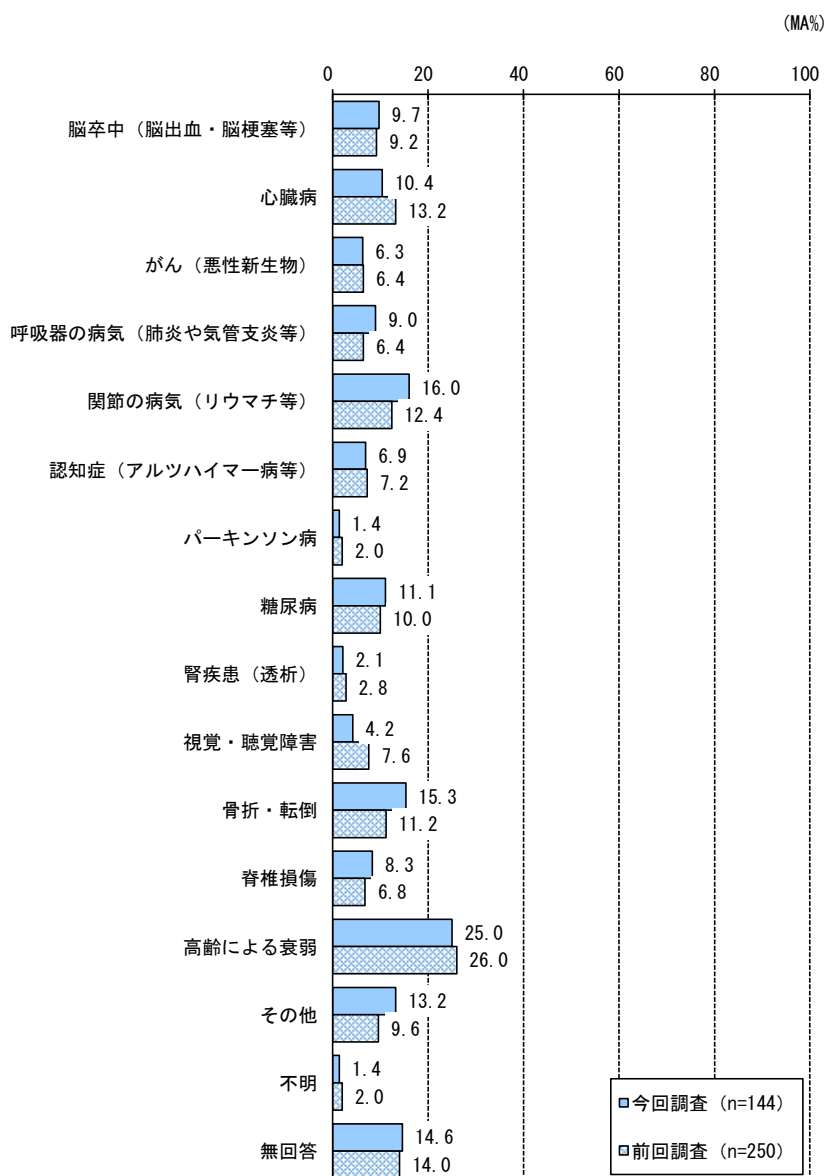
【介護・介助の必要性】



●問1(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

- 【全体】**
- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が25.0%で最も多く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」が16.0%、「骨折・転倒」が15.3%となっています。
 - 前回調査と比べて、「高齢による衰弱」が少なくなり、「関節の病気（リウマチ等）」や「骨折・転倒」などが多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男性 前期高齢者では「脊椎損傷」、女性 前期高齢者では「関節の病気（リウマチ等）」が多くなっています。
 - 男女ともに後期高齢者では、「高齢による衰弱」が多くなっています。
- 【圏域】**
- 「高齢による衰弱」がすべてで最も多くなっています。
 - 中山間部では「関節の病気（リウマチ等）」が21.7%、山間部では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」や「糖尿病」が14.6%と多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 要支援1・2では、「高齢による衰弱」が28.9%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が24.4%、「関節の病気（リウマチ等）」が20.0%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



単位：%

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
		(脳卒中・ 脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	(がん (悪性 新生物))	(呼吸器の 病気を 含む)	(関節の 病気を 含む)	(認知症 (アルツ ハイマー 病等))	パー キンソン 病	糖尿 病
全体	144	9.7	10.4	6.3	9.0	16.0	6.9	1.4	11.1
性・年齢	男性 前期高齢者	17	5.9	5.9	5.9	11.8	11.8	-	17.6
	後期高齢者	38	18.4	15.8	-	15.8	7.9	2.6	13.2
	女性 前期高齢者	19	10.5	5.3	5.3	△ 26.3	-	-	5.3
	後期高齢者	70	5.7	10.0	10.0	7.1	14.3	7.1	10.0
圏域	市街地	43	4.7	14.0	7.0	9.3	14.0	7.0	9.3
	中山間部	60	10.0	13.3	3.3	10.0	21.7	6.7	10.0
	山間部	41	14.6	2.4	9.8	7.3	9.8	2.4	14.6
認定該当状況	一般高齢者	99	8.1	7.1	9.1	8.1	14.1	8.1	13.1
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	45	13.3	17.8	-	11.1	20.0	4.4	6.7

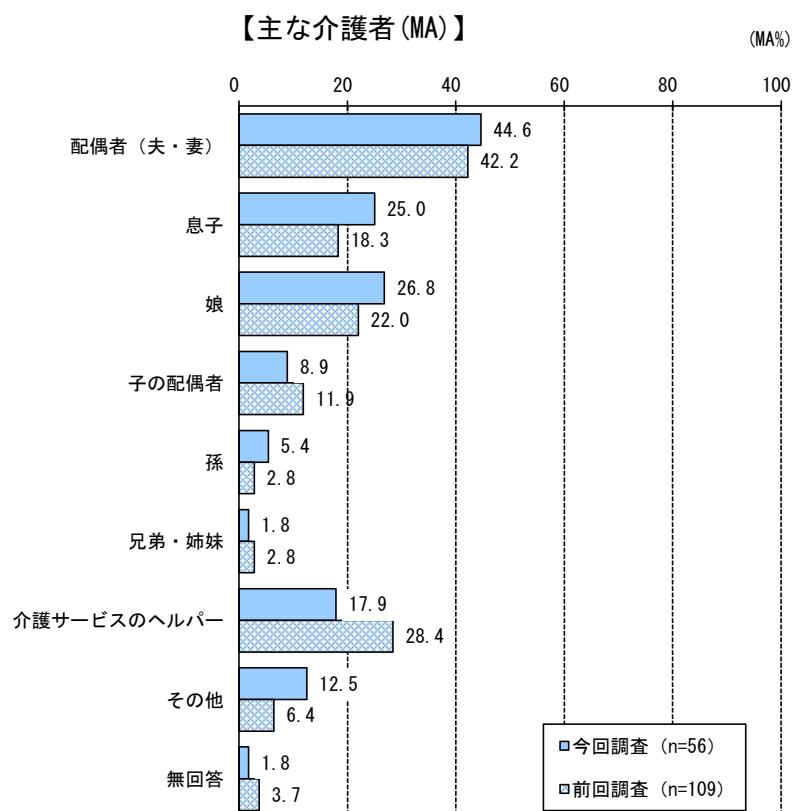
単位：%

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							無 回 答	
		腎 疾患 (透 析)	視 覚・ 聴 覚 障 が い	骨 折・ 転 倒	脊 椎 損 傷	高 齢 に よ る 衰 弱	そ の 他	不 明		
全体	144	2.1	4.2	15.3	8.3	25.0	13.2	1.4	14.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	17	-	-	-	△ 23.5	23.5	17.6	5.9	17.6
	後期高齢者	38	2.6	5.3	15.8	7.9	23.7	7.9	2.6	13.2
	女性 前期高齢者	19	-	-	▼ 5.3	15.8	▼ 5.3	15.8	-	10.5
	後期高齢者	70	2.9	5.7	21.4	2.9	31.4	14.3	-	15.7
圏域	市街地	43	2.3	-	18.6	7.0	23.3	14.0	-	9.3
	中山間部	60	1.7	3.3	16.7	6.7	23.3	15.0	3.3	18.3
	山間部	41	2.4	9.8	9.8	12.2	29.3	9.8	-	14.6
認定該当状況	一般高齢者	99	2.0	5.1	11.1	7.1	23.2	15.2	2.0	18.2
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	45	2.2	2.2	24.4	11.1	28.9	8.9	-	6.7

② 主な介護者

●問1(2)-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」が44.6%で最も多く、次いで「娘」が26.8%、「息子」が25.0%となっています。 ○ 前回調査と比べて、「介護サービスのヘルパー」が少なくなり、「配偶者（夫・妻）」や「息子」「娘」などが多くなっています。 <p>【性・年齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性 後期高齢者では、「配偶者（夫・妻）」が46.7%と多く、女性 後期高齢者は、「配偶者（夫・妻）」「息子」が37.0%と多くなっています。 <p>【圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山間部と市街地では、「配偶者（夫・妻）」が60.0%、57.1%と多くなっています。中山間部は「息子」が37.0%と多くなっています。 <p>【認定該当状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 要支援1・2では、「配偶者（夫・妻）」が39.3%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が32.1%、「娘」が28.6%となっています。 <p>【家族構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1人暮らしでは「娘」が50.0%、「介護サービスのヘルパー」が35.7%と多くなっています。
--



単位：％

		母数 (n)	主な介護者(MA)								その他	無回答
			配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護 サービス への			
全体		56	44.6	25.0	26.8	8.9	5.4	1.8	17.9	12.5	1.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	7	42.9	-	-	-	-	-	-	△ 42.9	14.3	
	後期高齢者	15	46.7	33.3	20.0	6.7	-	6.7	26.7	20.0	-	
	女性 前期高齢者	7	△ 71.4	▼ 14.3	28.6	-	-	-	-	-	-	
	後期高齢者	27	37.0	29.6	△ 37.0	14.8	11.1	-	22.2	3.7	-	
圏域	市街地	14	△ 57.1	▼ 7.1	35.7	-	-	7.1	14.3	21.4	-	
	中山間部	27	▼ 29.6	△ 37.0	25.9	14.8	11.1	-	25.9	7.4	3.7	
	山間部	15	△ 60.0	20.0	20.0	6.7	-	-	▼ 6.7	13.3	-	
認定該当状況	一般高齢者	28	50.0	25.0	25.0	7.1	7.1	-	▼ 3.6	21.4	-	
	要支援 1・2	28	39.3	25.0	28.6	10.7	3.6	3.6	△ 32.1	3.6	3.6	
家族構成	1人暮らし	14	-	28.6	△ 50.0	7.1	7.1	7.1	△ 35.7	14.3	-	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	21	△ 90.5	▼ 9.5	▼ 14.3	-	-	-	14.3	4.8	-	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	1	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	息子・娘との2世帯	12	▼ 33.3	△ 50.0	25.0	△ 25.0	-	-	8.3	-	8.3	
	その他	7	-	28.6	▼ 14.3	14.3	△ 28.6	-	14.3	△ 57.1	-	

③ 経済状況

●問1(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

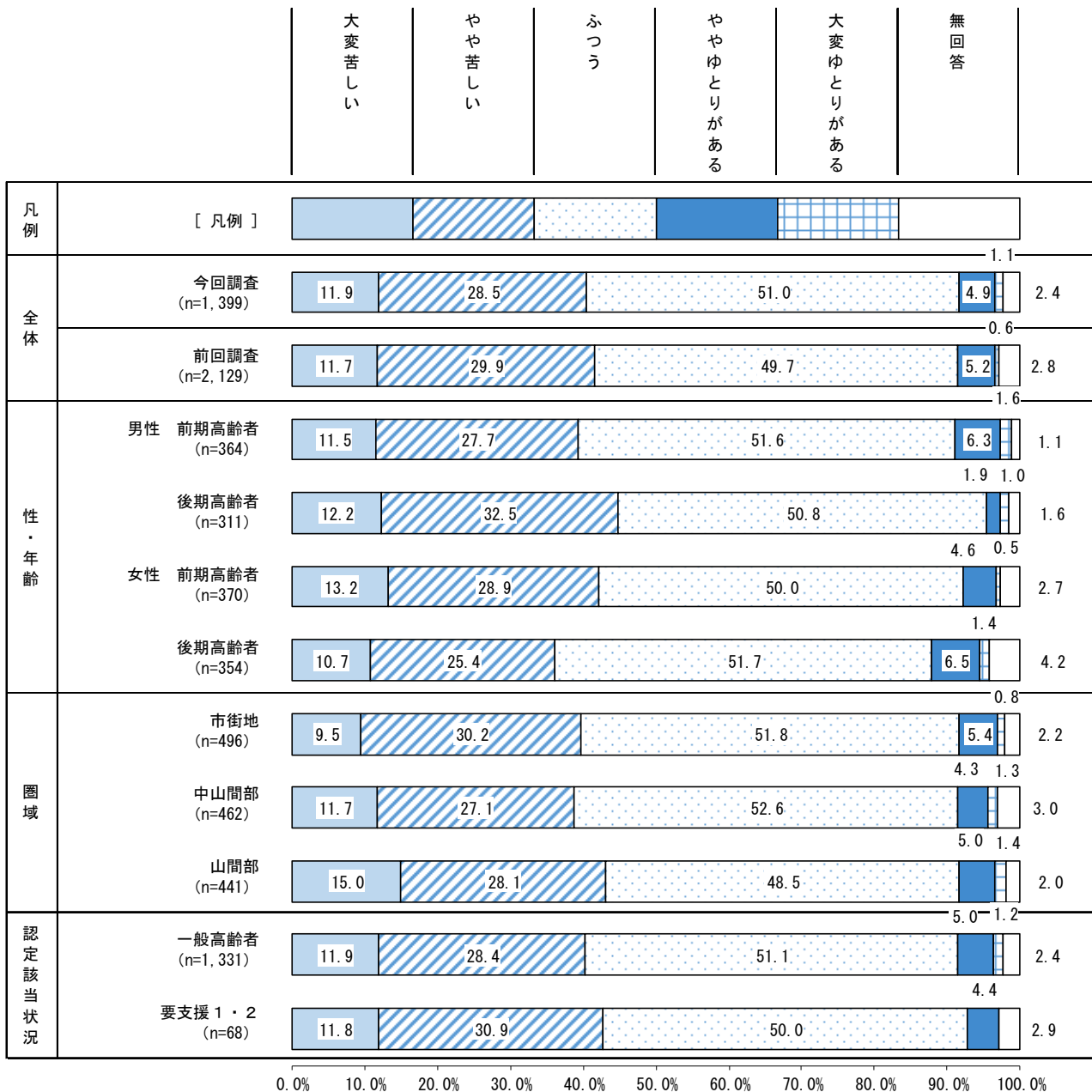
【全体】
 ○ 経済状況について、「ふつう」が51.0%で最も多く、次いで「やや苦しい」が28.5%、「大変苦しい」が11.9%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は40.4%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「大変苦しい」は女性 前期高齢者が13.2%と多くなっています。
 ○ 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は男性 後期高齢者が44.7%と多くなっています。

【圏域】
 ○ 「大変苦しい」は山間部が15.0%と多くなっています。
 ○ 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は山間部が43.1%と多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要支援1・2では、「ふつう」が50.0%で最も多く、次いで「やや苦しい」が30.9%、「大変苦しい」が11.8%となっています。

【経済状況】

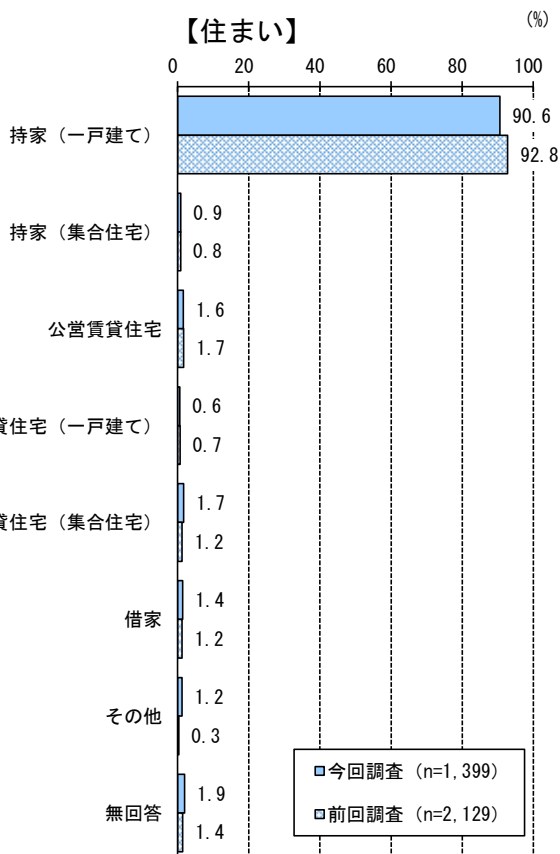


④ 住まいの状況

●問1(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が 90.6%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 1.7%、「公営賃貸住宅」が 1.6%となっています。

【家族構成】
 ○ 1人暮らしでは「持家（一戸建て）」が 76.8%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 6.8%となっています。



単位：%

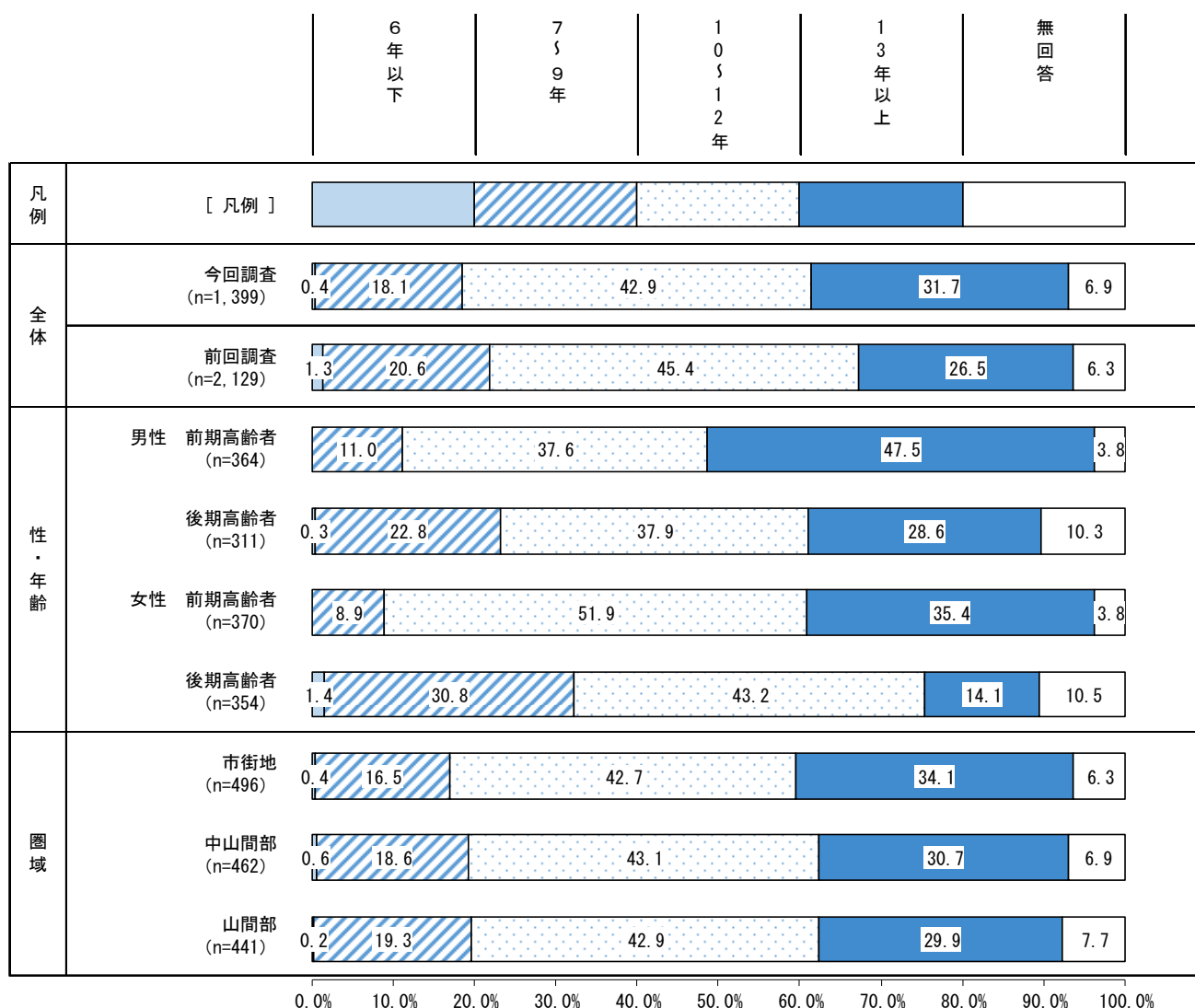
		母数 (n)	住まい							
			持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	（民間）一戸建て賃貸住宅	（民間）集合賃貸住宅	借家	その他	無回答
全体		1,399	90.6	0.9	1.6	0.6	1.7	1.4	1.2	1.9
性・年齢	男性 前期高齢者	364	92.3	1.1	0.5	0.5	1.4	1.4	1.1	1.6
	後期高齢者	311	90.4	0.3	1.6	0.6	1.6	1.3	1.9	2.3
	女性 前期高齢者	370	89.7	1.1	1.9	1.1	2.2	1.6	1.4	1.1
	後期高齢者	354	90.1	0.8	2.5	0.3	1.7	1.4	0.6	2.5
圏域	市街地	496	86.9	2.2	2.4	0.2	3.8	1.6	1.0	1.8
	中山間部	462	90.9	-	2.4	0.9	0.9	1.1	1.5	2.4
	山間部	441	94.6	0.2	-	0.9	0.2	1.6	1.1	1.4
認定該当状況	一般高齢者	1,331	90.5	0.9	1.6	0.7	1.7	1.5	1.3	1.8
	要支援1・2	68	92.6	-	2.9	-	1.5	-	-	2.9
家族構成	1人暮らし	220	76.8	2.3	5.0	1.4	6.8	2.7	2.7	2.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	604	94.5	0.8	1.0	0.5	0.3	1.0	0.7	1.2
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	79	92.4	-	1.3	1.3	1.3	1.3	-	2.5
	息子・娘との2世帯	369	92.7	0.5	1.4	0.3	1.4	1.1	0.8	1.9
	その他	109	89.9	-	-	0.9	0.9	2.8	3.7	1.8

⑤通学年数

●問1(5) 6歳～30歳の間で、学校に通っていたのは合計で何年ですか

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通学年数について、「10～12年」が42.9%で最も多く、次いで「13年以上」が31.7%、「7～9年」が18.1%となっています。 ○ 前回調査と比べて、13年以上が多くなっています。 <p>【性・年齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性 前期高齢者では「13年以上」が47.5%と多くなっています。 <p>【圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地では「13年以上」が34.1%と多くなっています。
--

【通学年数】



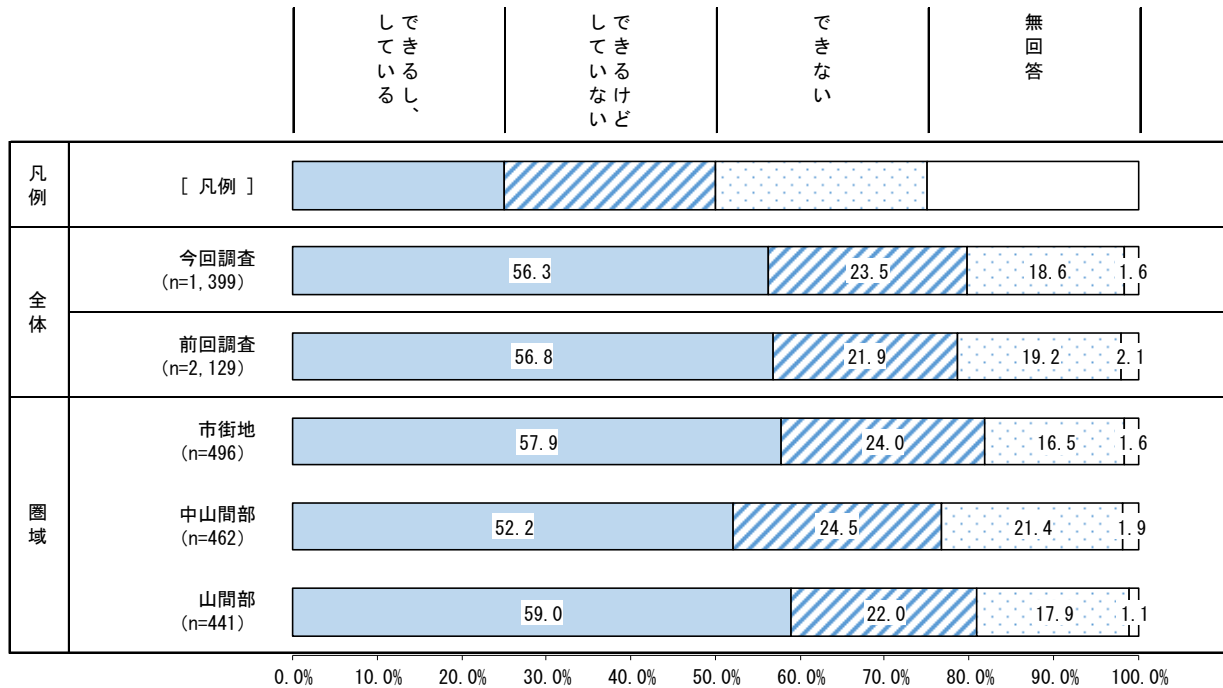
4. からだを動かすことについて

(1) 運動・転倒の状況

- 問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が56.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が23.5%、「できない」が18.6%となっています。

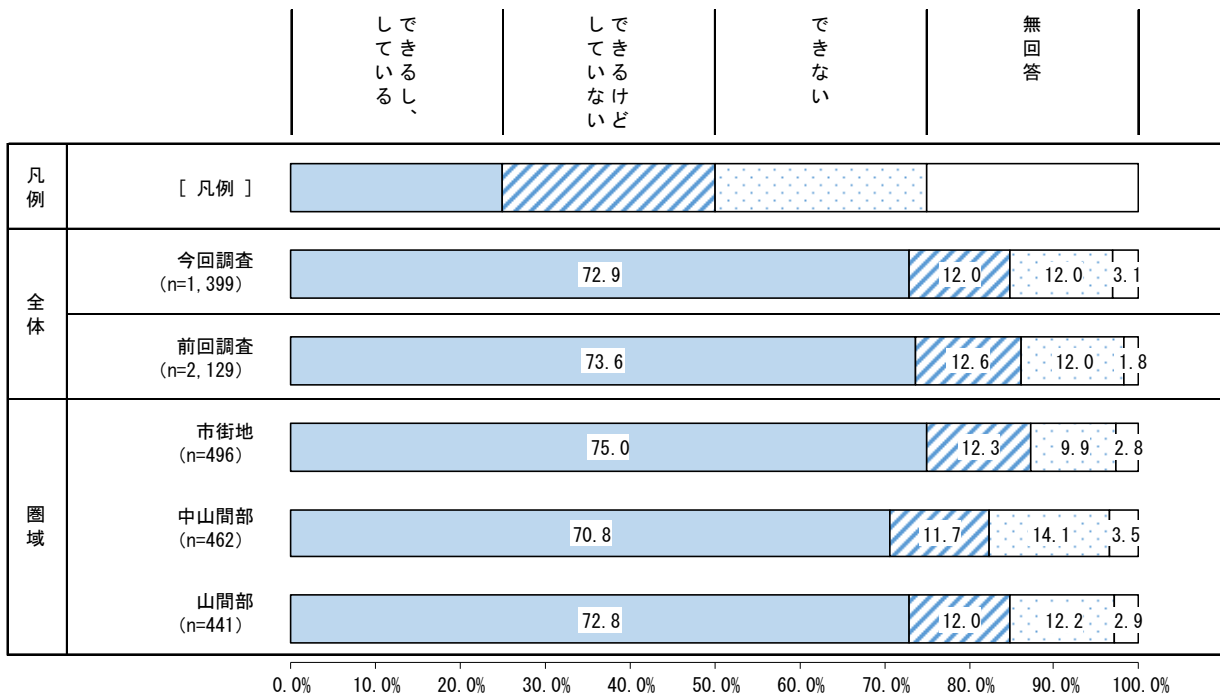
【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】



●問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が 72.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」「できない」が 12.0%となっています。

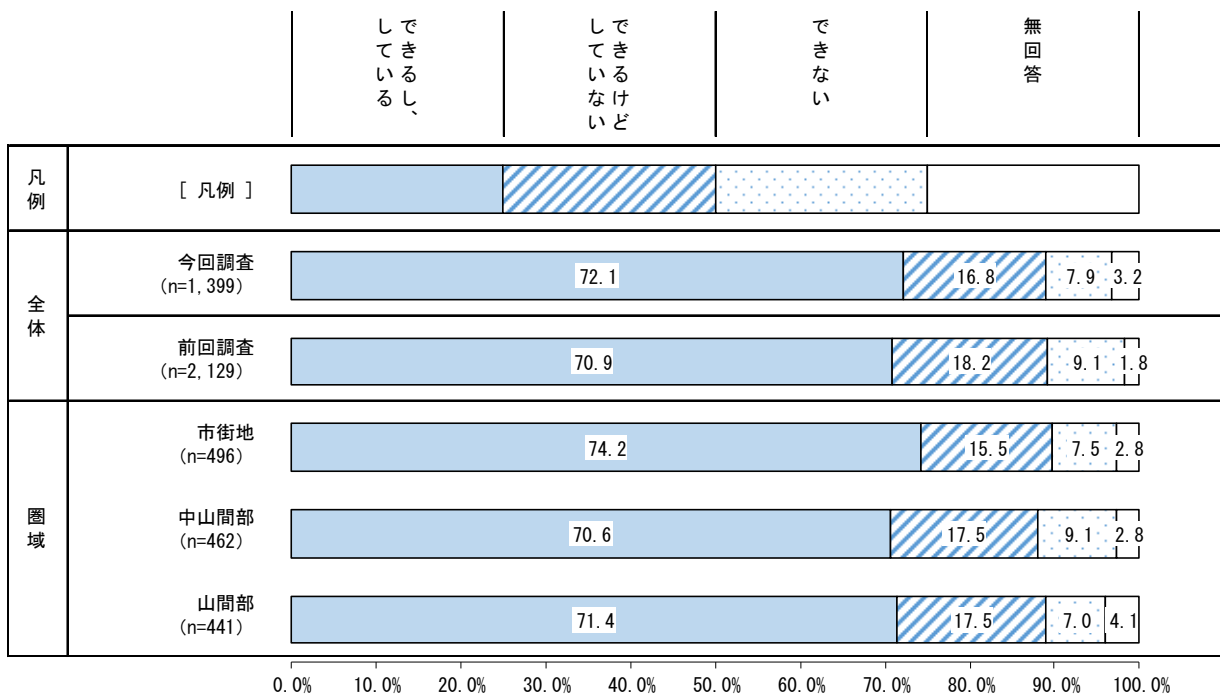
【椅子に座った状態からの立ち上がり】



●問2(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が 72.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 16.8%、「できない」が 7.9%となっています。

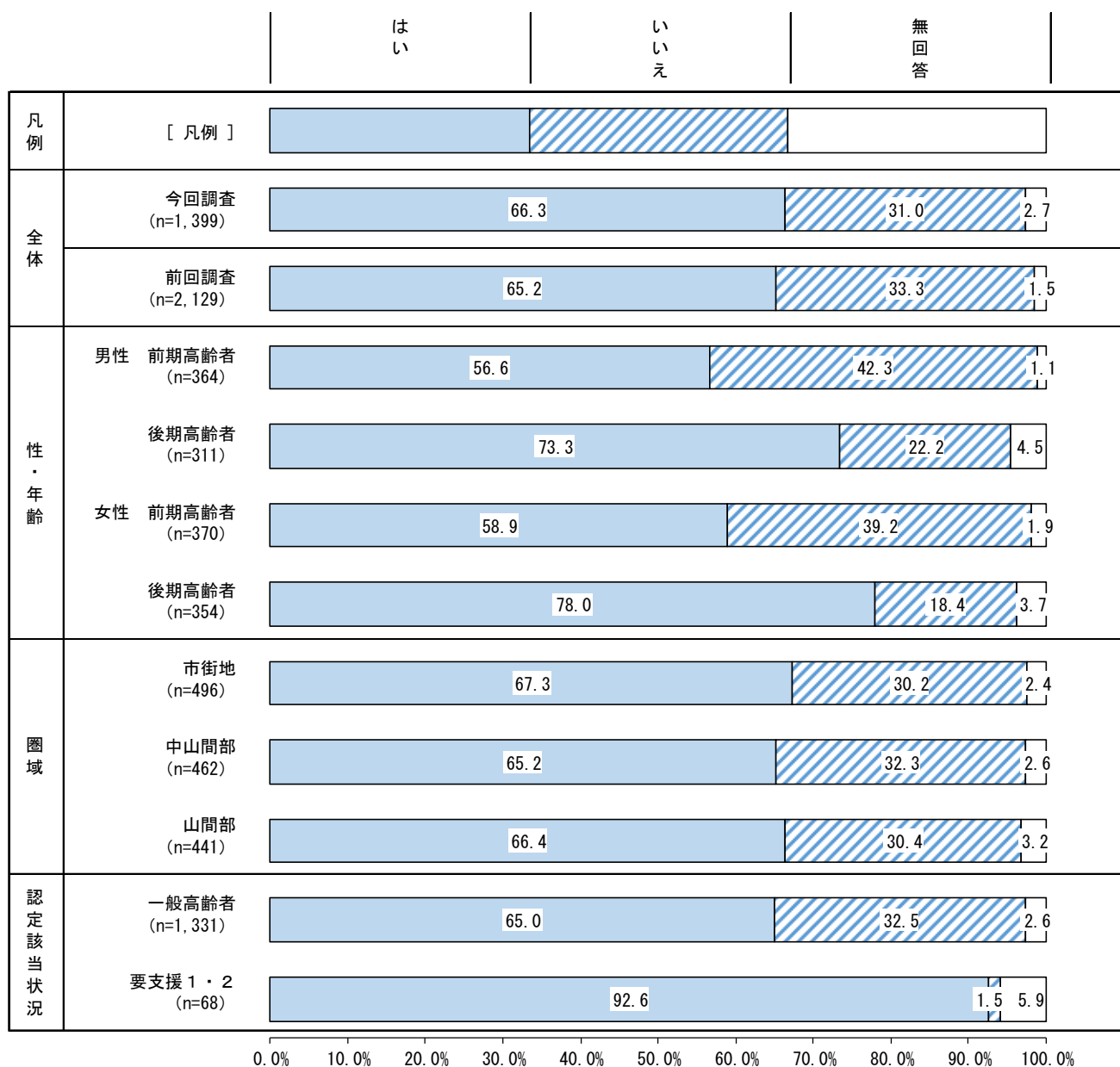
【15分位続けての歩行】



●問2(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(1つだけ)

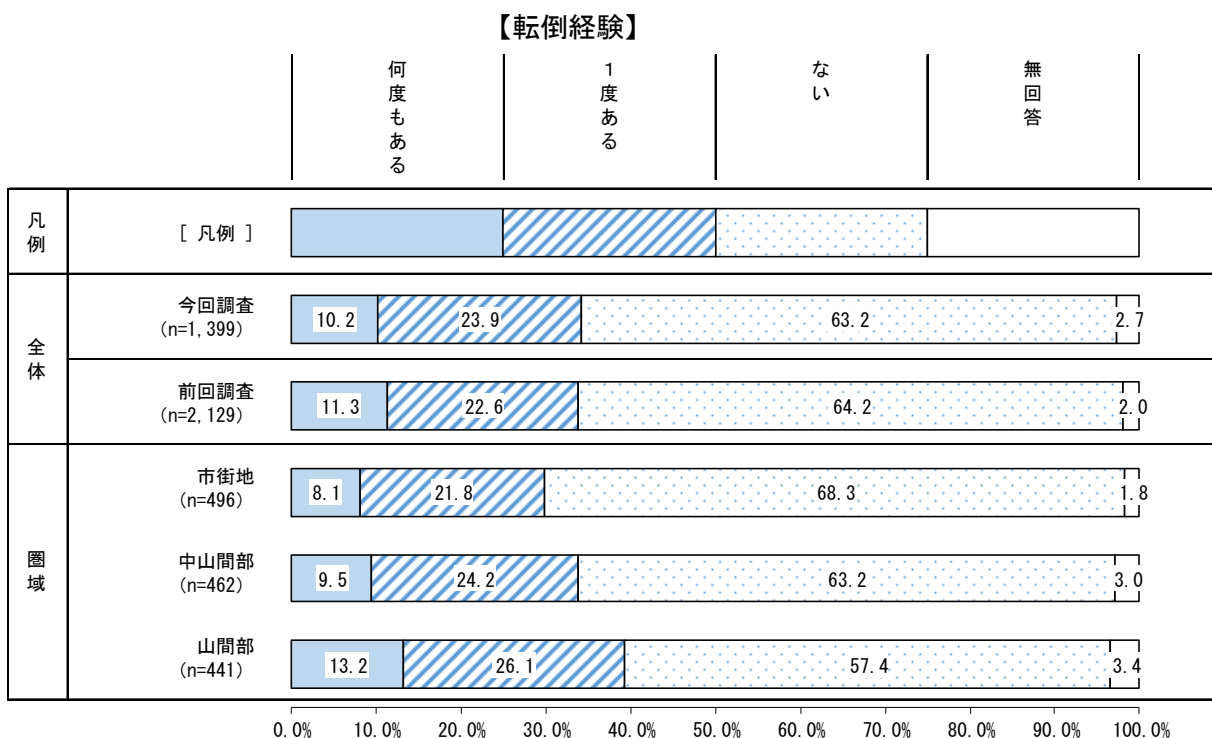
- 【全体】**
 ○ 歩く速度が遅くなってきたと思うかについて、「はい」が66.3%、「いいえ」が31.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに後期高齢者では「はい」が7割以上と多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 「はい」は中山間部が65.2%とやや少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「はい」は一般高齢者で65.0%、要支援1・2で92.6%となっています。

【歩く速度が遅くなったか】



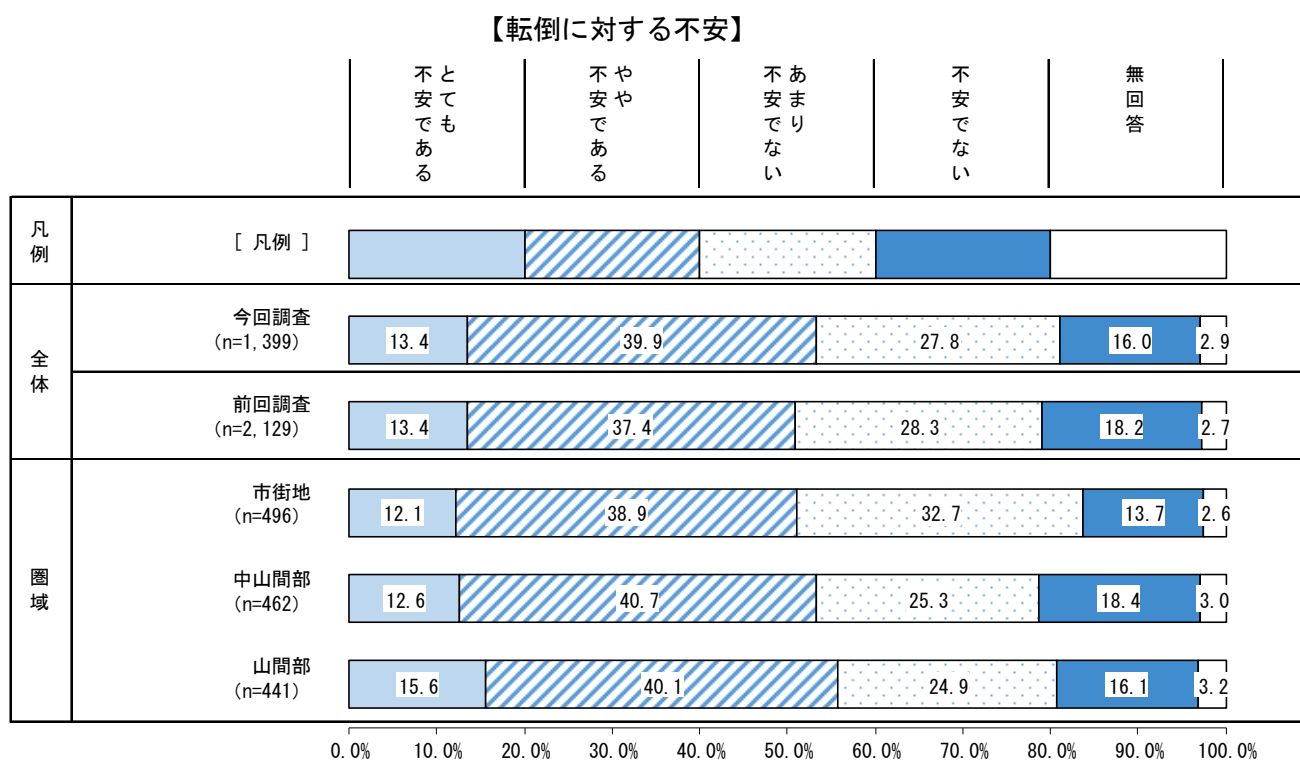
●問2(5) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 転倒経験について、「何度もある」「1度ある」を合わせた“転倒経験がある方”は34.1%となっています。



●問2(6) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 転倒に対する不安について、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“転倒に対する不安がある方”は53.3%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、“不安のある方”が増加しています。



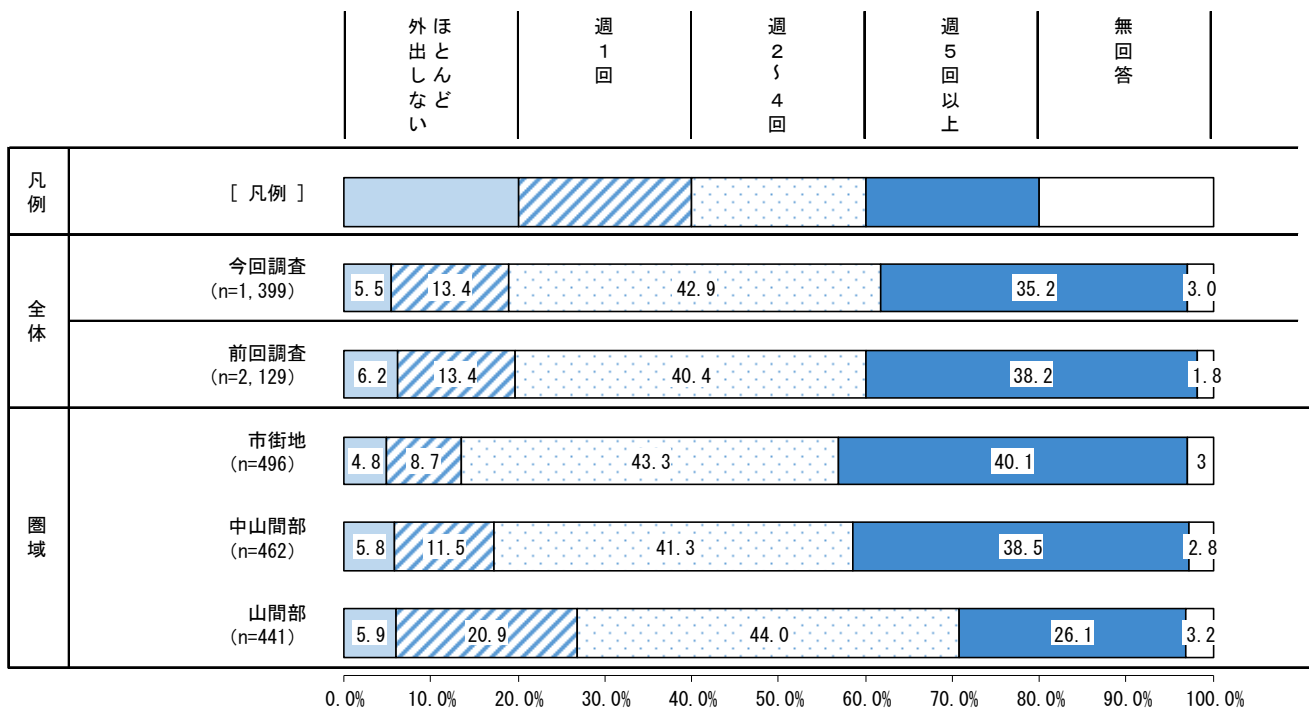
(2) 外出の状況

① 外出の頻度

●問2(7) 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

【全体】
○ 外出頻度について、「週2～4回」が42.9%で最も多く、次いで「週5回以上」が35.2%、「週1回」が13.4%となっています。
○ 前回調査と比べて、「ほとんど外出しない」が1ポイント少なくなっています。
【圏域】
○ 「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせると山間部が26.8%と多くなっています。
○ 「週5回以上」は市街地が40.1%と多くなっています。

【外出頻度】



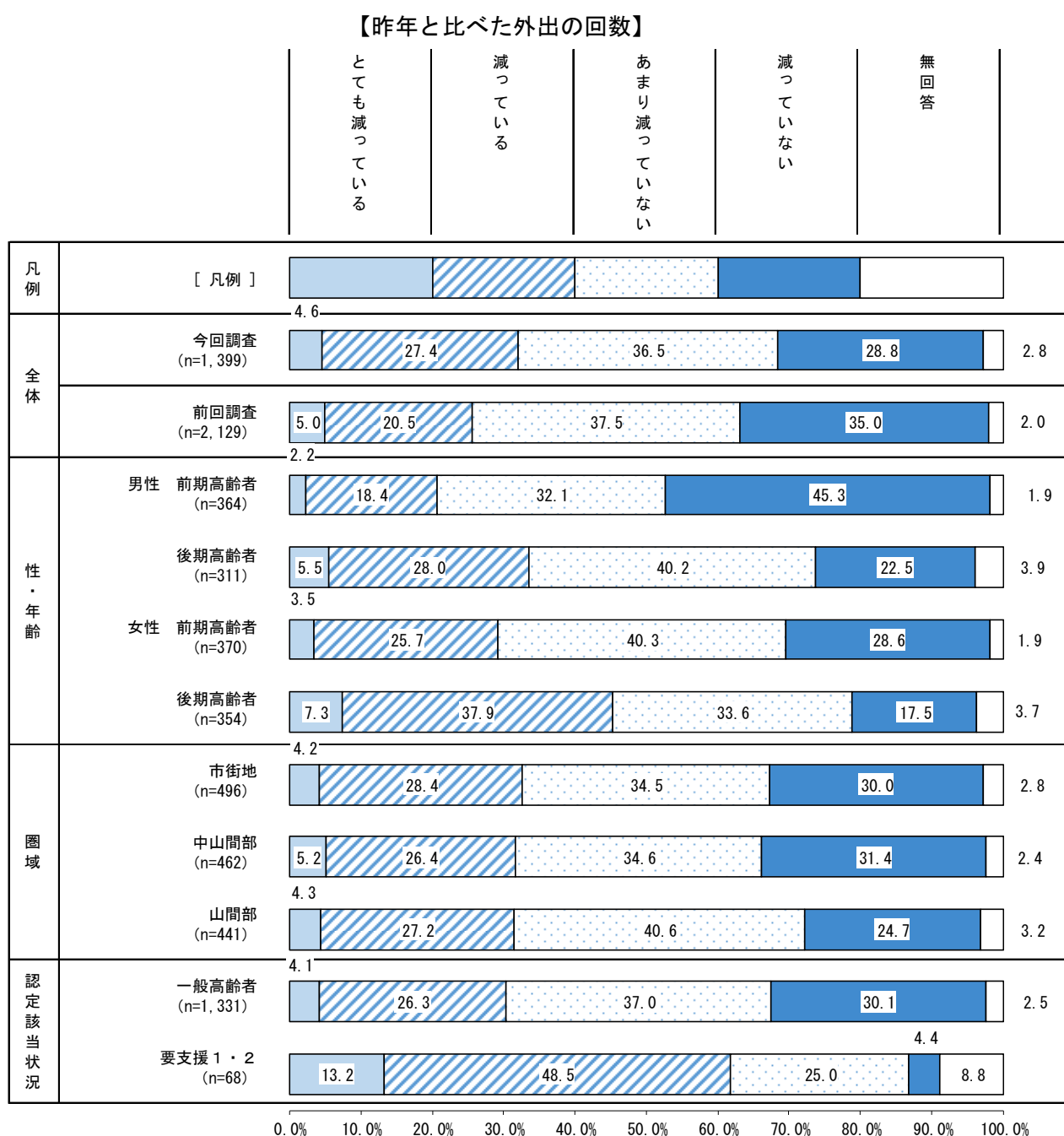
●問2(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が36.5%で最も多く、次いで「減っていない」が28.8%、「減っている」が27.4%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は32.0%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、“減っている方”が多くなっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「減っている」が多くなっています。
 ○ 女性 後期高齢者では“減っている方”が45.2%と多くなっています。

【圏域】
 ○ 「あまり減っていない」は山間部が40.6%と多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要支援1・2では、一般高齢者に比べて“減っている方”の割合が約2倍となっています。



●問2(9) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか。(1つだけ)

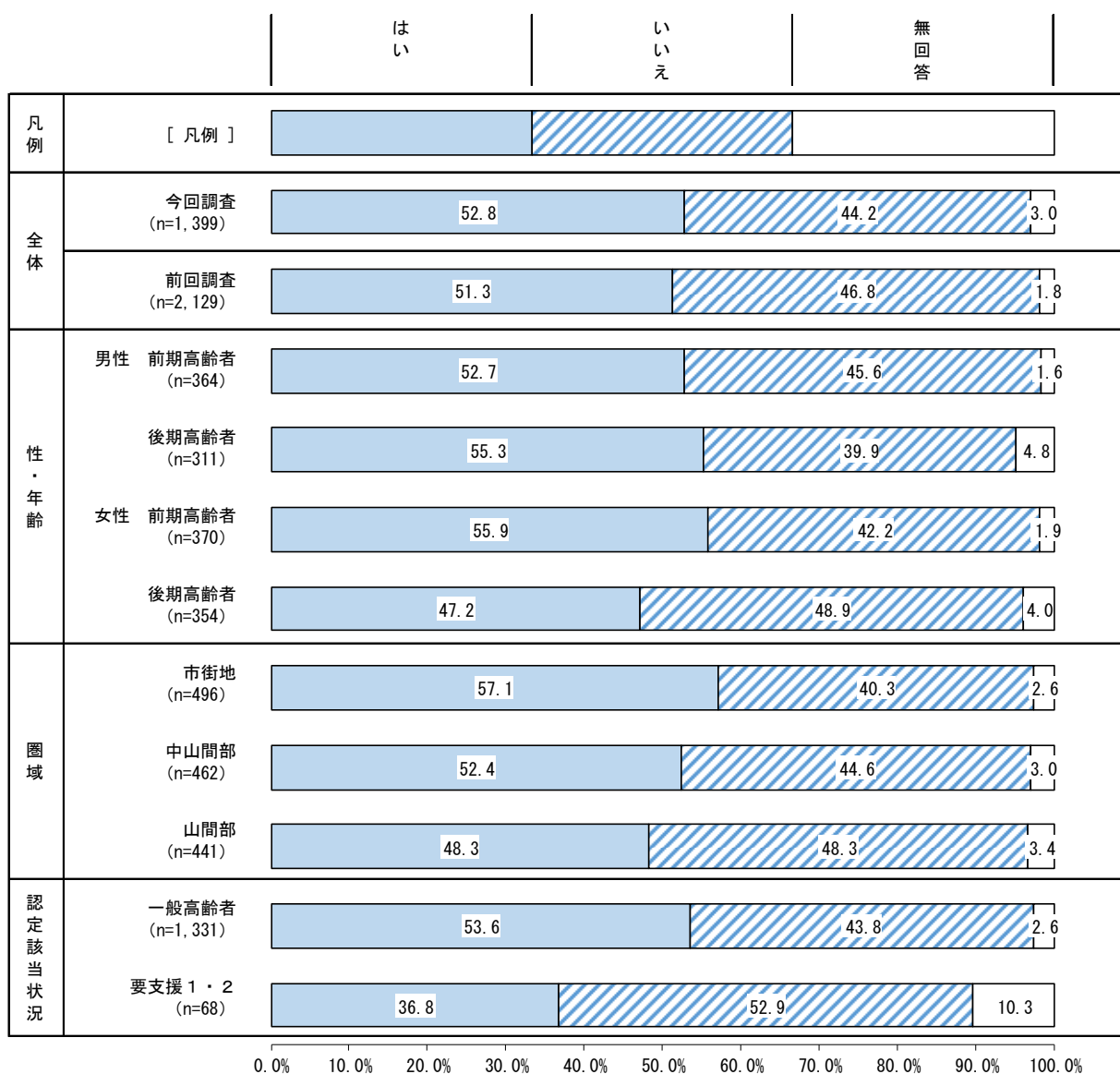
【全体】
 ○ 1週間の運動頻度について、「はい」が52.8%、「いいえ」が44.2%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男性 後期高齢者は男性 前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
 ○ 「いいえ」は男性 前期高齢者が45.6%、女性 後期高齢者が48.9%となっています。

【圏域】
 ○ 「はい」は市街地が57.1%と多くなっています。
 ○ 「いいえ」は山間部が48.3%と多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 一般高齢者では、「はい」が53.6%、要支援1・2では36.8%となっています。

【週に1回以上の運動】

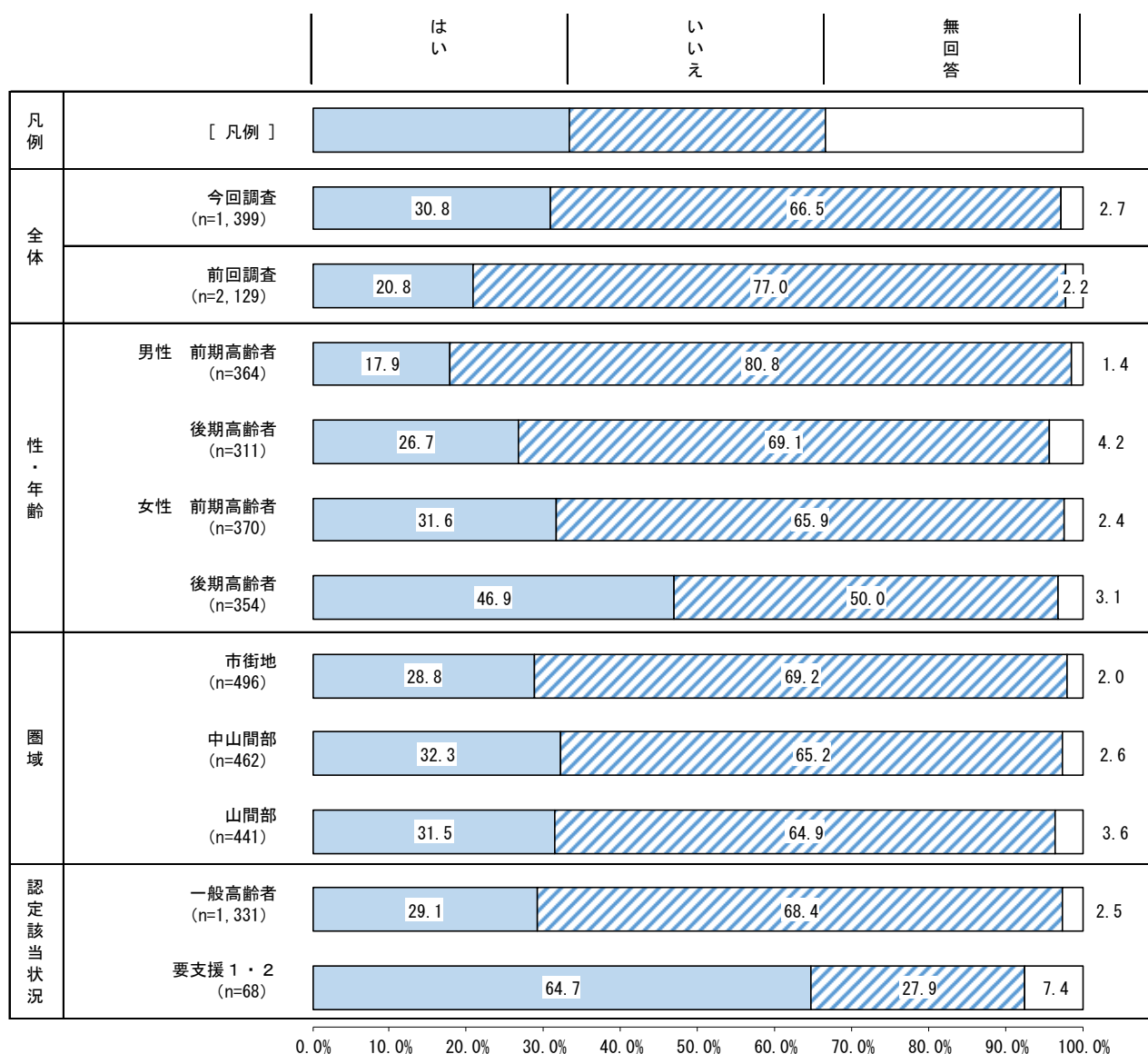


② 外出を控えているか

●問2(10) 外出を控えていますか。(1つだけ)

【全体】
○ 外出を控えているかについて、「はい」が30.8%、「いいえ」が66.5%となっています。
○ 前回調査と比べて、「はい」が1割多くなっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
○ 女性 後期高齢者では「はい」が46.9%と多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は中山間部が32.3%とやや多くなっています。
○ 「いいえ」は市街地が69.2%とやや多くなっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者では、「はい」が29.1%、要支援1・2では64.7%となっています。

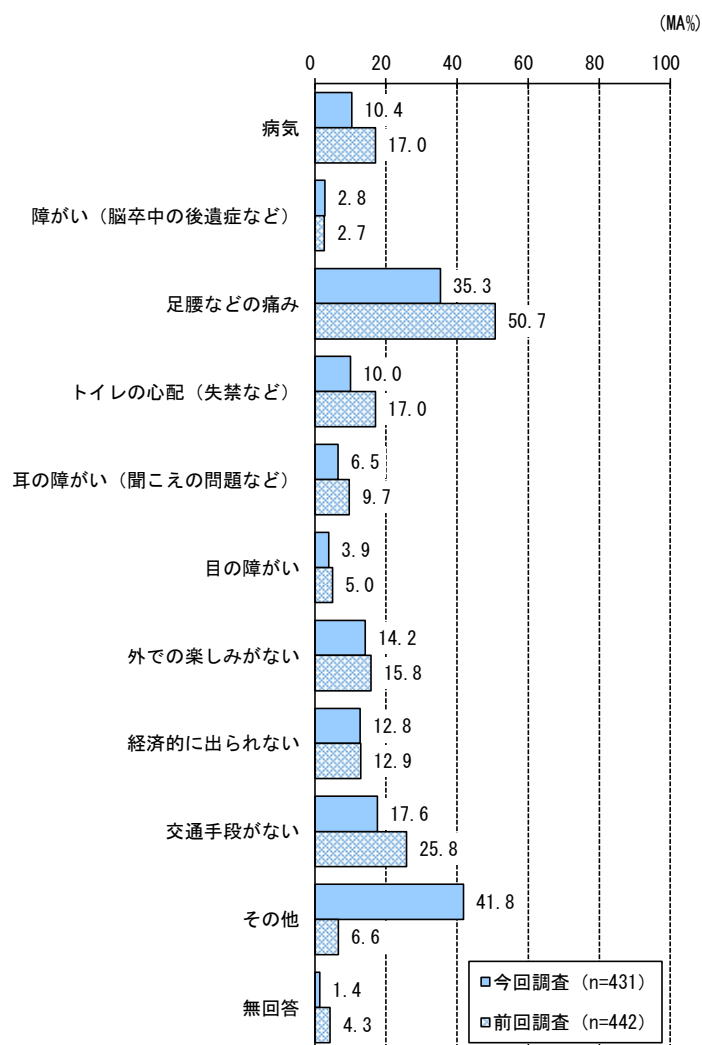
【外出を控えているか】



●問2(10)-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

- 【全体】**
- 外出を控えている理由について、「その他」が41.8%で最も多くなっています。選択肢の中では、「足腰などの痛み」が35.3%、「交通手段がない」が17.6%となっています。
 - その他の中では、約8割の方が新型コロナウイルス感染症を含む回答となっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「病気」「経済的に出られない」が多くなっています。
 - 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べ、「足腰などの痛み」「交通手段がない」が多く、特に女性 後期高齢者では、「交通手段がない」が27.7%となっています。
- 【圏域】**
- 中山間部、山間部では、「外での楽しみがない」が約15%と、市街地に比べて多くなっています。
 - 山間部では、「経済的に出られない」「交通手段がない」が他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 一般高齢者では要支援1・2に比べ、「外での楽しみがない」「経済的に出られない」が多くなっています。
 - 要支援1・2では病気や障害など、身体的な理由が多くなっています。

【外出を控えている理由(MA)】



単位：％

	母数 (n)	外出を控えている理由(MA)						
		病 気	(障 害 後 遺 症 中 の 脳 卒 中 な ど)	痛 足 み 腰 な ど の	(ト イ レ の 心 配 な ど)	(耳 の 障 害 問 題 な ど)	目 の 障 害	
全体	431	10.4	2.8	35.3	10.0	6.5	3.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	65	15.4	1.5	▼ 24.6	7.7	-	4.6
	後期高齢者	83	9.6	7.2	37.3	10.8	12.0	6.0
	女性 前期高齢者	117	12.8	1.7	▼ 22.2	9.4	-	1.7
	後期高齢者	166	7.2	1.8	△ 47.6	10.8	10.8	4.2
圏域	市街地	143	10.5	2.8	37.1	9.1	6.3	3.5
	中山間部	149	10.7	2.0	38.9	11.4	6.7	6.0
	山間部	139	10.1	3.6	29.5	9.4	6.5	2.2
認定該当状況	一般高齢者	387	9.8	1.3	31.8	9.6	5.7	3.9
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	44	15.9	△ 15.9	△ 65.9	13.6	13.6	4.5

単位：％

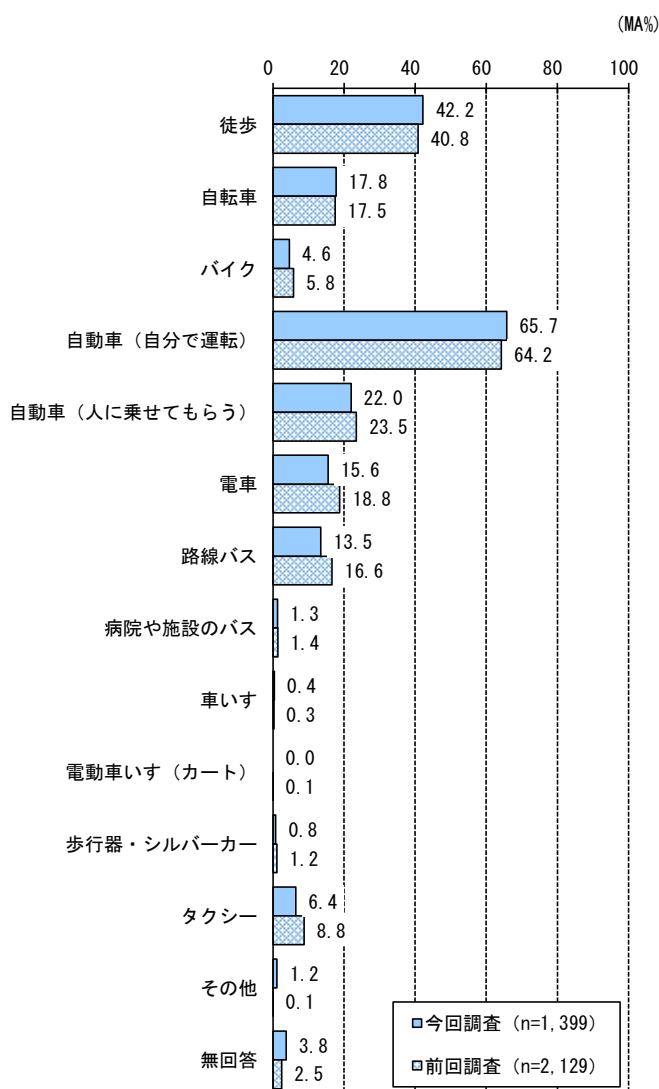
	母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					
		楽 外 し で み の が な い	出 経 ら れ な い	な 交 通 手 段 が	そ の 他	無 回 答	
全体	431	14.2	12.8	17.6	41.8	1.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	65	7.7	20.0	▼ 4.6	△ 53.8	-
	後期高齢者	83	18.1	10.8	16.9	▼ 26.5	3.6
	女性 前期高齢者	117	11.1	15.4	11.1	△ 63.2	-
	後期高齢者	166	16.9	9.0	△ 27.7	▼ 29.5	1.8
圏域	市街地	143	11.9	14.0	10.5	45.5	0.7
	中山間部	149	15.4	8.1	19.5	38.3	0.7
	山間部	139	15.1	16.5	23.0	41.7	2.9
認定該当状況	一般高齢者	387	14.2	13.4	15.0	45.5	1.6
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	44	13.6	6.8	△ 40.9	▼ 9.1	-

③ 外出の際の移動手段

●問2(11) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

- 【全体】**
- 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 65.7%で最も多く、次いで「徒歩」が 42.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 22.0%となっています。
- 【性・年齢】**
- 女性 後期高齢者では「自動車（自分で運転）」が 33.9%と少なくなっています。
 - 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」「タクシー」などが多くなっています。
- 【圏域】**
- 市街地では「徒歩」が 60.3%と多くなっています。
 - 中山間部、山間部では「自動車（自分で運転）」が約7割と多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」が 67.6%で最も多く、次いで「徒歩」が 42.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 20.8%となっています。
 - 要支援1・2では、「自動車（人に乗せてもらう）」が 45.6%で最も多く、次いで「徒歩」が 29.4%、「自動車（自分で運転）」が 27.9%となっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体		1,399	42.2	17.8	4.6	65.7	22.0	15.6	13.5
性・年齢	男性 前期高齢者	364	47.3	20.3	8.0	△ 89.6	▼ 5.5	19.8	9.1
	後期高齢者	311	38.6	17.4	2.6	70.4	13.2	10.6	13.5
	女性 前期高齢者	370	41.9	15.9	2.4	68.6	27.8	17.8	13.2
	後期高齢者	354	40.4	17.5	5.4	▼ 33.9	△ 40.7	13.3	18.4
圏域	市街地	496	△ 60.3	27.2	5.4	58.1	24.4	25.2	16.7
	中山間部	462	34.4	18.2	6.1	67.1	20.6	9.5	12.3
	山間部	441	▼ 29.9	▼ 6.8	2.3	72.8	20.9	11.1	11.1
認定該当状況	一般高齢者	1,331	42.8	18.4	4.9	67.6	20.8	16.0	13.4
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	68	▼ 29.4	▼ 5.9	-	▼ 27.9	△ 45.6	7.4	16.2

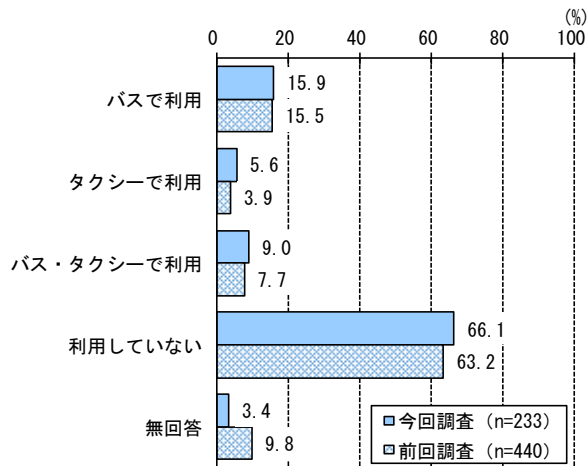
単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
			施設 の バス	車 い す	(電 動 車 い す カ ー ト)	シ ル バ ー カ ー	タ ク シ ー	そ の 他	無 回 答
全体		1,399	1.3	0.4	-	0.8	6.4	1.2	3.8
性・年齢	男性 前期高齢者	364	0.5	-	-	-	2.5	0.5	3.0
	後期高齢者	311	1.9	0.6	-	0.3	7.4	1.6	5.5
	女性 前期高齢者	370	-	0.3	-	0.3	2.7	1.1	3.5
	後期高齢者	354	2.8	0.6	-	2.5	13.3	1.7	3.4
圏域	市街地	496	0.4	0.4	-	0.6	8.3	1.0	3.6
	中山間部	462	1.1	0.2	-	1.1	7.8	0.9	3.9
	山間部	441	2.5	0.5	-	0.7	2.7	1.8	3.9
認定該当状況	一般高齢者	1,331	0.8	0.2	-	0.5	5.5	1.1	3.7
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	68	10.3	2.9	-	5.9	△ 23.5	2.9	5.9

●問2(11)-1 バスやタクシー乗車の際、敬老乗車券を利用していますか。(いくつでも)

- 【全体】**
- 敬老乗車券の利用について、「利用していない」が 66.1%で最も多く、次いで「バスで利用」が 15.9%、「バス・タクシーで利用」が 9.0%となっています。“バスで利用(計)”は 24.9%、“タクシーで利用(計)”は 14.6%となっています。
 - 前回調査と比べて、「利用していない」が 2.9ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに後期高齢者では“バスで利用(計)”が約3割、“タクシーで利用(計)”が約2割、「利用していない」が5割以上となっています。
- 【圏域】**
- 市街地は、“バスで利用(計)”が 23.1%、“タクシーで利用(計)”が 16.3%となっています。
 - 中山間部は、“バスで利用(計)”が 24.6%、“タクシーで利用(計)”が 20.5%となっています。
 - 山間部は、“バスで利用(計)”が28.6%、“タクシーで利用(計)”が3.6%となっています。
 - 「利用していない」は、中山間部が 57.5%と少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
- 要支援1・2では、一般高齢者に比べて“バスで利用(計)”の割合が 1.4倍、“タクシーで利用(計)”の割合が 3.1倍多くなっています。

【敬老乗車券の利用状況】



		母数 (n)	敬老乗車券の利用					(再掲)	
			バスで利用	タクシーで利用	バス・タクシーで利用	利用していない	無回答	(バスで利用(計))	(タクシーで利用(計))
全体		233	15.9	5.6	9.0	66.1	3.4	24.9	14.6
性・年齢	男性 前期高齢者	39	▼ 5.1	-	5.1	△ 89.7	-	10.2	5.1
	後期高齢者	51	15.7	7.8	13.7	58.8	3.9	29.4	21.5
	女性 前期高齢者	53	11.3	-	3.8	△ 79.2	5.7	15.1	3.8
	後期高齢者	90	23.3	10.0	11.1	▼ 52.2	3.3	34.4	21.1
圏域	市街地	104	10.6	3.8	12.5	72.1	1.0	23.1	16.3
	中山間部	73	16.4	12.3	8.2	57.5	5.5	24.6	20.5
	山間部	56	25.0	-	3.6	66.1	5.4	28.6	3.6
認定該当状況	一般高齢者	212	15.6	3.8	8.5	68.4	3.8	24.1	12.3
	要支援1・2	21	19.0	△ 23.8	14.3	▼ 42.9	-	33.3	38.1

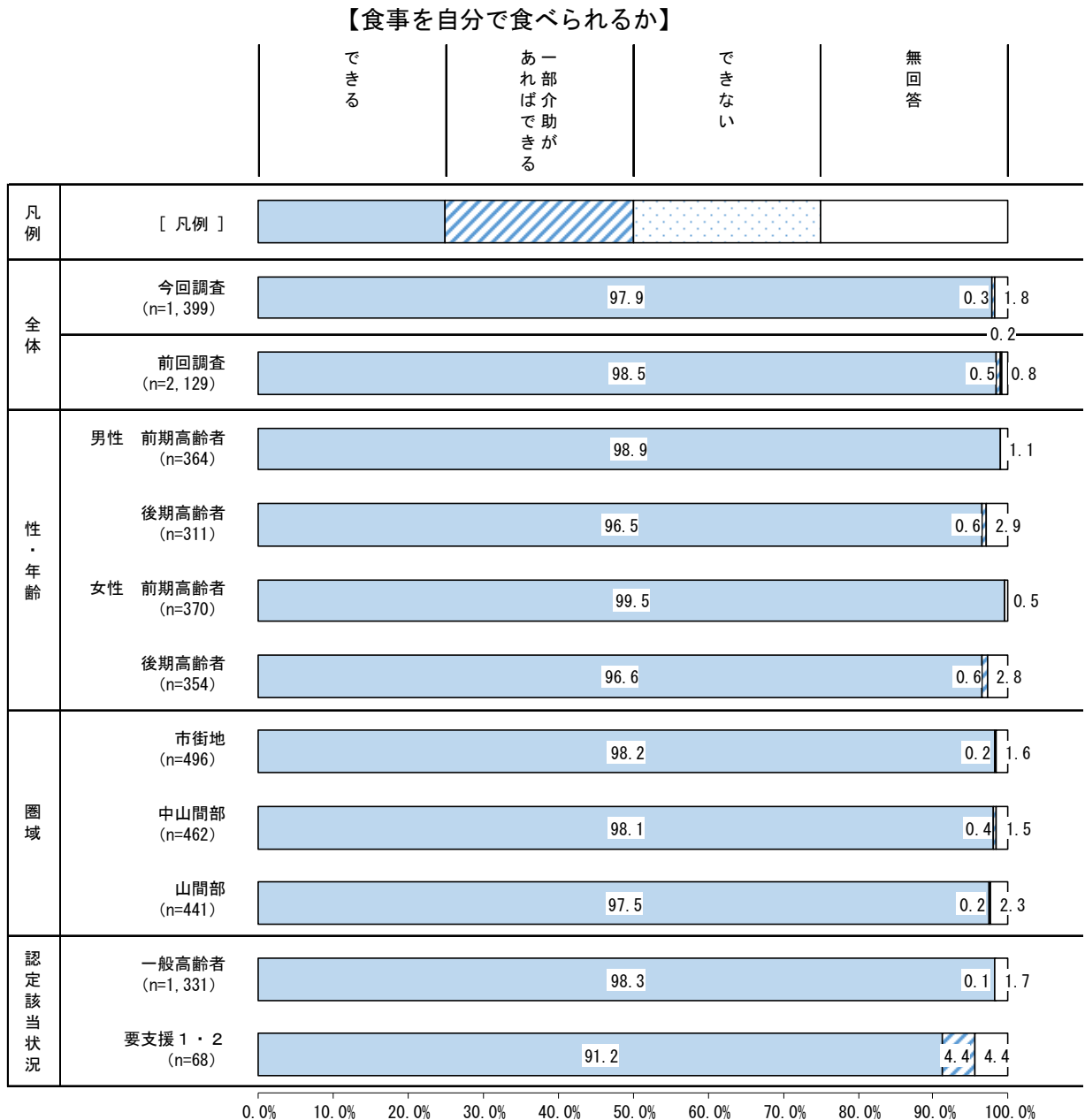
5. 食べることについて

(1) 口腔

① 口内の健康状態

●問3(2) 食事は自分で食べられますか。(1つだけ)

【全体】
○ 食事は自分で食べられるかについて、「できる」が 97.9%で最も多く、次いで「一部介助（おかずを切ってもらするなど）があればできる」が 0.3%となっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、「できない」が 4.4%となっています。



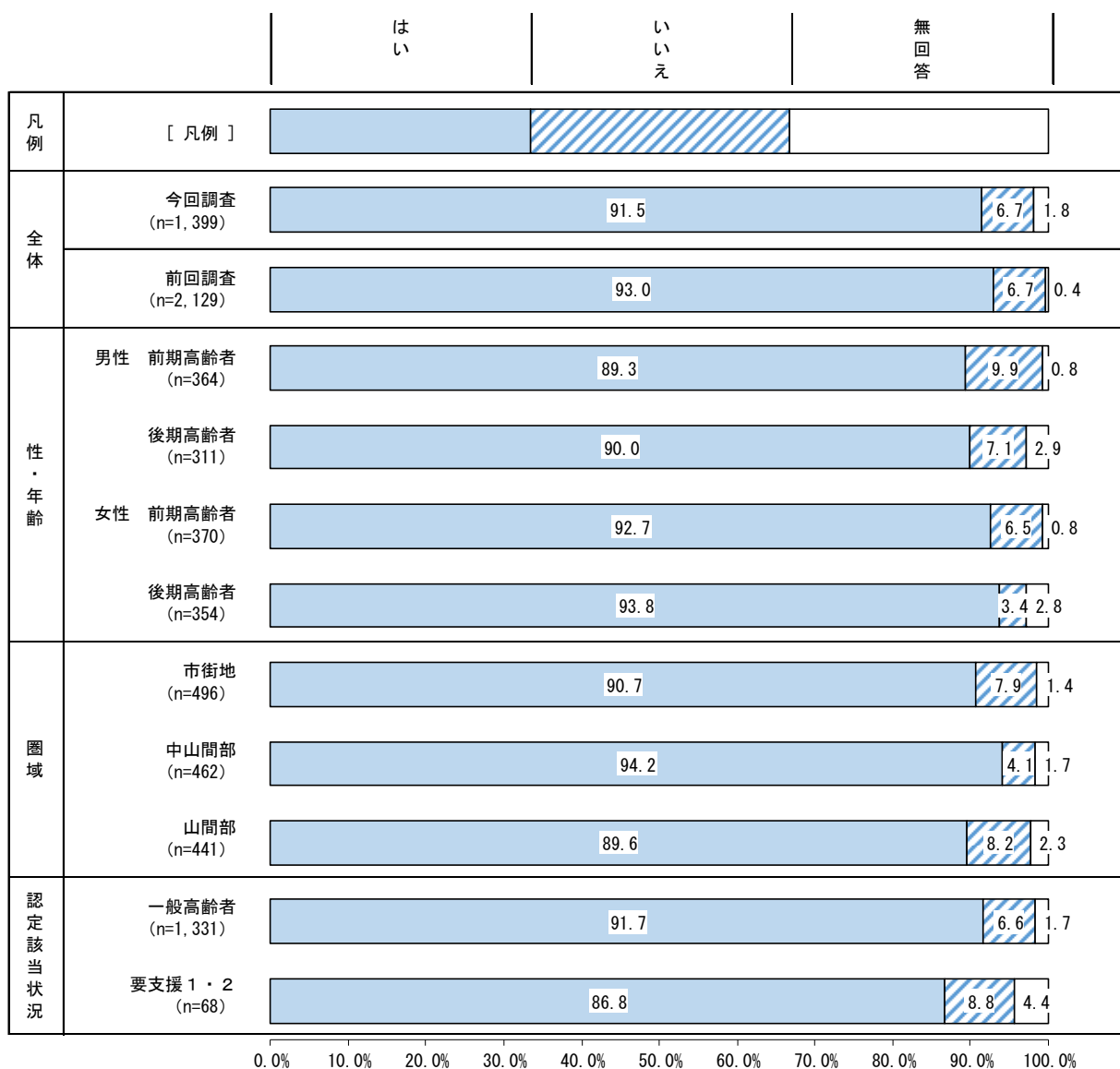
●問3(3) 1日3食きちんと食べていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 1日3食きちんと食べているかについて、「はい」が91.5%、「いいえ」が6.7%となっています。

【圏域】
 ○ 「はい」は中山間部が94.2%と多くなっています。
 ○ 「いいえ」は山間部が8.2%と多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「はい」は一般高齢者が91.7%、要支援1・2が86.8%となっています。

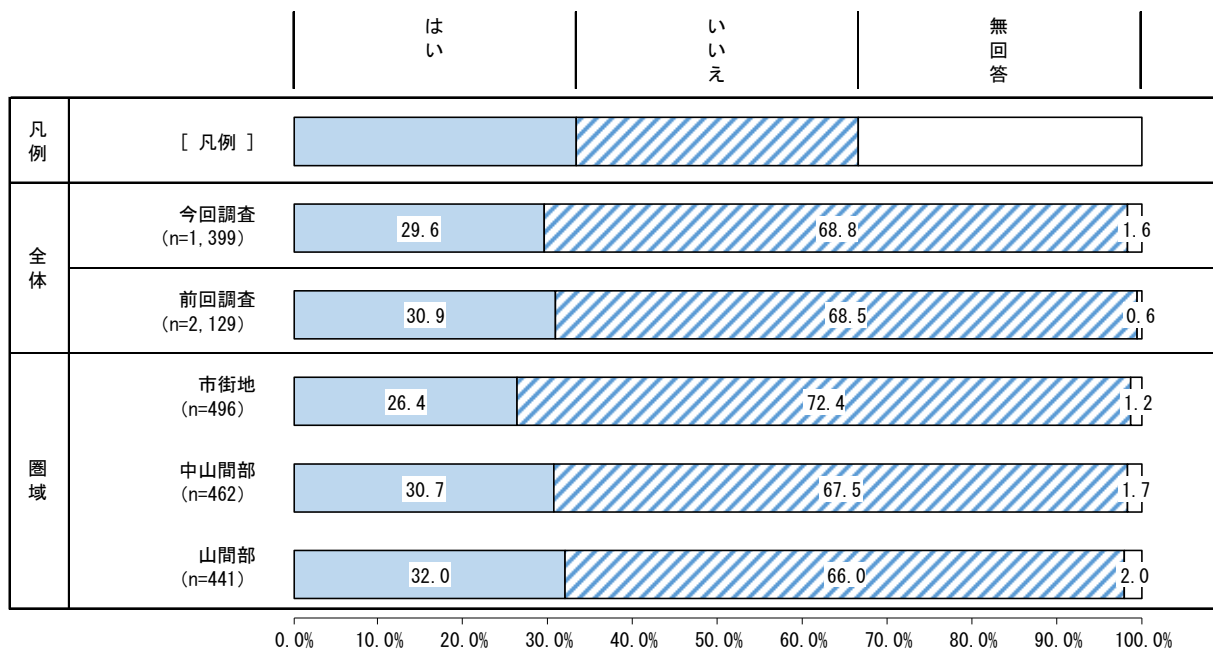
【1日3食食べているか】



●問3(4) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)

【全体】
○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 29.6%、「いいえ」が 68.8%となっています。

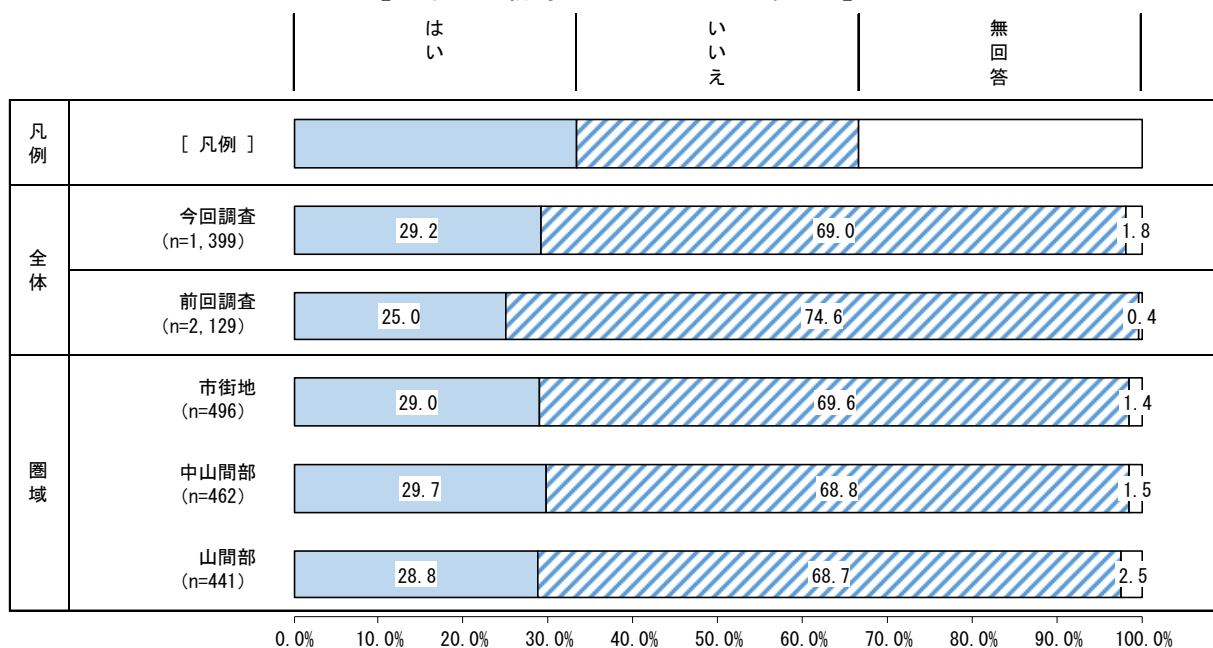
【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



●問3(5) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)

【全体】
○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 29.2%、「いいえ」が 69.0%となっています。

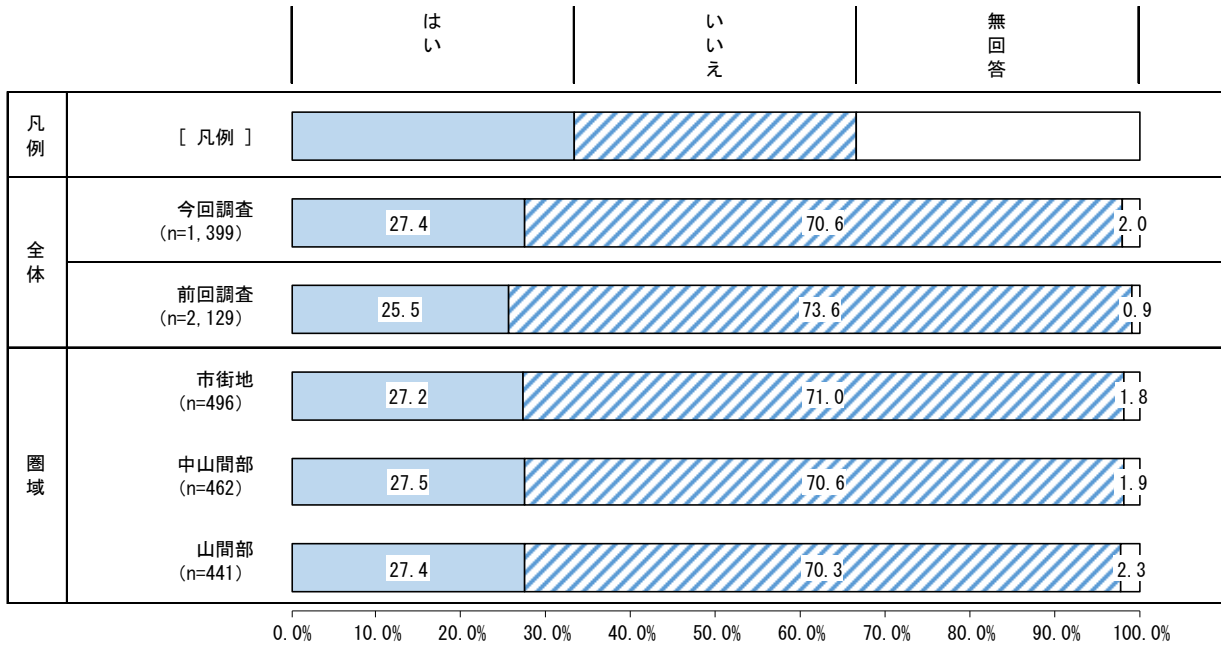
【お茶や汁物等でむせることがあるか】



●問3(6) 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が27.4%、「いいえ」が70.6%となっています。

【口の渇きが気になるか】

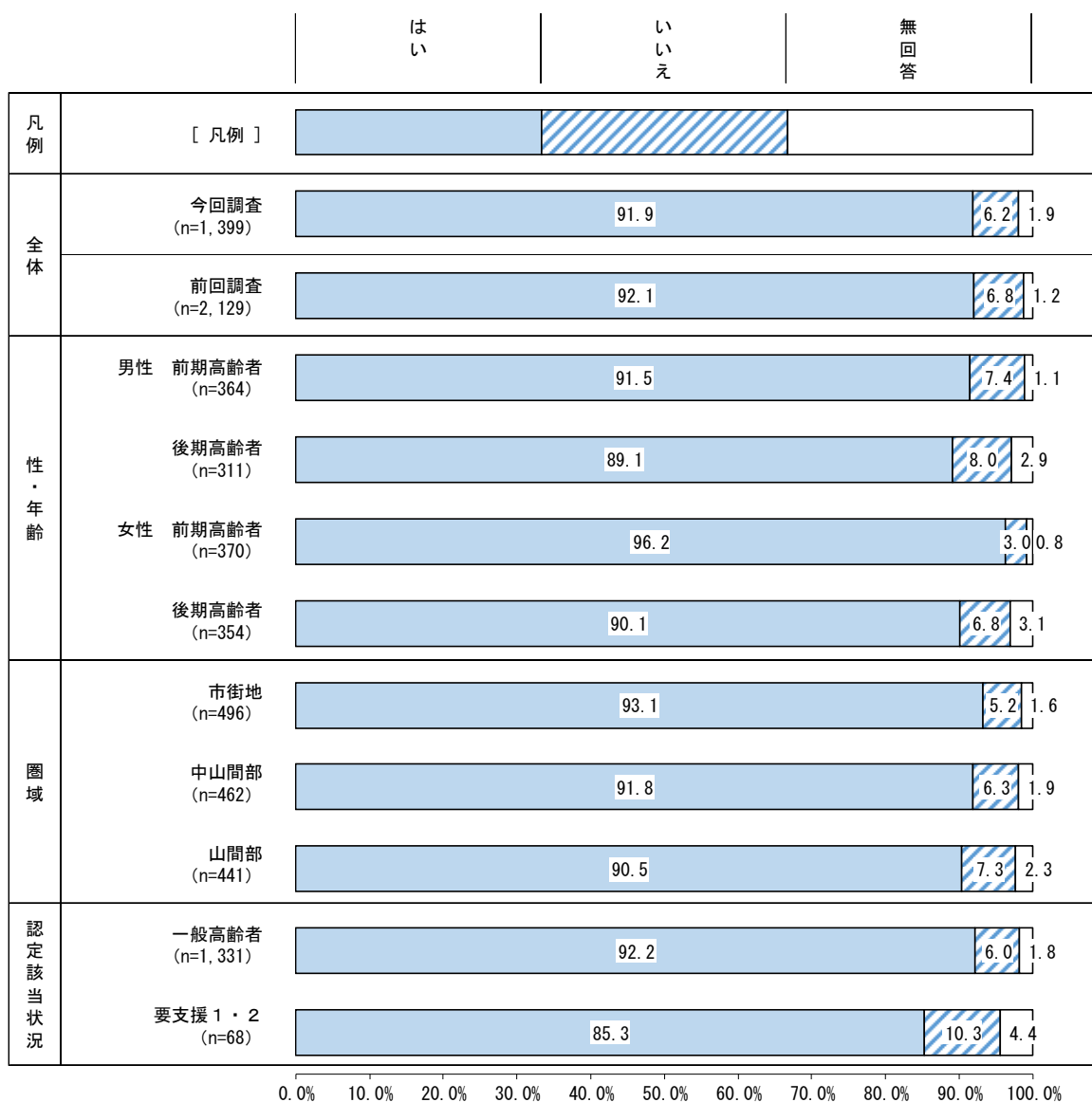


② 歯の状況

●問3(7) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

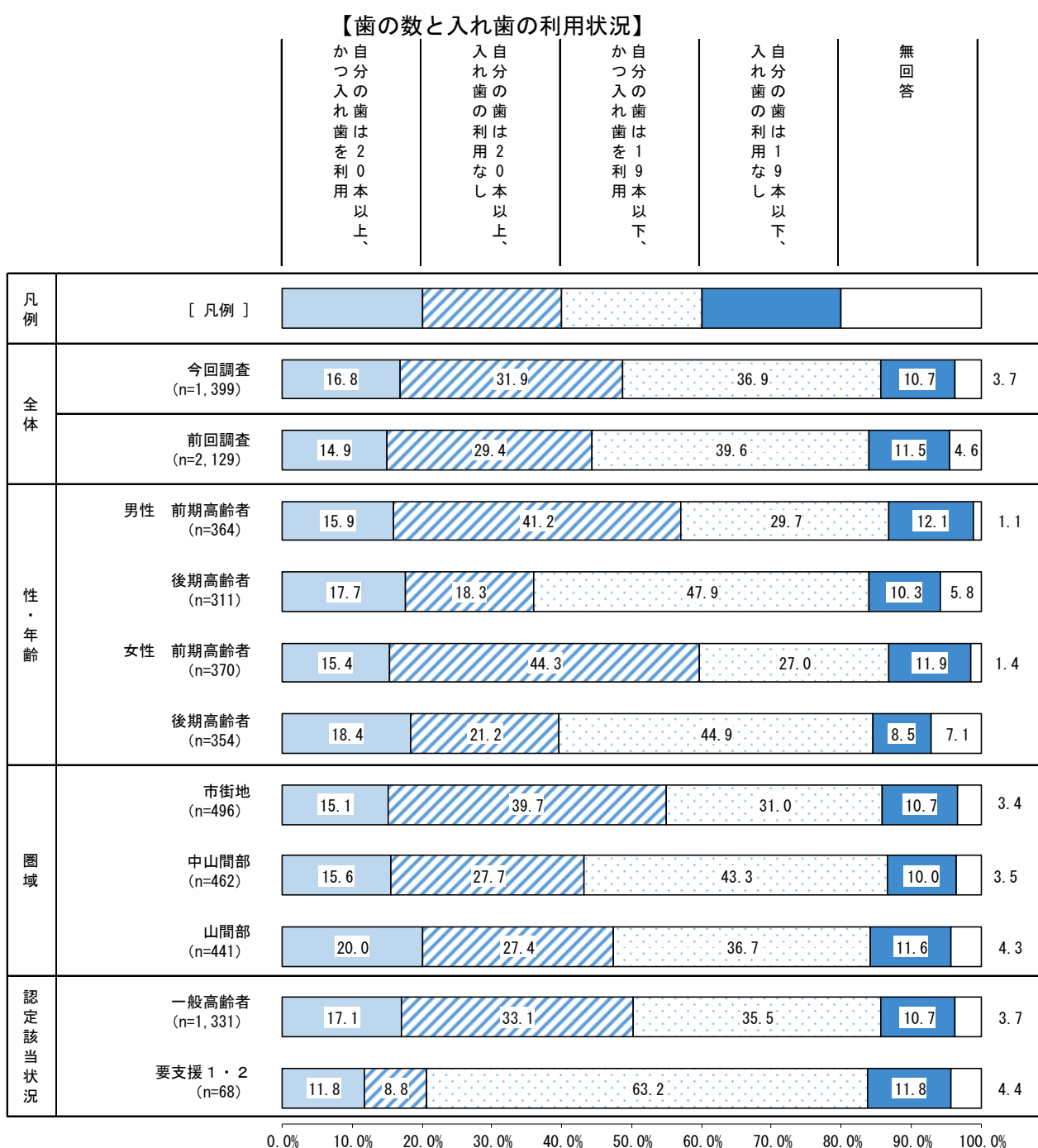
【全体】
○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が91.9%、「いいえ」が6.2%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は男性 後期高齢者が89.1%とやや少なくなっています。
【圏域】
○ 「はい」は山間部が90.5%と少なくなっています。
【認定状況】
○ 「はい」は一般高齢者で92.2%、要支援1・2で85.3%となっています。

【歯磨きを毎日しているか】



●問3(8) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.9%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 31.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 16.8%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、「自分の歯は 20 本以上」は 48.7%と多くなっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに後期高齢者では、「自分の歯は 20 本以上」は 4 割未満となっています。
 ○ 女性に比べて、男性で「自分の歯は 20 本以上」は少なくなっています。
- 【圏域】**
 ○ 「自分の歯は 20 本以上」は市街地が 54.8%と多くなっています。
 ○ 「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」は中山間部が 43.3%と多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「自分の歯は 20 本以上」は一般高齢者で 50.2%、要支援 1・2 で 20.6%となっています。



●問3(8)-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)

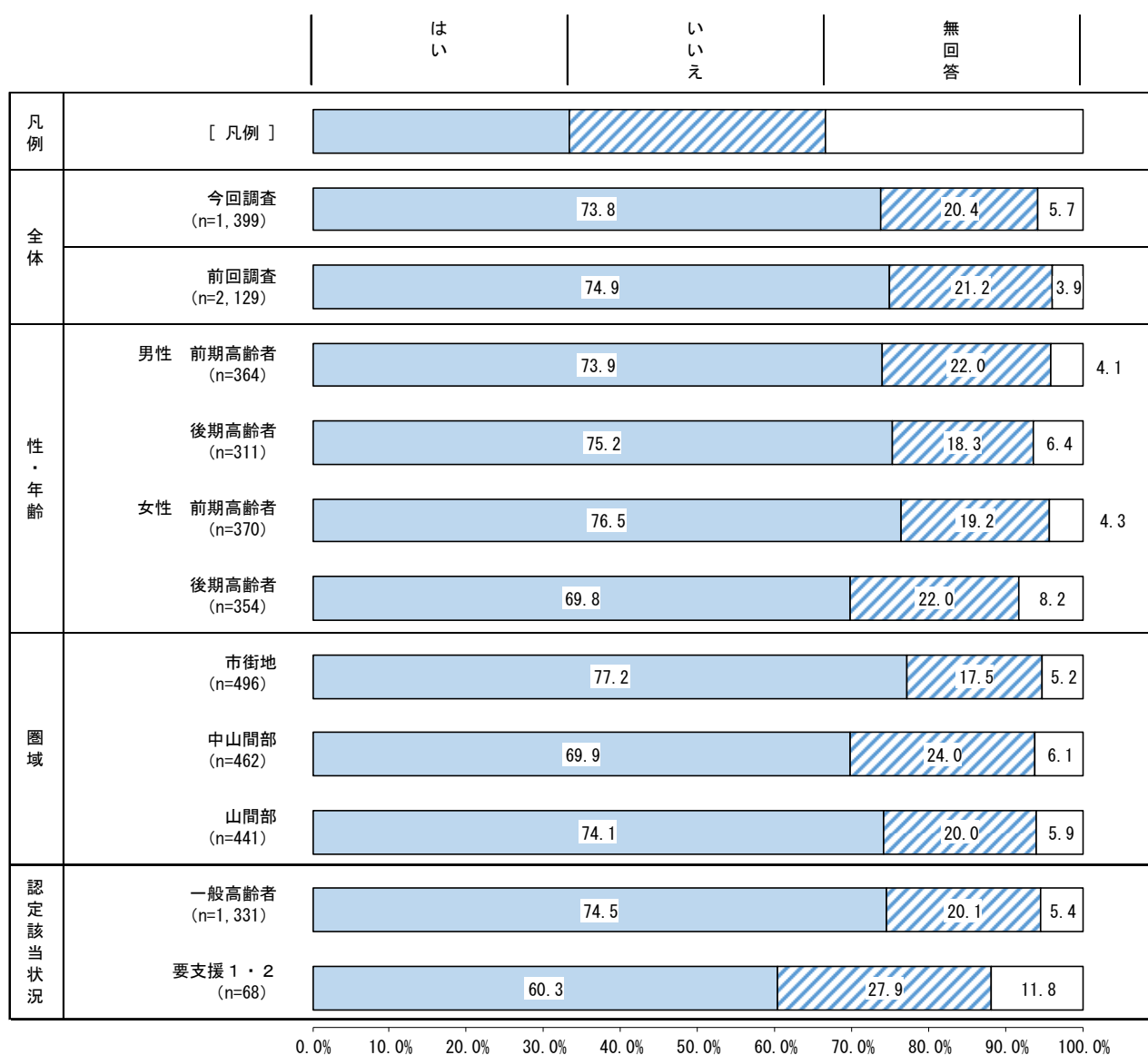
【全体】
 ○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が73.8%、「いいえ」が20.4%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「はい」は女性 後期高齢者が69.8%と少なくなっています。
 ○ 「いいえ」は男性 前期高齢者と女性 後期高齢者が22.0%と多くなっています。

【圏域】
 ○ 「はい」は中山間部が69.9%と少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「はい」は一般高齢者で74.5%、要支援1・2で60.3%となっています。

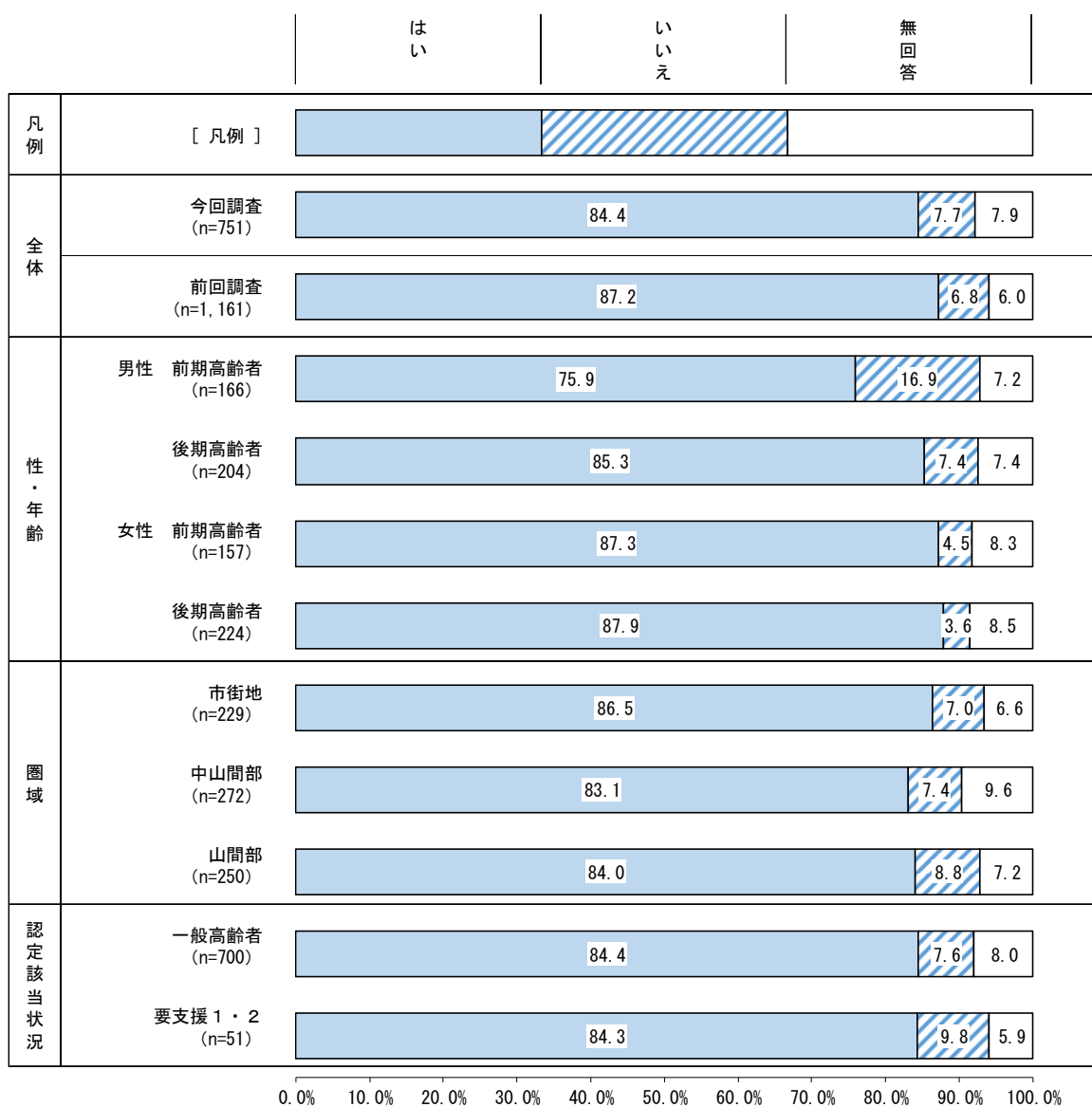
【噛み合わせは良いか】



●問3(8)-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が84.4%、「いいえ」が7.7%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、「はい」が少なくなっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 「はい」は男性 前期高齢者が75.9%と少なくなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 「はい」は中山間部が83.1%と少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「はい」は一般高齢者で84.4%、要支援1・2で84.3%とほぼ同率になっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



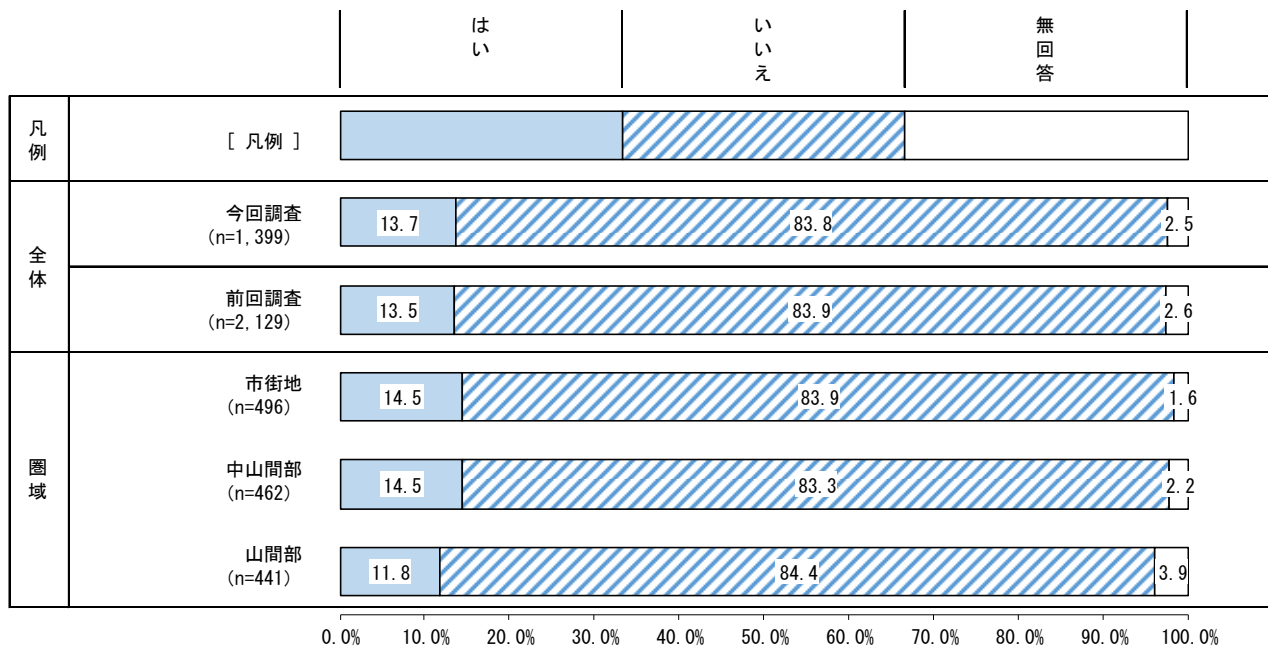
(2) 栄養

① 体重の状況

- 問3(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)

【全体】
○ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が13.7%、「いいえ」が83.8%となっています。
【圏域】
○ 「はい」は市街地と中山間部で14.5%と多くなっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】

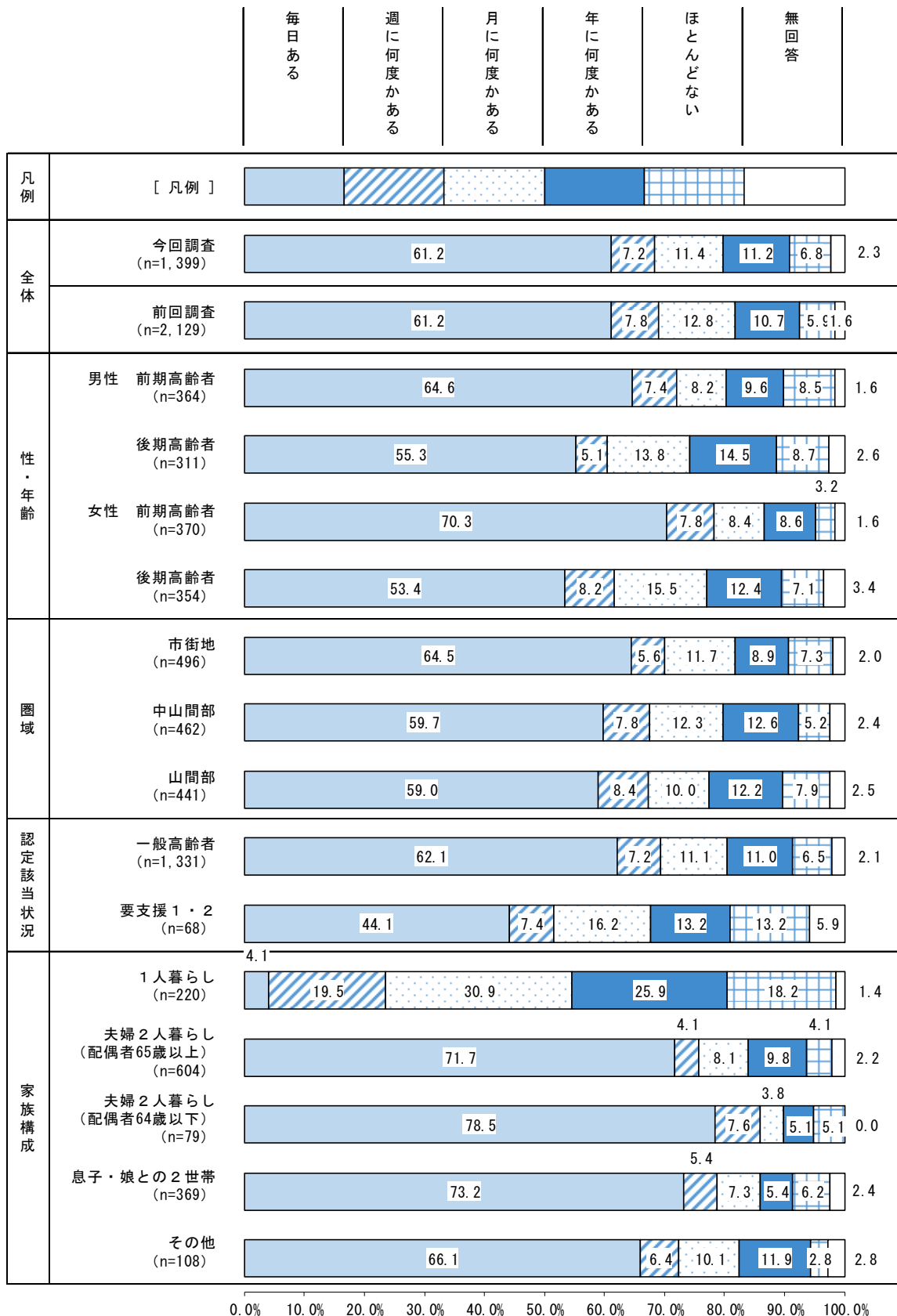


② 共食の有無

- 問3(10) どなたかと食事をともしる機会がありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 共食の有無について、「毎日ある」が61.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が11.4%、「年に何度かある」が11.2%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は18.0%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「毎日ある」が多くなっています。
○ 男女ともに後期高齢者では“孤食傾向の方”が2割となっています。
【圏域】
○ 「ほとんどない」は中山間部が5.2%と少なくなっています。
○ “孤食傾向の方”は、 山間部 では20.1%と多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「ほとんどない」は、一般高齢者では6.5%であるのに対し、要支援1・2では13.2%となっています
【家族構成】
○ 1人暮らしでは「ほとんどない」が18.2%と多くなっています。

【共食の有無】

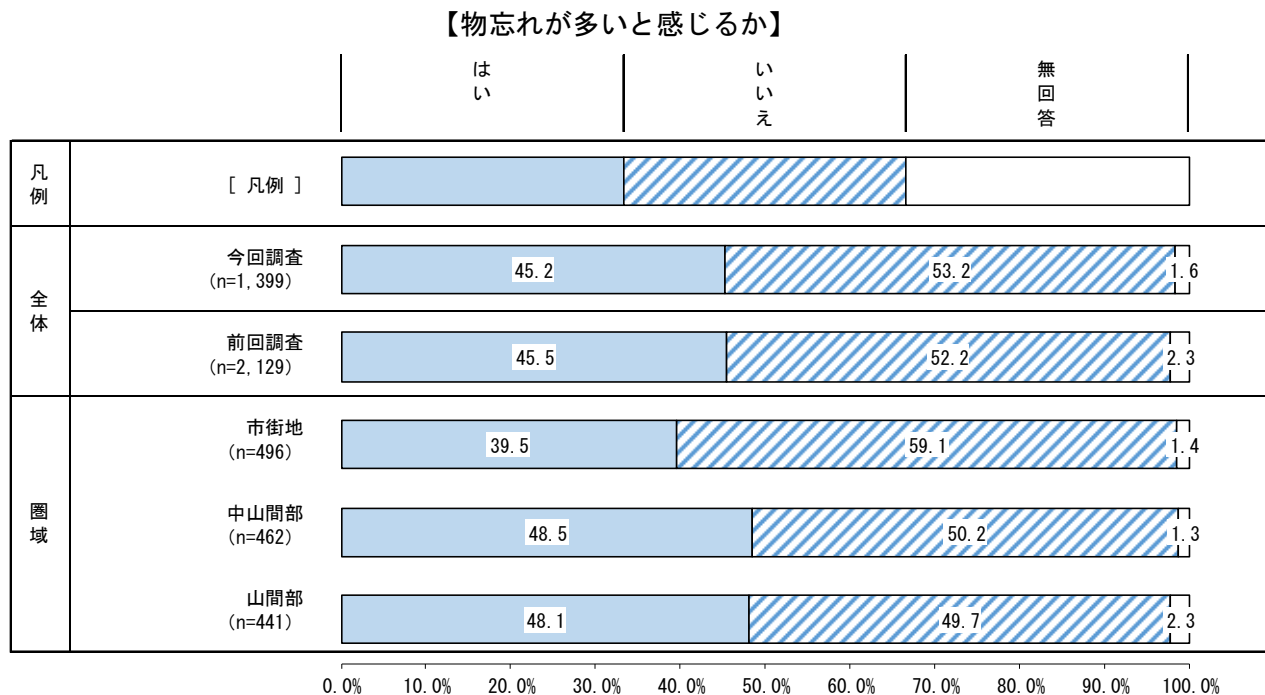


6. 毎日の生活について

(1) 物忘れ

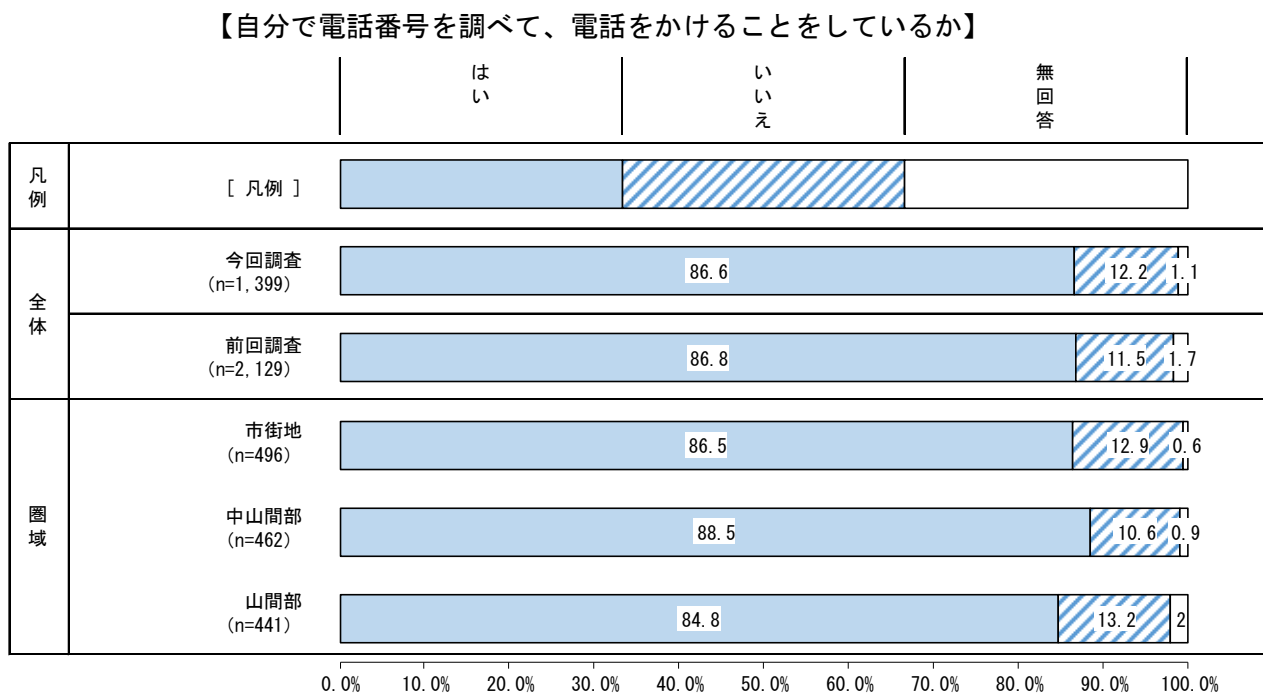
- 問4(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 45.2%、「いいえ」が 53.2%となっています。



- 問4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が 86.6%、「いいえ」が 12.2%となっています。



- 問4(3) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか。(1つだけ)

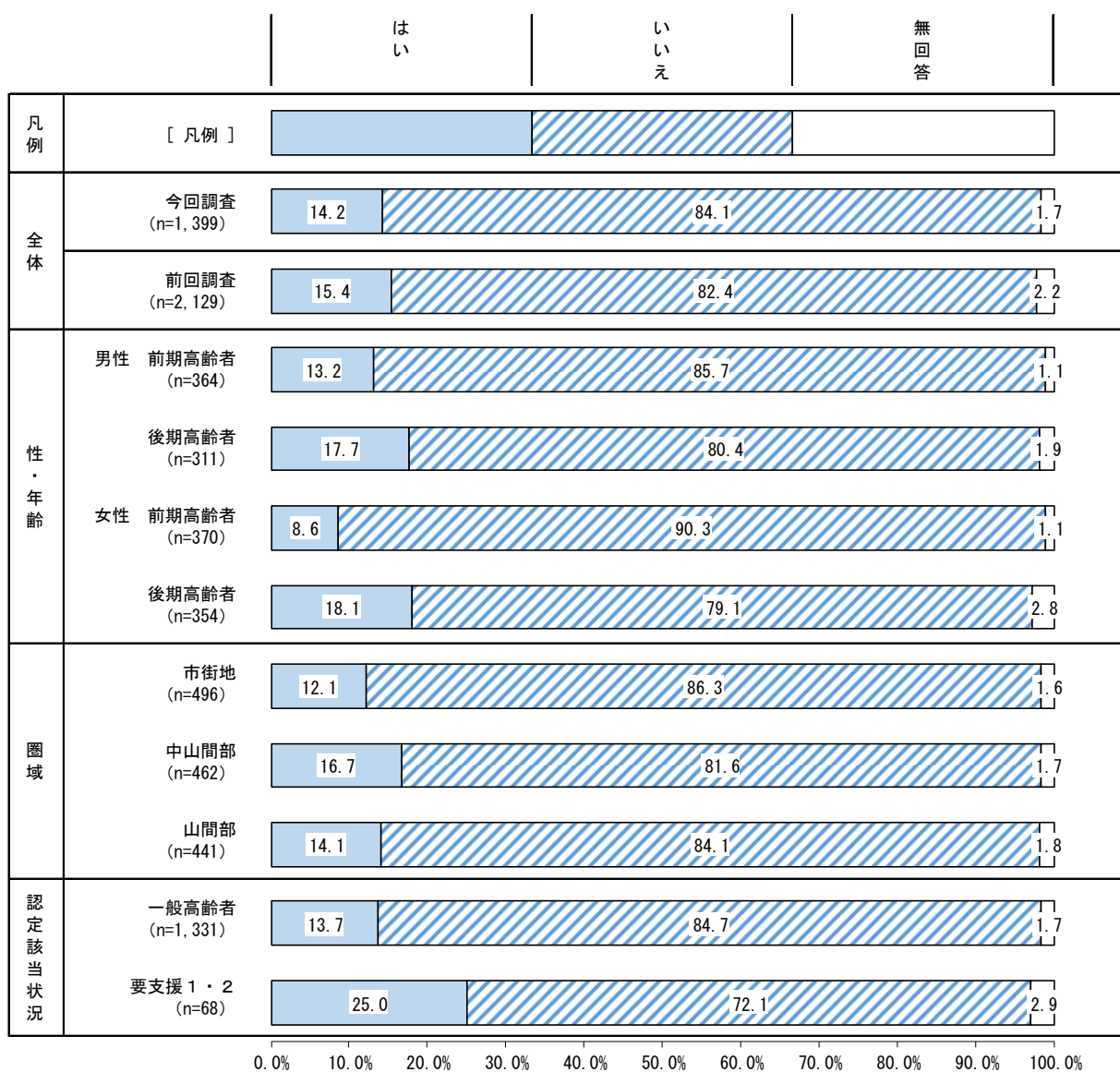
【全体】
 ○ 周りの人から物忘れがあるとされているかについて、「はい」が14.2%、「いいえ」が84.1%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、「はい」がわずかに少なくなっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 「はい」は中山間部が16.7%と多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「はい」は一般高齢者で13.7%、要支援1・2で25.0%となっています。

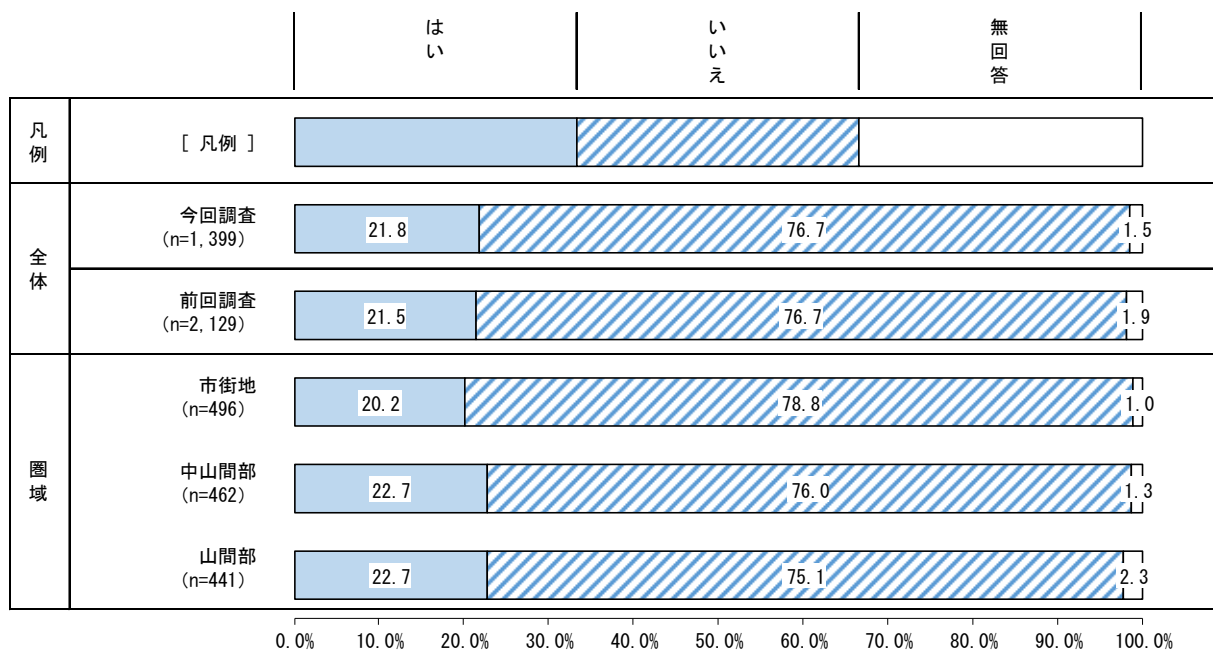
【物忘れがあるとされるか】



●問4(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が 21.8%、「いいえ」が 76.7%となっています。

【今日が何月何日か、わからない時があるか】

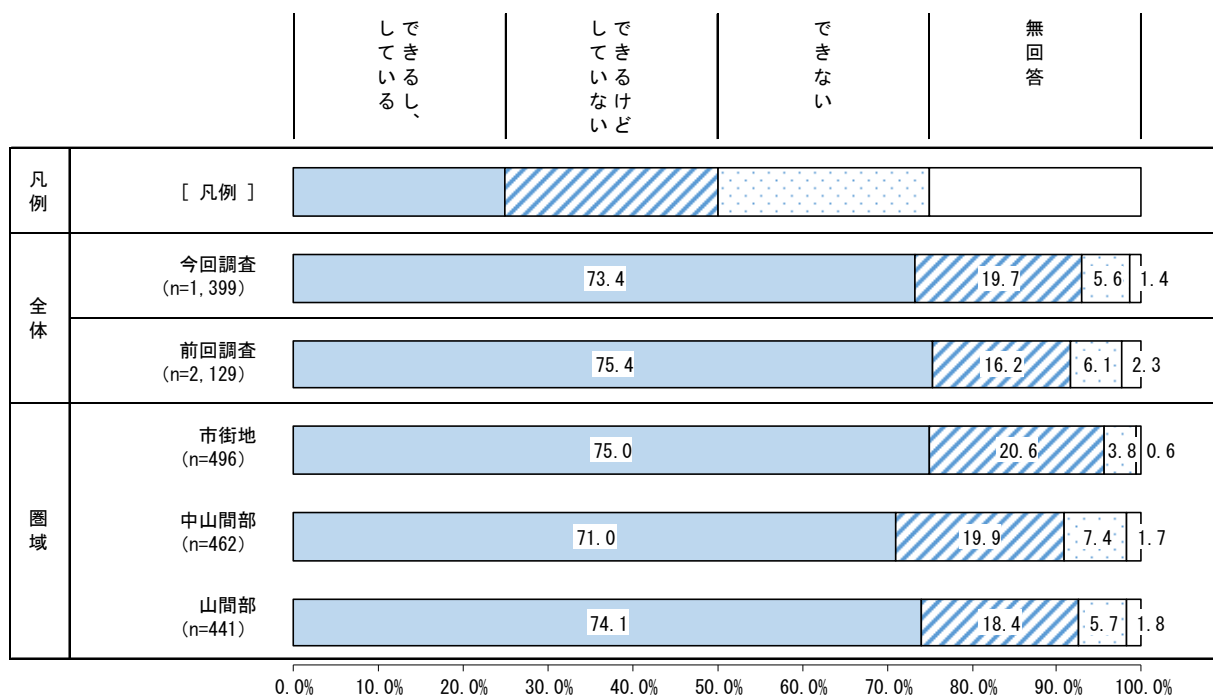


(2) IADLの状況

●問4(5) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つだけ)

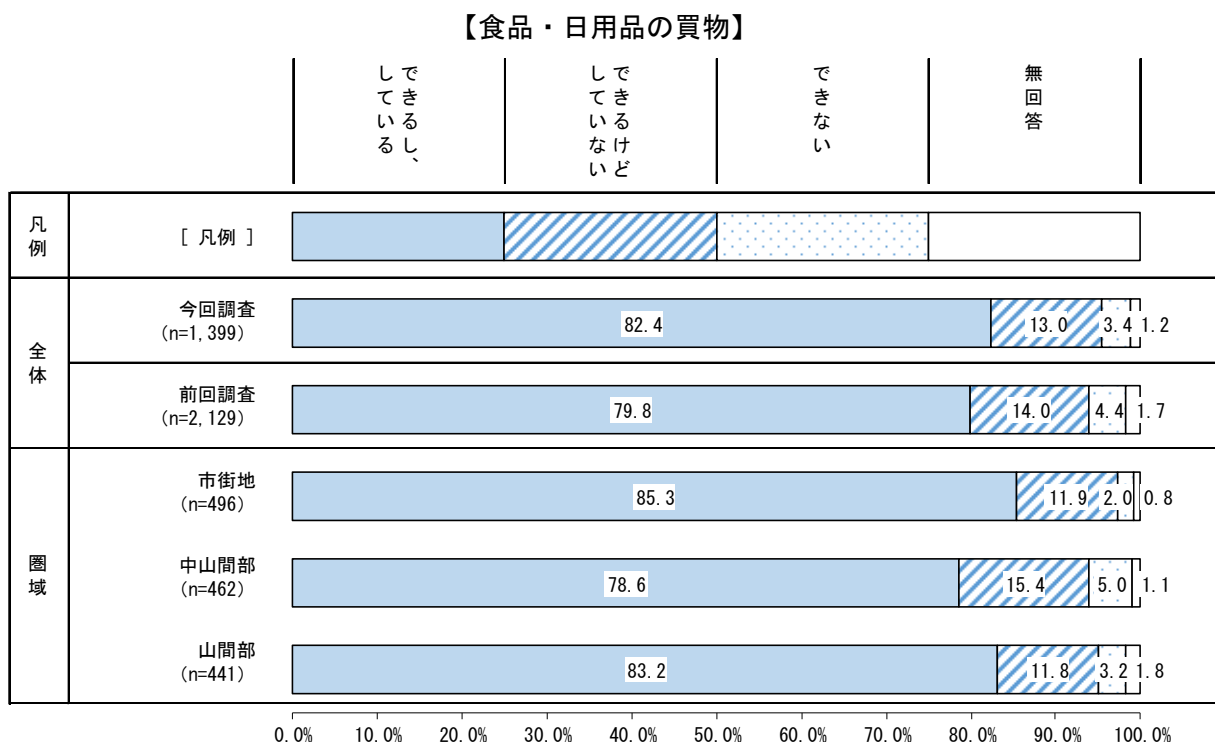
【全体】
○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が 73.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 19.7%、「できない」が 5.6%となっています。

【バスや電車を使った1人での外出】



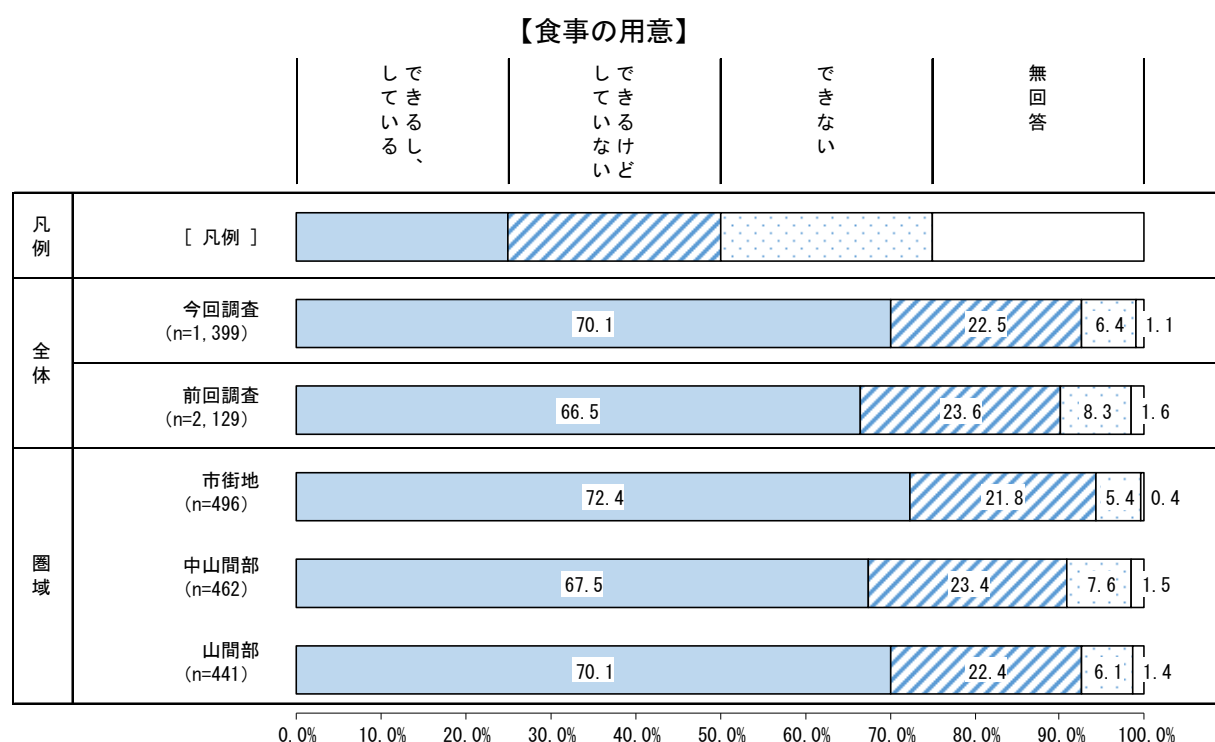
●問4(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が82.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.0%、「できない」が3.4%となっています。



●問4(7) 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

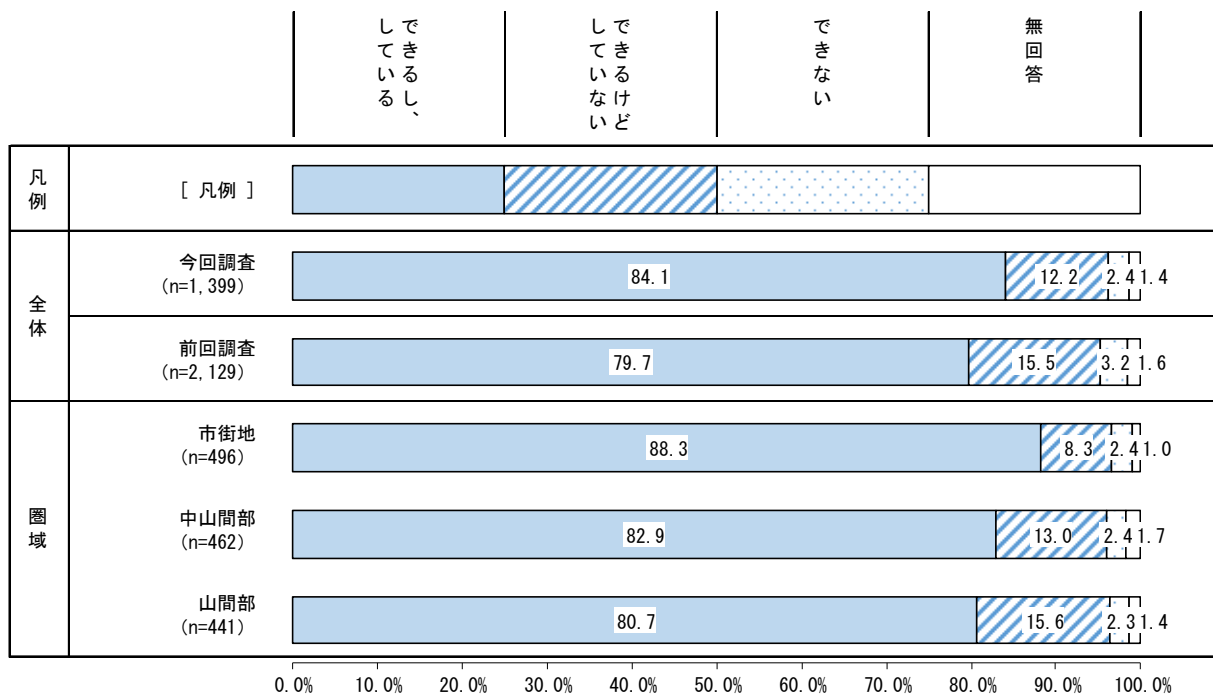
【全体】
 ○ 食事の用意について、「できるし、している」が70.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.5%、「できない」が6.4%となっています。



●問4(8) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が84.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が2.4%となっています。

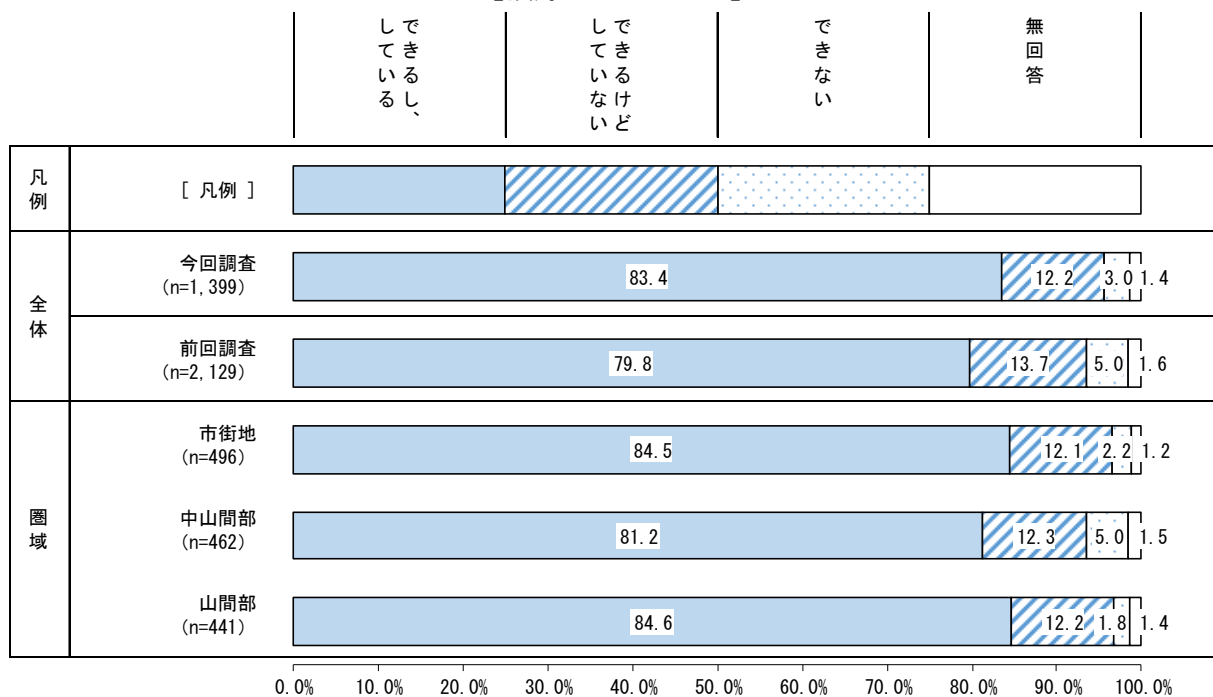
【請求書の支払い】



●問4(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が83.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が3.0%となっています。

【預貯金の出し入れ】

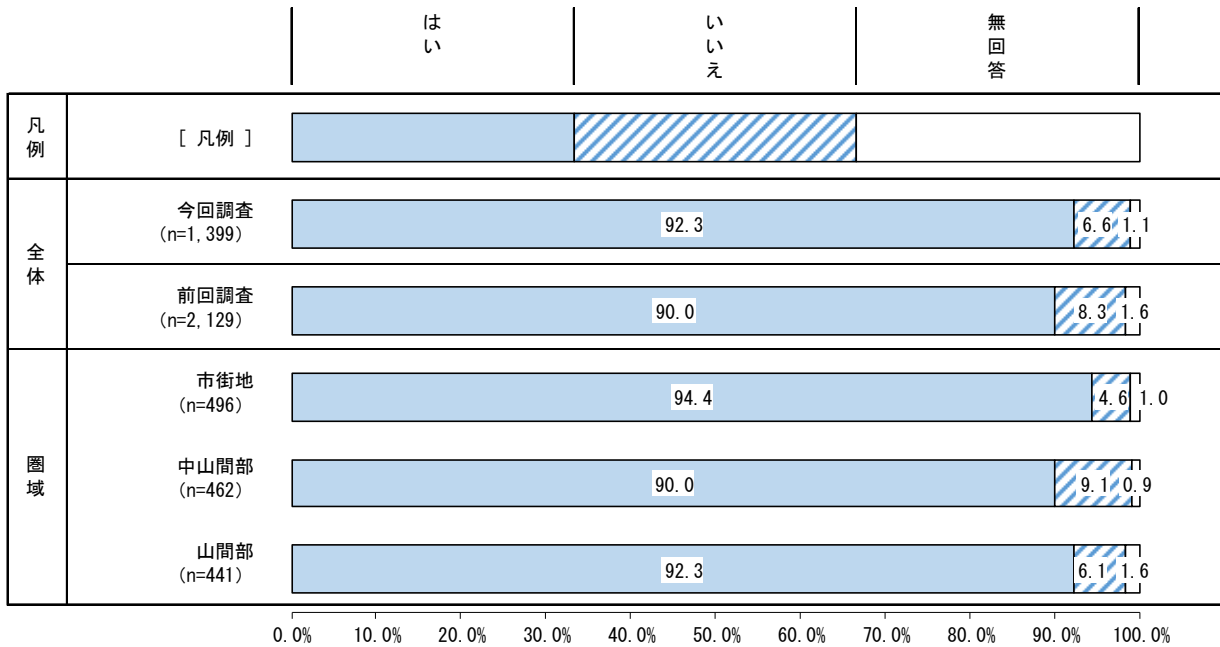


(3) 社会との関わり

●問4(10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ）

【全体】
○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が 92.3%、「いいえ」が 6.6%となっています。

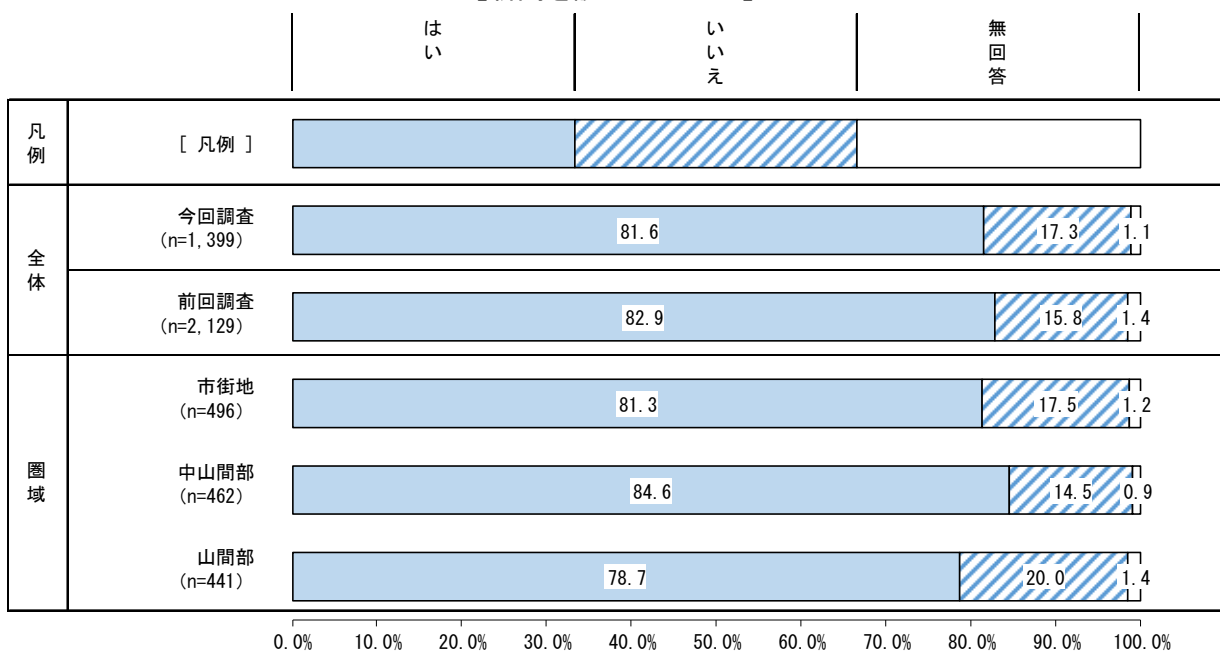
【年金などの書類が書けるか】



●問4(11) 新聞を読んでいますか。（1つだけ）

【全体】
○ 新聞を読んでいるかについて、「はい」が 81.6%、「いいえ」が 17.3%となっています。

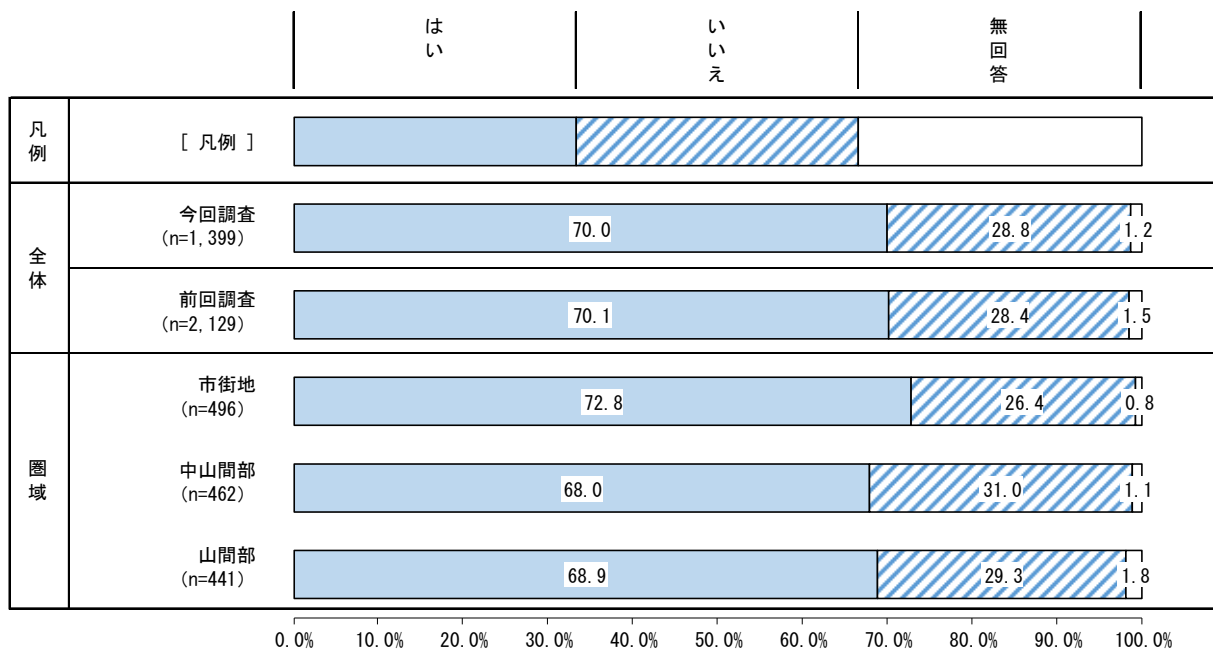
【新聞を読んでいるか】



●問4(12) 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ)

【全体】
○ 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 70.0%、「いいえ」が 28.8%となっています。

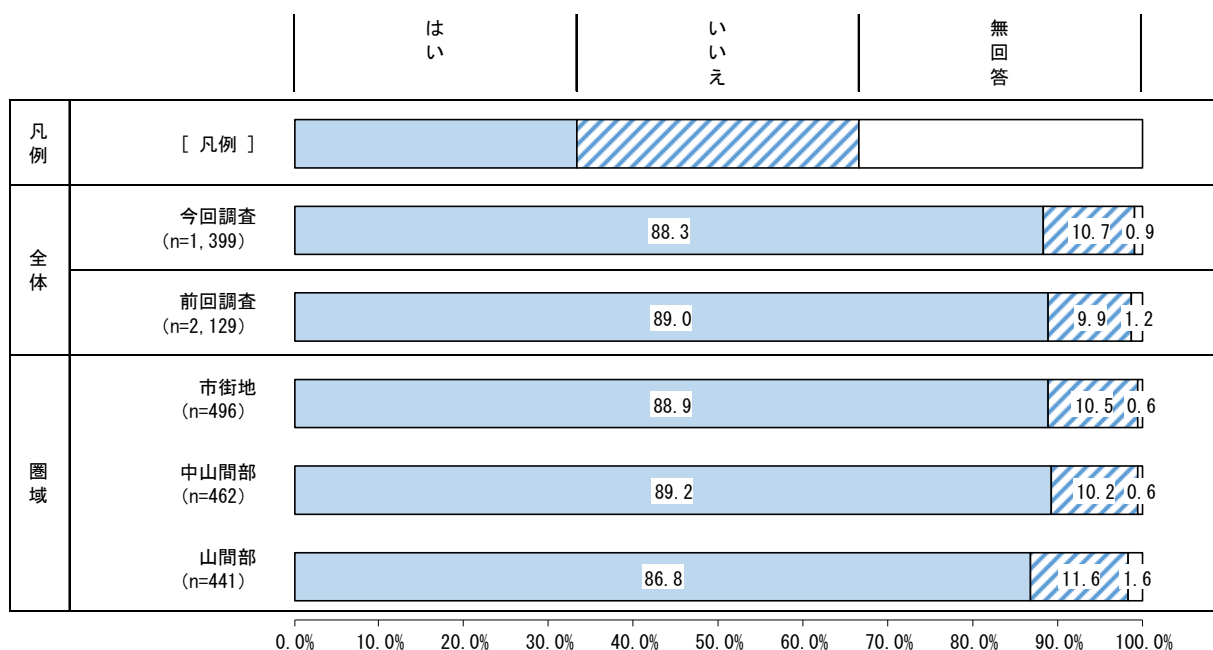
【本や雑誌を読んでいるか】



●問4(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が 88.3%、「いいえ」が 10.7%となっています。

【健康についての記事や番組に関心があるか】



●問4(14) ふだんから家族や友人と付き合いがありますか。(1つだけ)

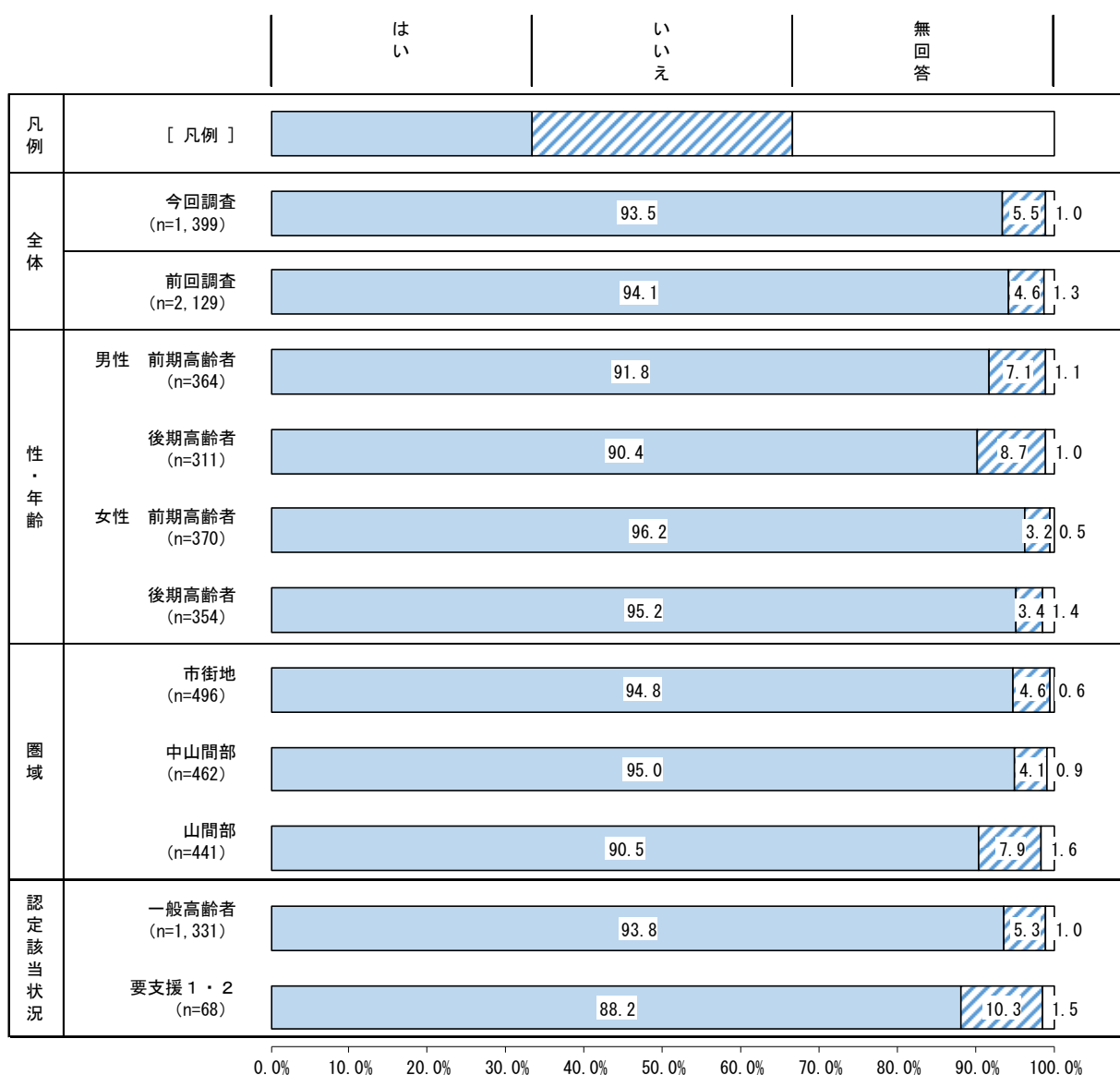
【全体】
 ○ ふだんから家族や友人と付き合いがあるかについて、「はい」が93.5%、「いいえ」が5.5%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 山間部では「はい」が90.5%と少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「いいえ」は一般高齢者では5.3%、要支援1・2では10.3%となっています。

【家族や友人との付き合いがあるか】



●問4(15) 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか。(1つだけ)

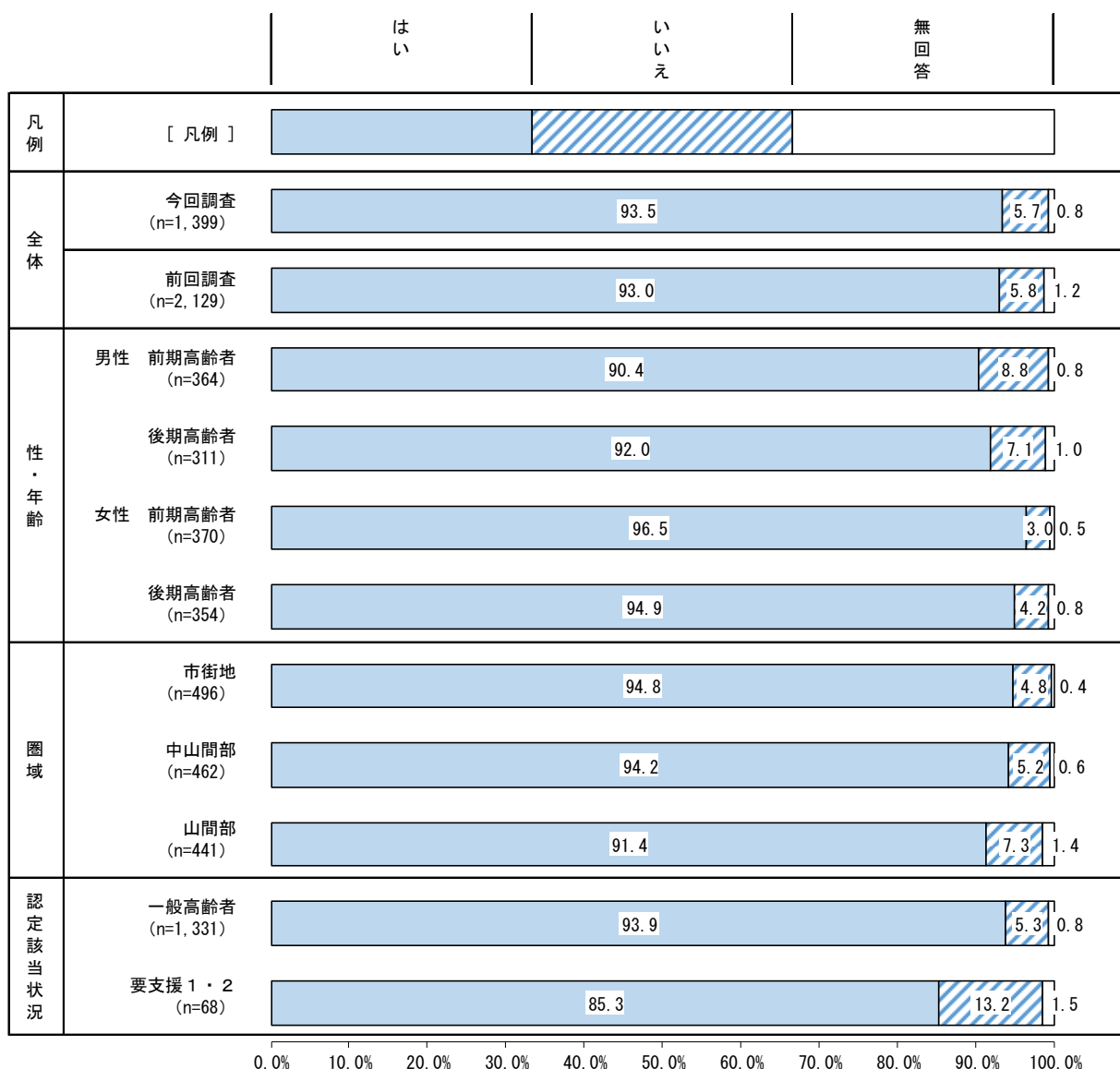
【全体】
 ○ 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいるかについて、「はい」が93.5%、「いいえ」が5.7%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに「はい」が9割以上となっており、女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 山間部では「はい」が91.4%と少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「はい」は一般高齢者では93.9%、要支援1・2では85.3%となっています。

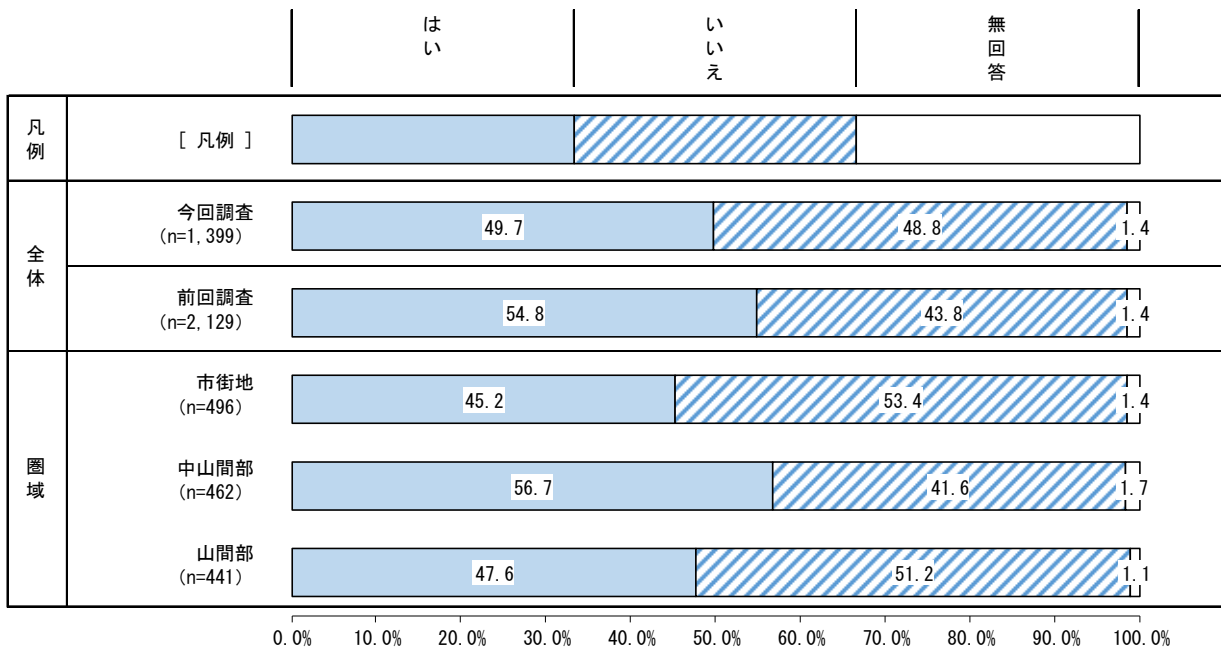
【体調不良時に相談できる人がいるか】



●問4(16) 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 49.7%、「いいえ」が 48.8%となっています。

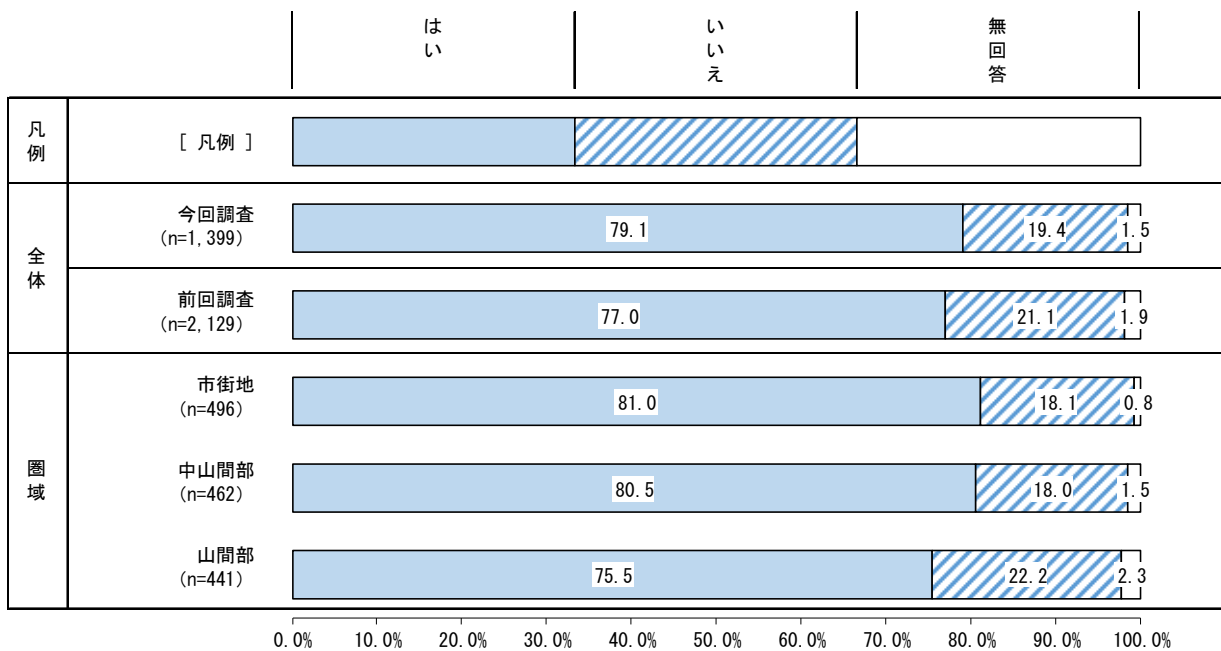
【友人の家を訪ねているか】



●問4(17) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 79.1%、「いいえ」が 19.4%となっています。

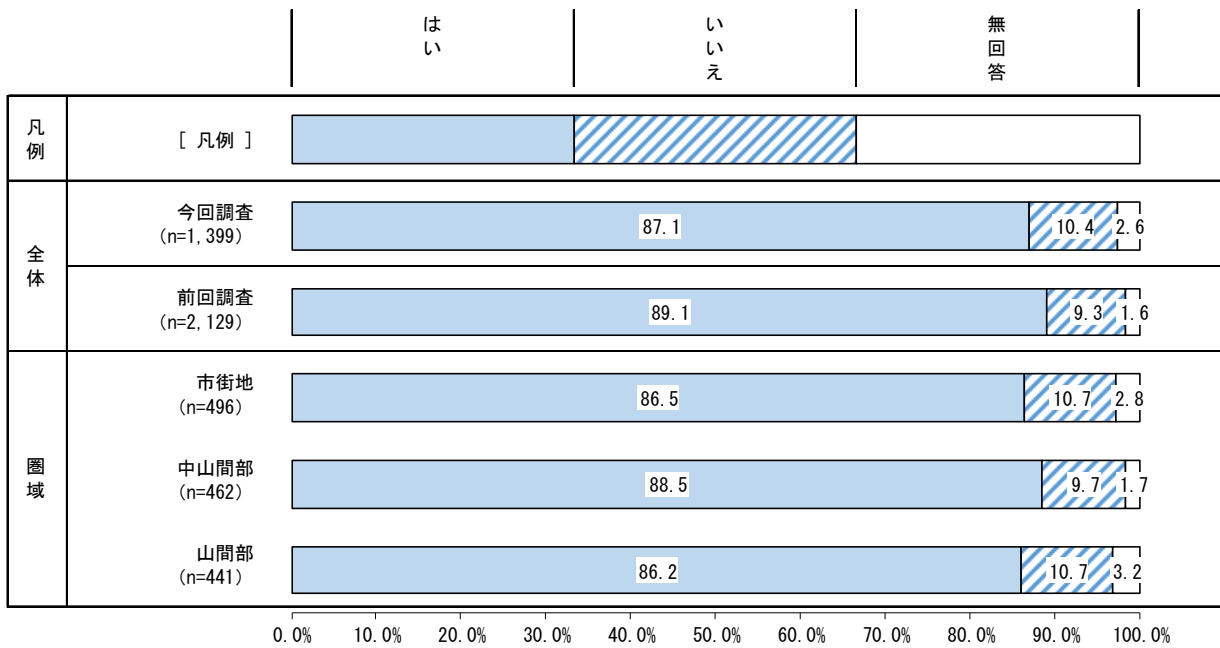
【家族や友人の相談にのっているか】



●問4(18) 病人を見舞うことができますか。(1つだけ)

【全体】
○ 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が 87.1%、「いいえ」が 10.4%となっています。

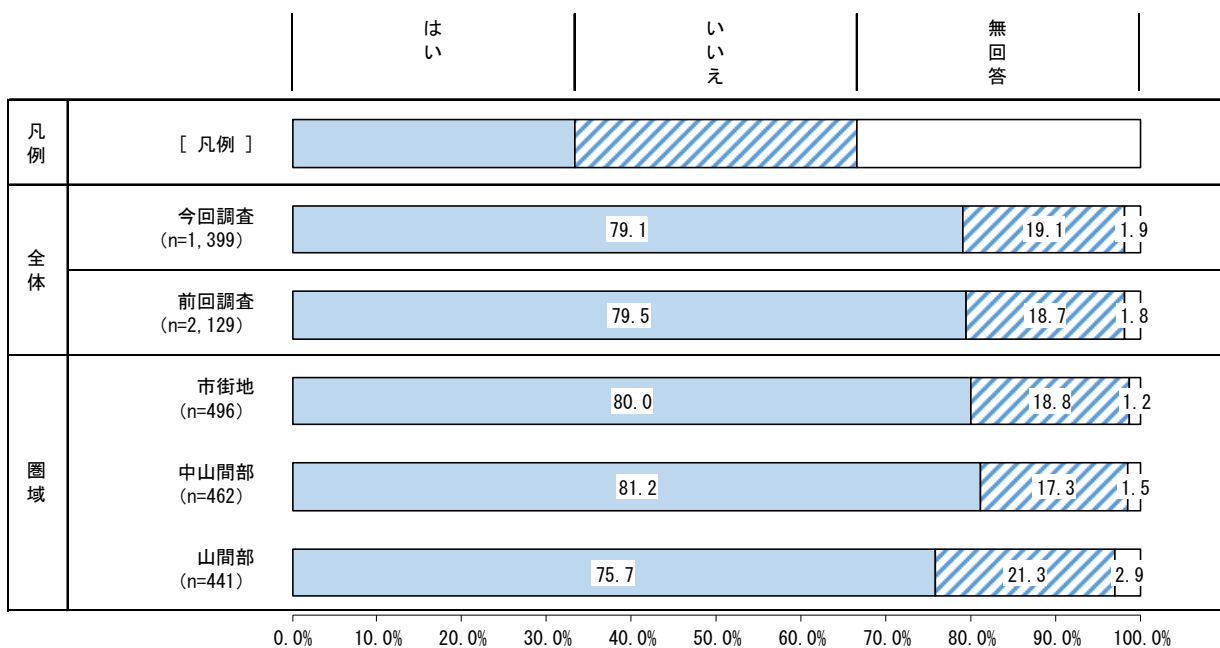
【病人を見舞うことができるか】



●問4(19) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が 79.1%、「いいえ」が 19.1%となっています。

【若い人に自分から話しかけることがあるか】



(4) 趣味・生きがいについて

●問4(20) 趣味はありますか。(1つだけ)

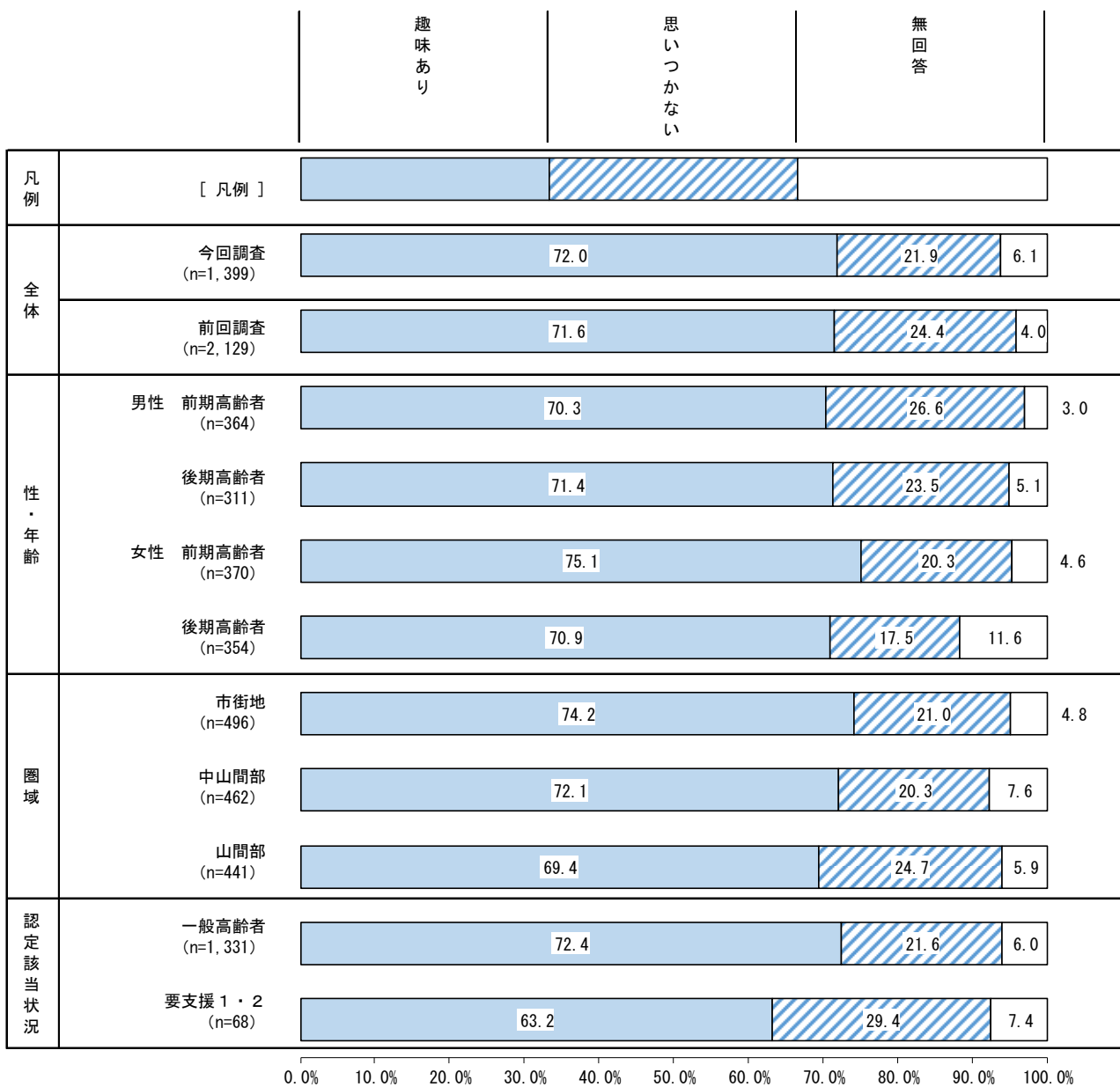
【全体】
 ○ 趣味の有無について、「趣味あり」が72.0%、「思いつかない」が21.9%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「趣味あり」は女性 前期高齢者が75.1%と多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「思いつかない」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 「趣味あり」は山間部が69.4%と少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「趣味あり」は一般高齢者では72.4%、要支援1・2では63.2%となっています。
 ○ 要支援1・2では「思いつかない」が約3割となっています。

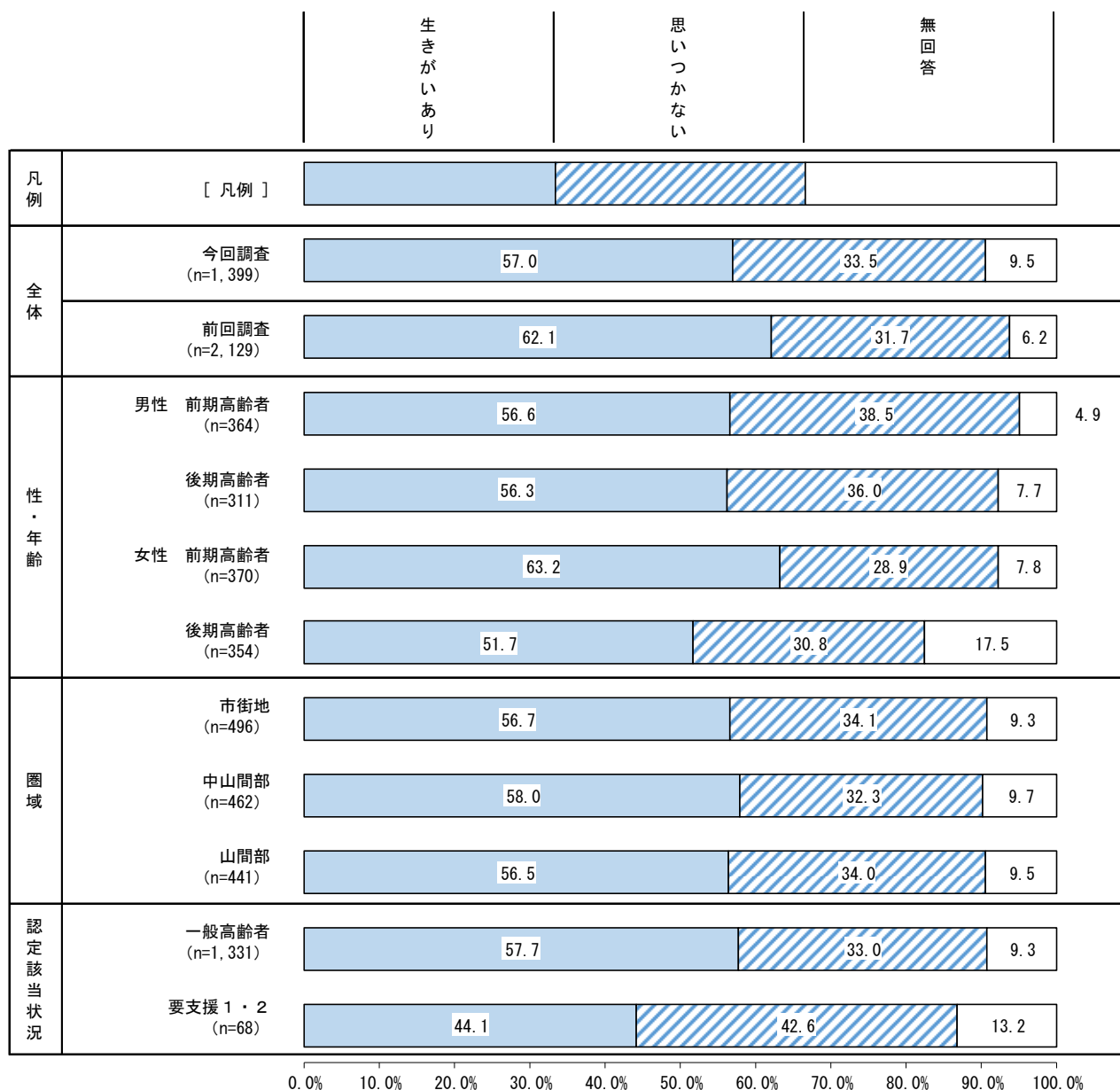
【趣味の有無】



●問4(21) 生きがいはありますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が57.0%、「思いつかない」が33.5%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、「生きがいあり」が約5ポイント少なくなっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 「生きがいあり」は女性 前期高齢者が63.2%と多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「思いつかない」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「生きがいあり」は一般高齢者では57.7%、要支援1・2では44.1%となっています。
 ○ 要支援1・2では「思いつかない」が約4割となっています。

【生きがいの有無】



●問4(22) あなたは周りの人の何割を信頼できますか。(1つだけ)

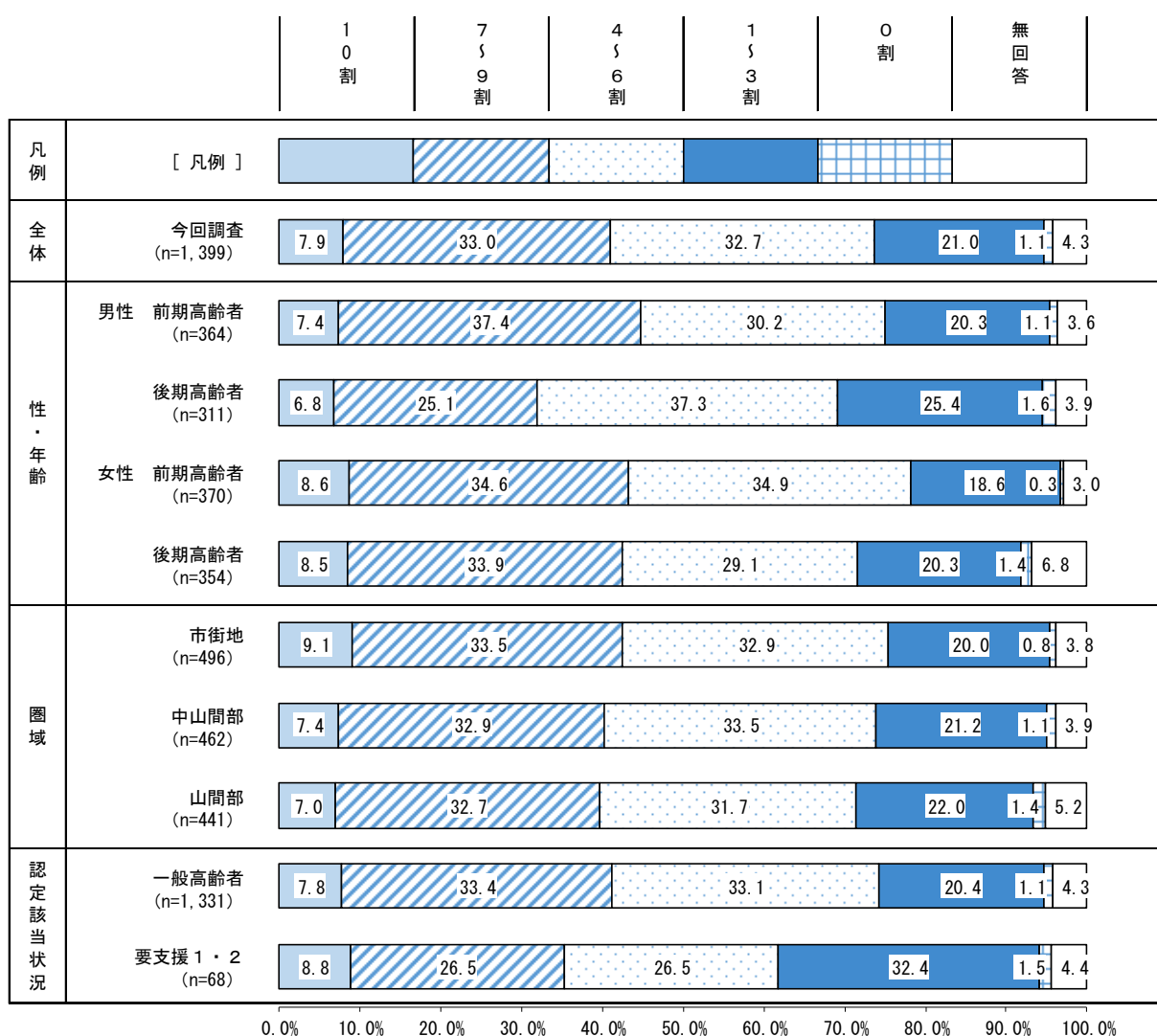
【全体】
 ○ 周りの人への信頼について、「7～9割」が **33.0%**で最も多く、次いで「4～6割」が32.7%、「1～3割」が21.0%となっています。
 ○ 「10割」は7.9%、「0割」(信頼していない)は1.1%でした。
 ○ “7割以上信頼している人”は約4割となっています。

【性・年齢】
 ○ 男性 後期高齢者では、“7割以上信頼している人”は約3割と少なくなっています。

【圏域】
 ○ 市街地では、「10割」が9.1%、「7～9割」が33.5%と多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要支援1・2では、「1～3割」が32.4%で最も多く、次いで「7～9割」「4～6割」が26.5%、「10割」が8.8%となっています。

【周りの人への信頼】



7. 地域での活動について

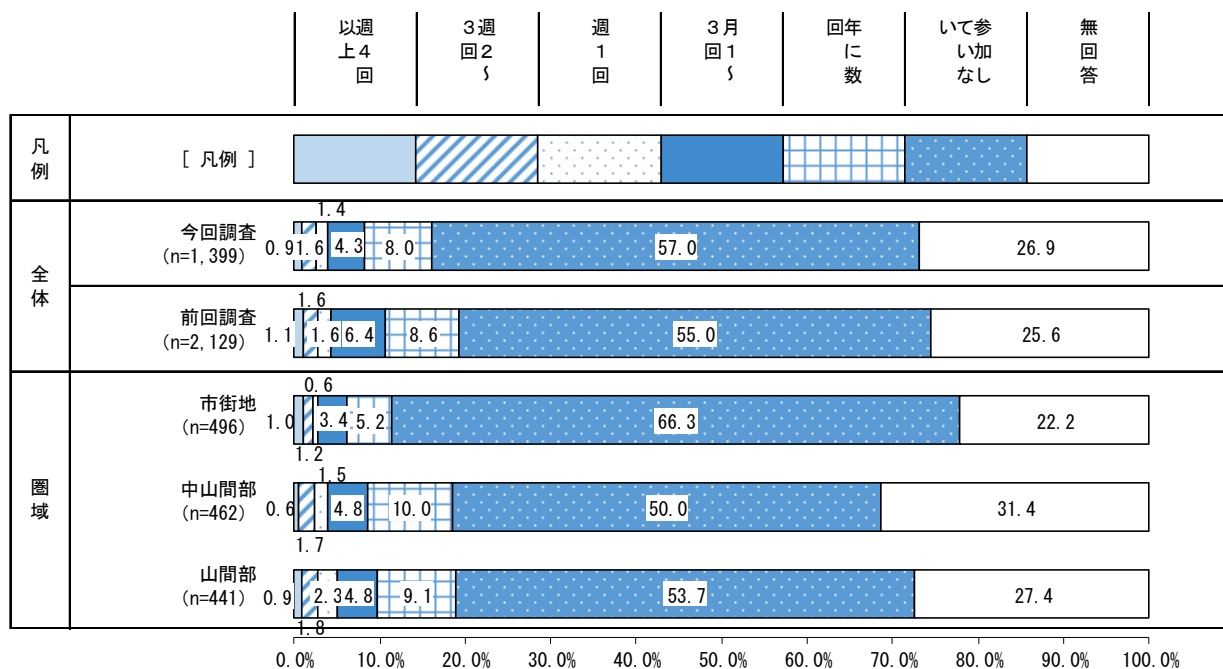
(1) 地域活動づくりへの参加状況

●問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①～⑧それぞれ1つ)

① ボランティアのグループ

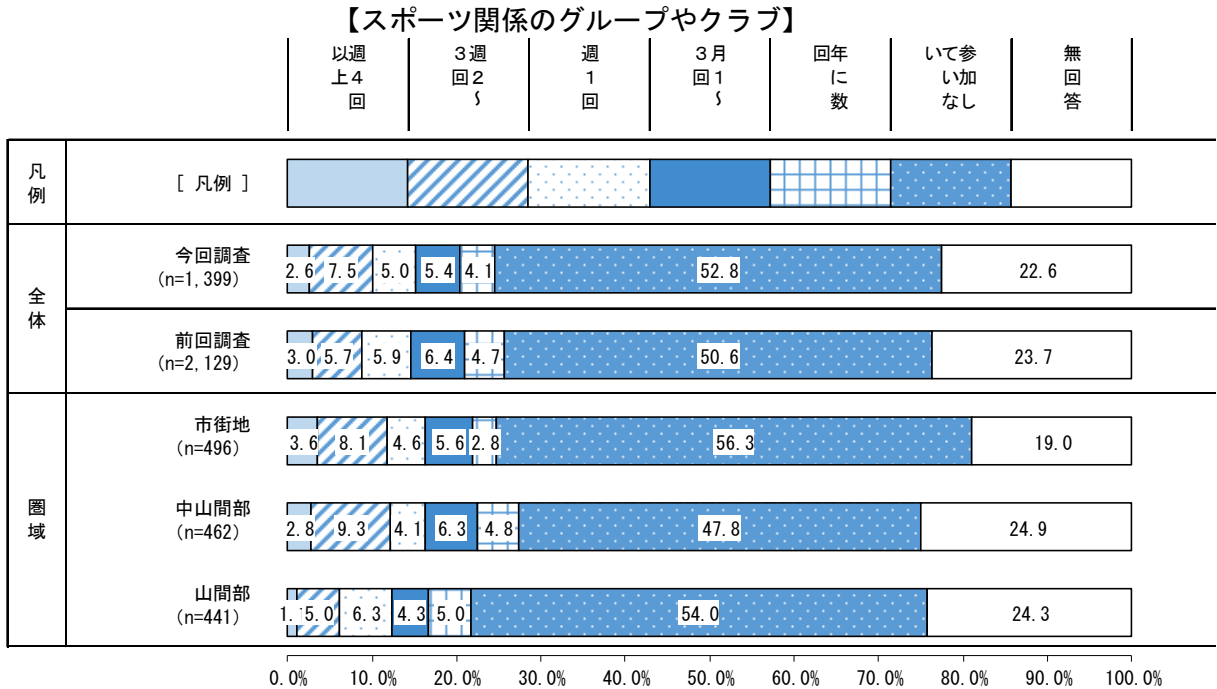
【全体】
○ ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が57.0%で最も多く、次いで「年に数回」が8.0%、「月1～3回」が4.3%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は3.9%となっています。
○ 前回調査と比べて、「参加していない」がわずかに多くなっています。
【圏域】
○ 市街地では“年に数回以上参加している人”をみても約1割と少なくなっています。

【ボランティア】



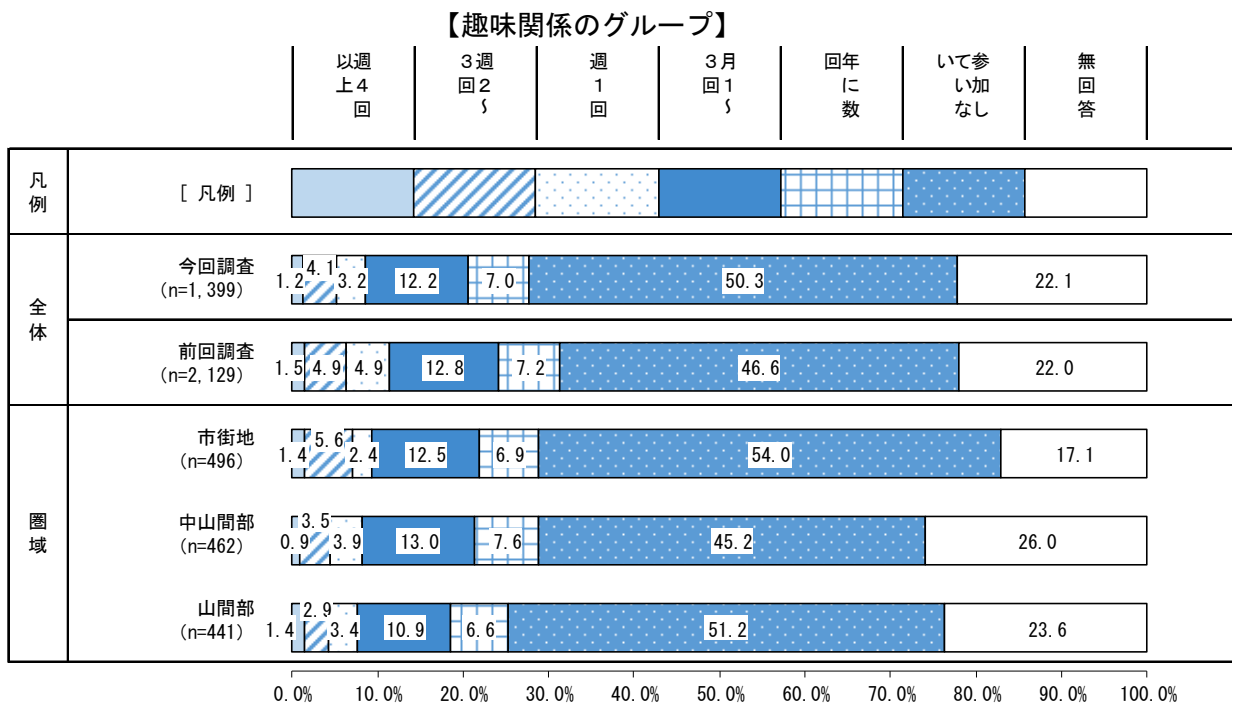
② スポーツ関係のグループやクラブ

【全体】
 ○ ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が52.8%で最も多く、次いで「週2～3回」が7.5%、「月1～3回」が5.4%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は15.1%となっています。



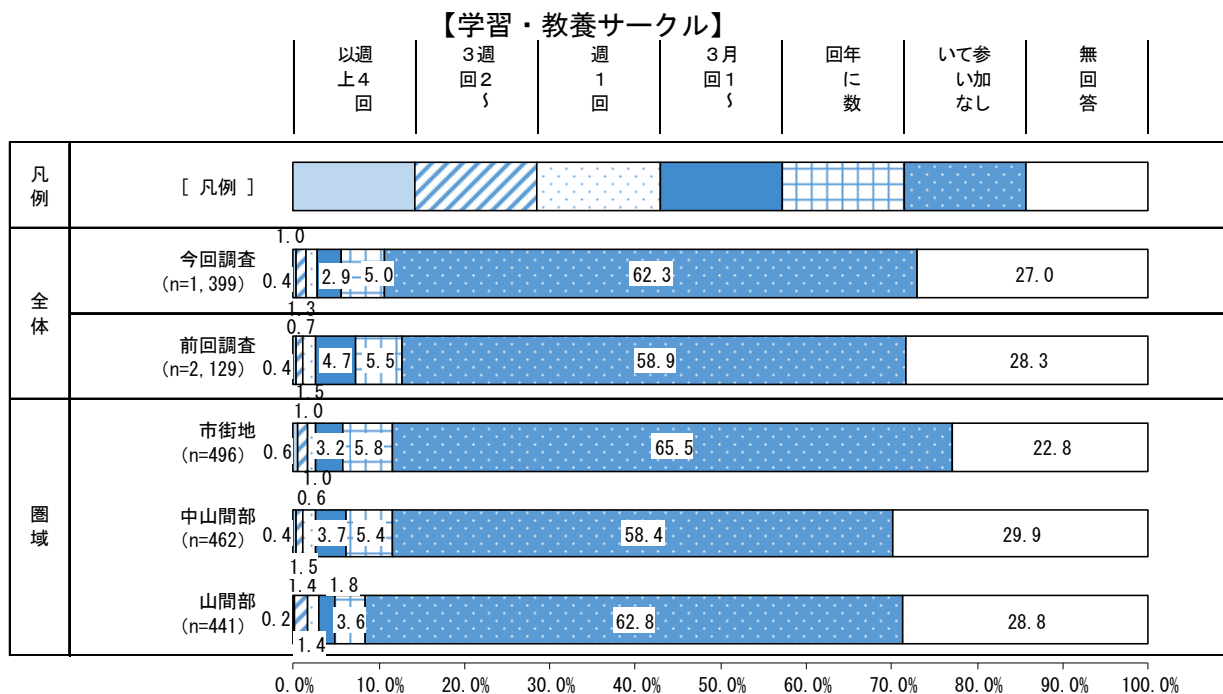
③ 趣味関係のグループ

【全体】
 ○ ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が50.3%で最も多く、次いで「月1～3回」が12.2%、「年に数回」が7.0%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は8.5%となっています。



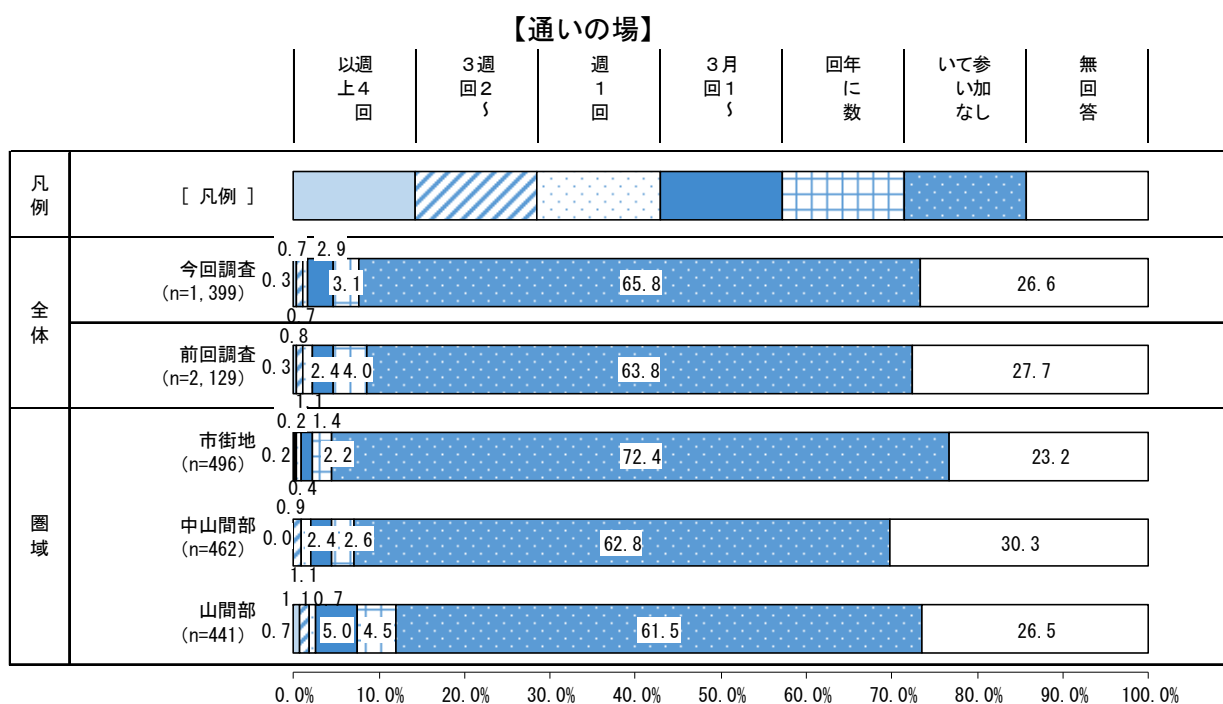
④ 学習・教養サークル

【全体】
 ○ ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が62.3%で最も多く、次いで「年に数回」が5.0%、「月1～3回」が2.9%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は2.7%となっています。



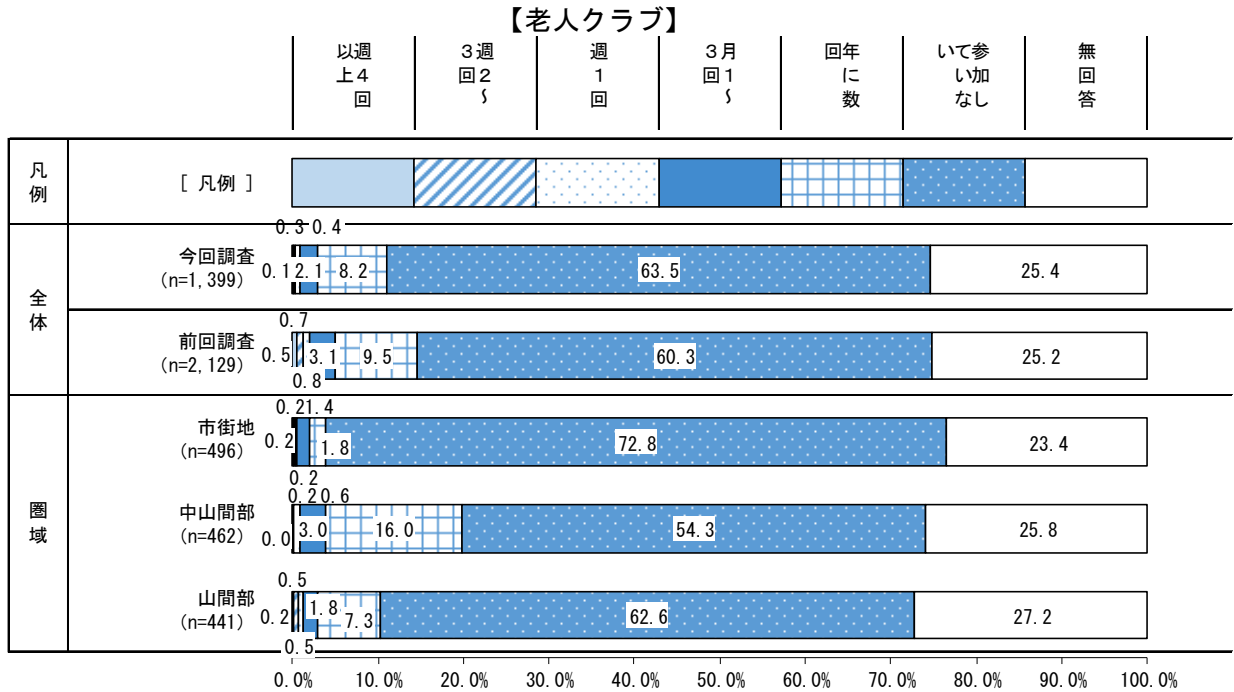
⑤ (地域のサロンなど) 介護予防のための通いの場

【全体】
 ○ ⑤介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が65.8%で最も多く、次いで「年に数回」が3.1%、「月1～3回」が2.9%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.7%となっています。



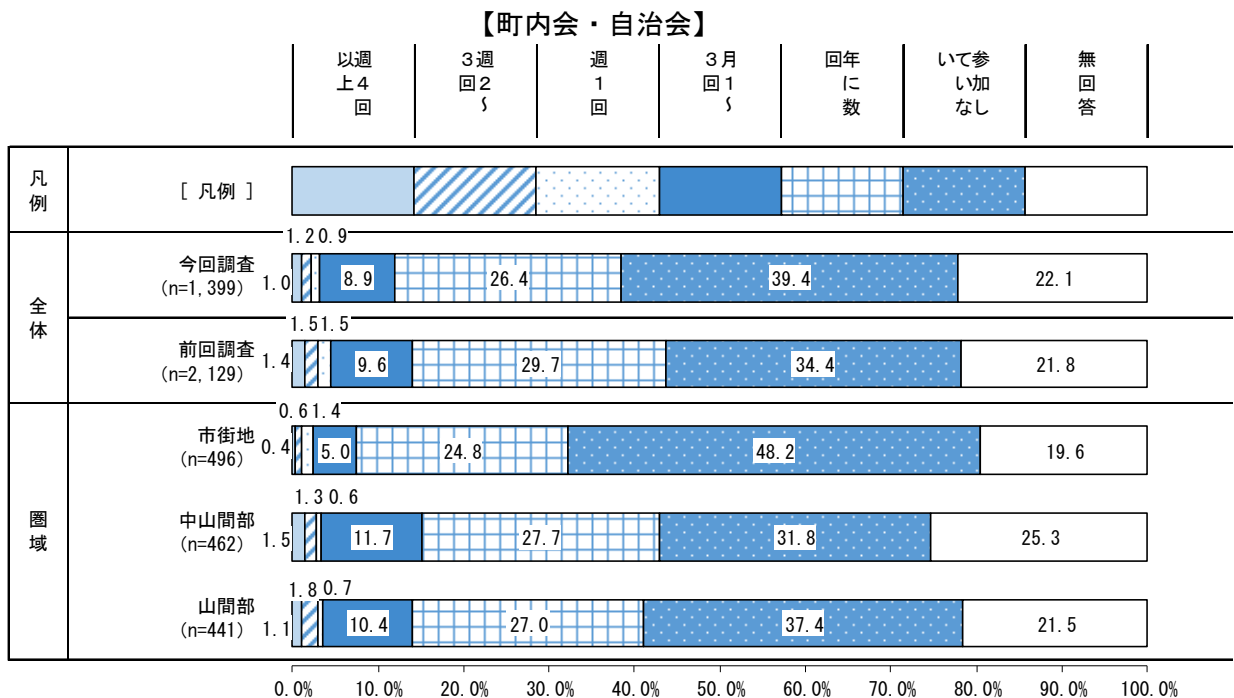
⑥ 老人クラブ

【全体】
 ○ ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が63.5%で最も多く、次いで「年に数回」が8.2%、「月1～3回」が2.1%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は0.8%となっています。



⑦ 町内会・自治会

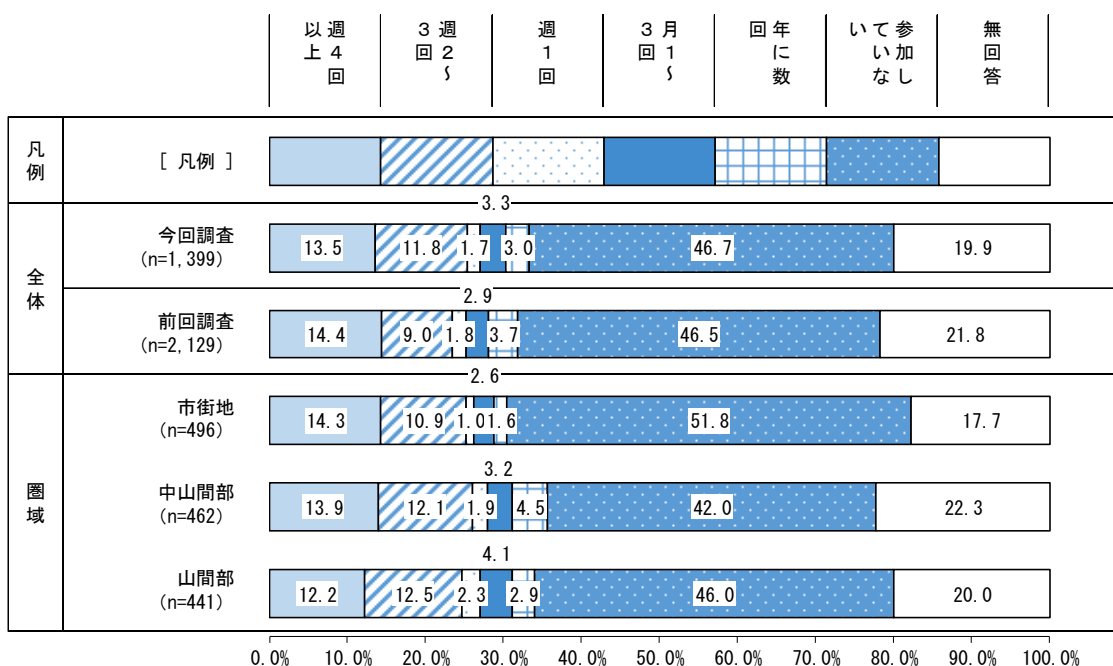
【全体】
 ○ ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が39.4%で最も多く、次いで「年に数回」が26.4%、「月1～3回」が8.9%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は3.1%となっています。



⑧ 収入のある仕事

- 【全体】**
- ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が46.7%で最も多く、次いで「週4回以上」が13.5%、「週2～3回」が11.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は27.0%となっています。
 - 前回調査と比べて、“年に数回以上参加している人”は多くなっています。
- 【圏域】**
- 市街地では「参加していない」が5割を超えて、多くなっています。

【収入のある仕事】

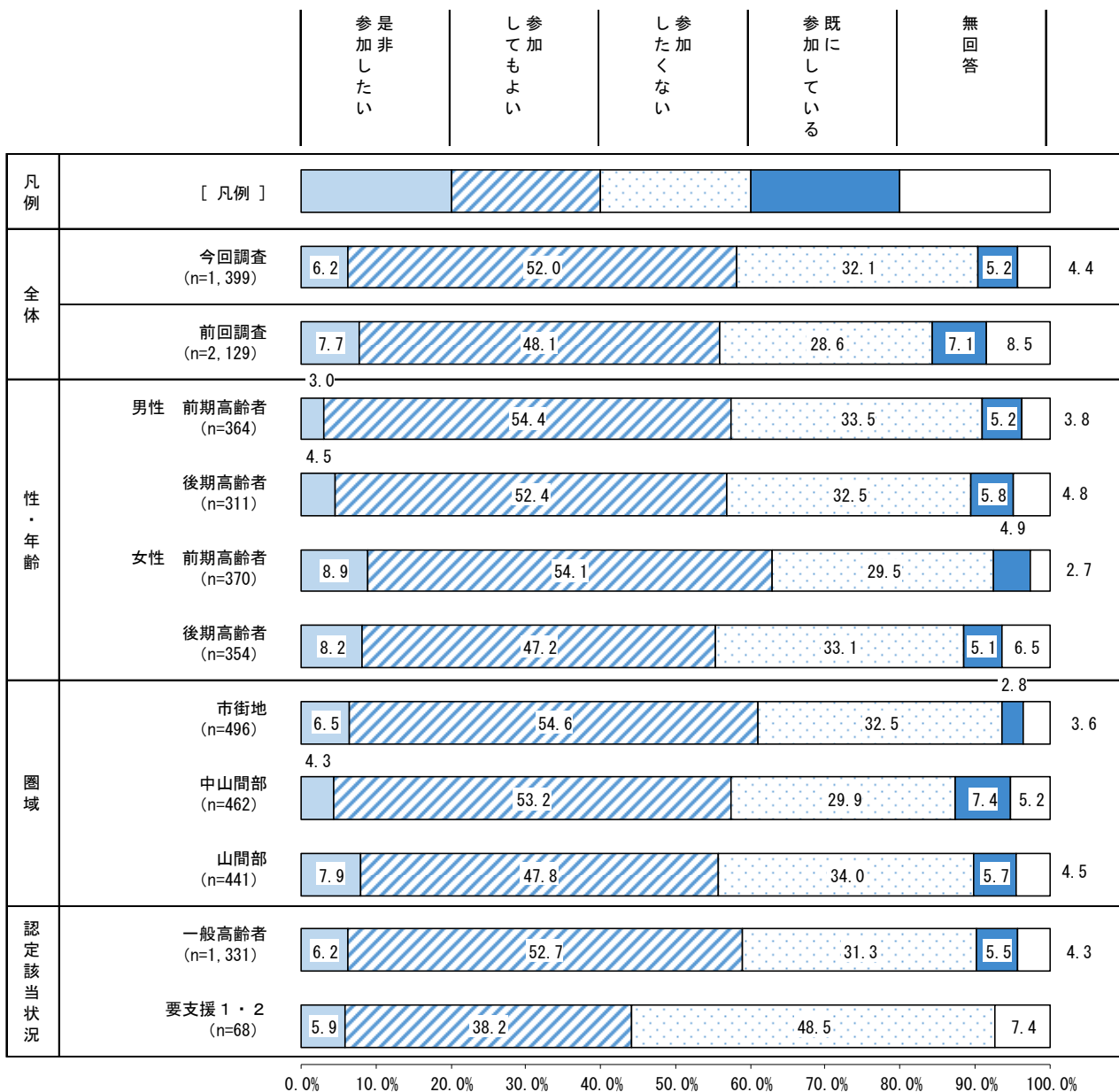


(2) 地域活動づくりへの参加意向

- 問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が52.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が32.1%、「是非参加したい」が6.2%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は58.2%となっています。一方、「既に参加している」は1割未満となっています。 ○ 前回調査と比べて、「参加したくない」が多くなっています。 <p>【性・年齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「是非参加したい」が多くなっています。 <p>【圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地では「既に参加している」が少なくなっています。 <p>【認定該当状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 要支援1・2では「既に参加している」はありませんでしたが、一方、“参加意向がある方”は4割を超えています。
--

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



- 問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

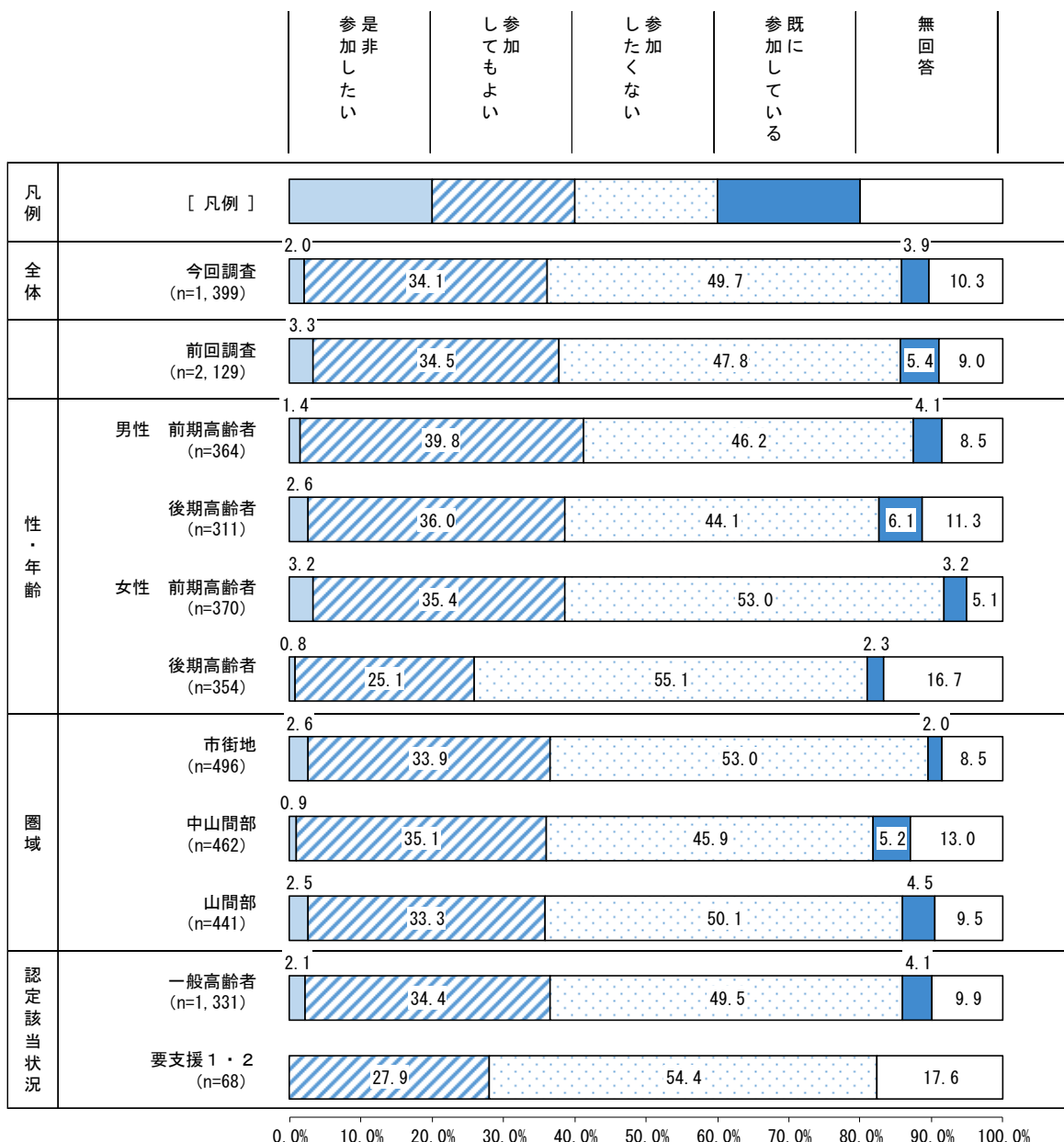
【全体】
 ○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が49.7%で最も多く、次いで「参加してもよい」が34.1%、「既に参加している」が3.9%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は36.1%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、“参加意向がある方”が少なくなっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「既に参加している」が多くなっています。特に男性 後期高齢者では6.1%と多くなっています。
 ○ 男性前期高齢者では、“参加意向がある方”が41.2%と多くなっています。

【圏域】
 ○ 市街地では、「既に参加している」が2.0%と少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 一般高齢者、要支援1・2ともに、「参加したくない」が約5割と多くなっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



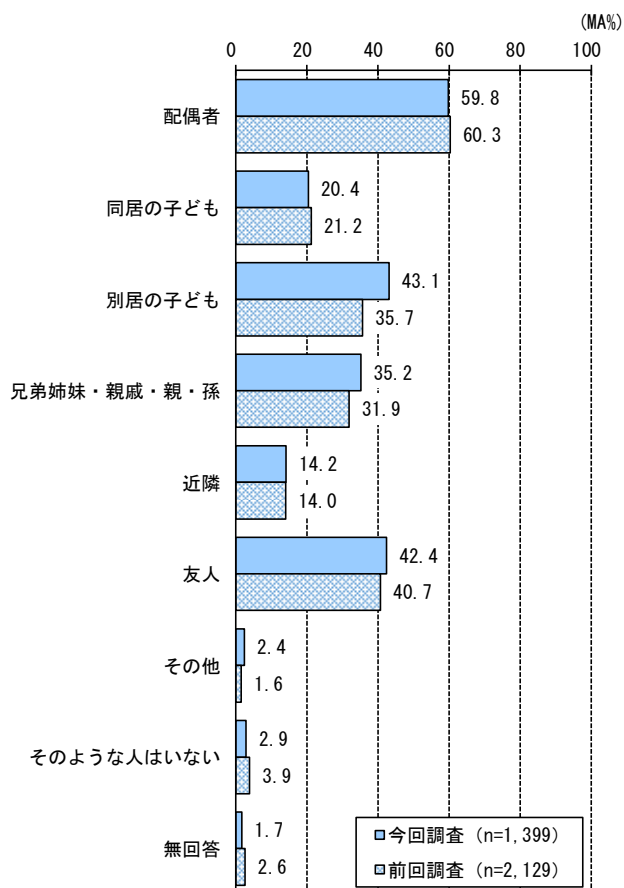
8. たすけあいについて

(1) 周囲との相互の関係

●問6(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

【全体】
○ あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が59.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が43.1%、「友人」が42.4%となっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



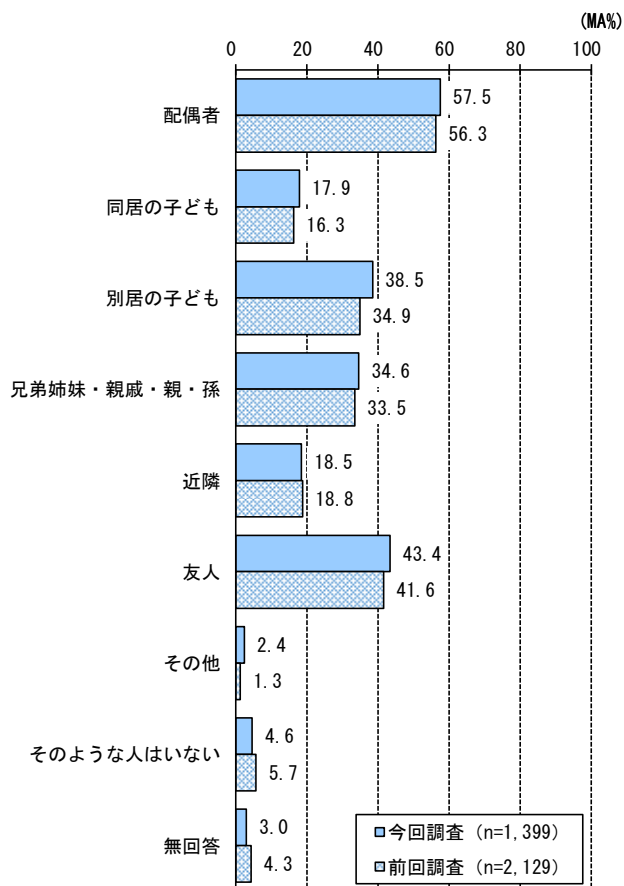
単位：%

	母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそのないような人は	無回答	
全体	1,399	59.8	20.4	43.1	35.2	14.2	42.4	2.4	2.9	1.7	
圏域	市街地	496	60.7	20.0	44.0	35.3	12.1	45.6	2.4	2.6	1.2
	中山間部	462	58.9	25.1	43.7	38.7	14.5	39.6	1.9	3.2	1.3
	山間部	441	59.9	16.1	41.5	31.5	16.1	41.7	2.7	2.7	2.7

●問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

【全体】
 ○ 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 57.5%で最も多く、次いで「友人」が 43.4%、「別居の子ども」が 38.5%となっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



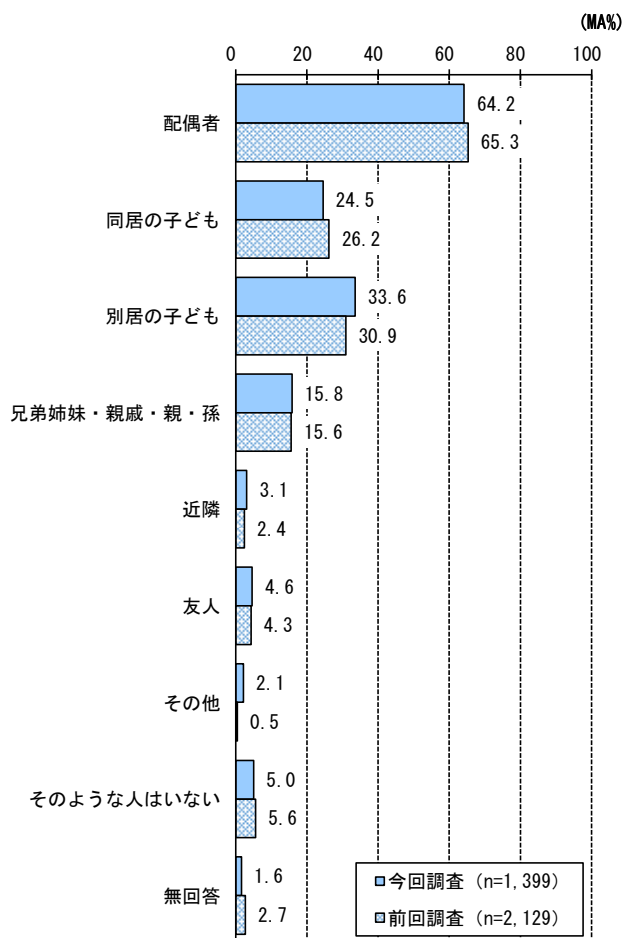
単位：%

		母数 (n)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)								
圏域			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・兄弟・姉妹・親・孫	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答
	全体	1,399	57.5	17.9	38.5	34.6	18.5	43.4	2.4	4.6	3.0
圏域	市街地	496	56.7	18.3	40.5	37.1	15.3	47.0	2.8	3.8	2.6
	中山間部	462	56.7	21.6	37.2	36.4	18.6	42.2	2.2	5.6	3.0
	山間部	441	59.4	13.6	37.6	29.9	22.0	40.6	2.3	4.5	3.4

- 問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

【全体】
 ○ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が64.2%で最も多く、次いで「別居の子ども」が33.6%、「同居の子ども」が24.5%となっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



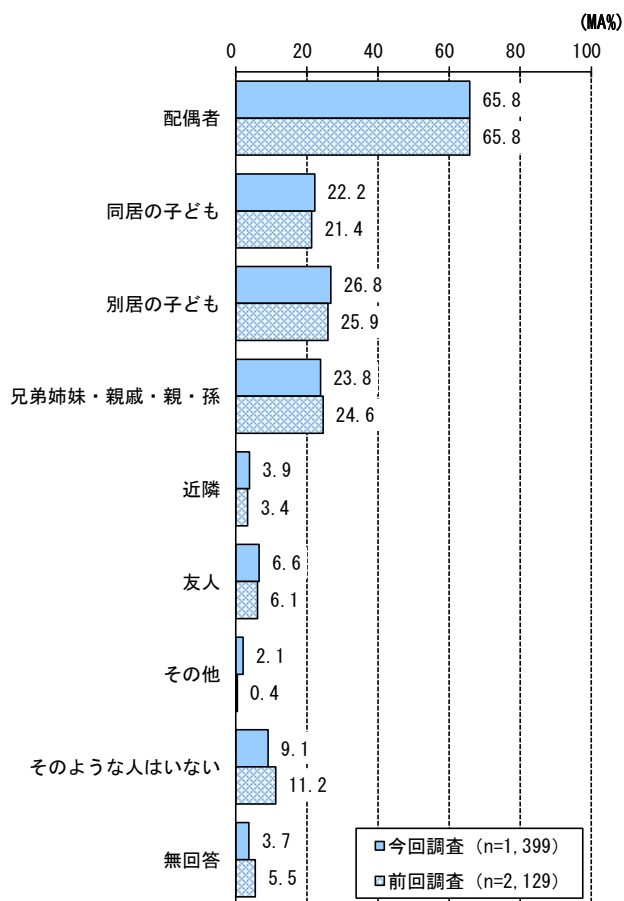
単位：%

		母数 (n)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそのないような人は	無回答
全体		1,399	64.2	24.5	33.6	15.8	3.1	4.6	2.1	5.0	1.6
圏域	市街地	496	65.9	23.4	36.3	13.7	2.8	4.8	1.8	4.4	1.4
	中山間部	462	62.8	30.1	30.1	18.0	3.5	3.5	1.9	5.0	1.9
	山間部	441	63.7	20.0	34.2	15.9	3.2	5.4	2.5	5.7	1.6

●問6(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)

【全体】
 ○ 反対に、看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が65.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が26.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.8%となっています。

【反対に、看病や世話をしてあげる人(MA)】



単位：%

	母数 (n)	反対に、看病や世話をしてあげる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・親戚・姉妹・親・孫	近隣	友人	その他	いそがないような人は	無回答	
全体	1,399	65.8	22.2	26.8	23.8	3.9	6.6	2.1	9.1	3.7	
圏域	市街地	496	65.7	21.2	30.4	24.6	3.4	7.7	1.0	8.9	3.4
	中山間部	462	66.7	26.4	23.8	25.8	2.4	4.8	3.2	9.1	2.6
	山間部	441	64.9	18.8	25.9	20.9	5.9	7.3	2.3	9.3	5.2

(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

- 問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

【全体】

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が33.0%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が30.3%、「地域包括支援センター・市役所」が15.8%となっています。
- 前回調査と比べて、「社会福祉協議会・民生委員」「地域包括支援センター・市役所」「その他」が多くなっています。

【性・年齢】

- 男女ともに「医師・歯科医師・看護師」が約3割と多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。また、女性に比べて男性に多くなっています。

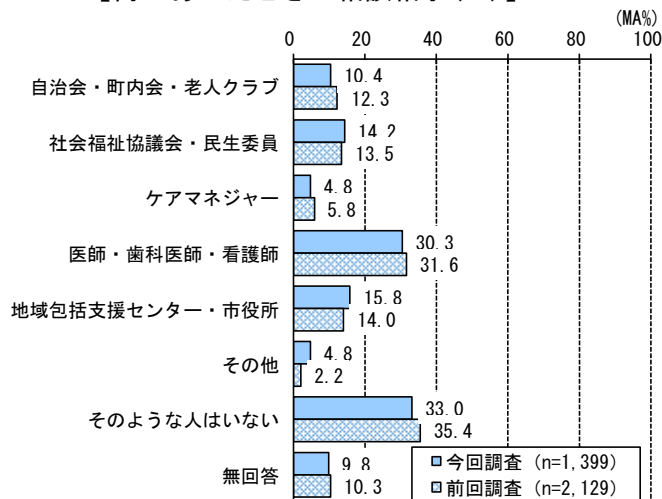
【認定該当状況】

- 要支援1・2では「ケアマネジャー」が36.8%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が33.8%と多くなっています。一方、「そのような人はいない」は約1割となっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは「そのような人はいない」が32.7%となっています。

【何かあったときの相談相手(MA)】



単位：%

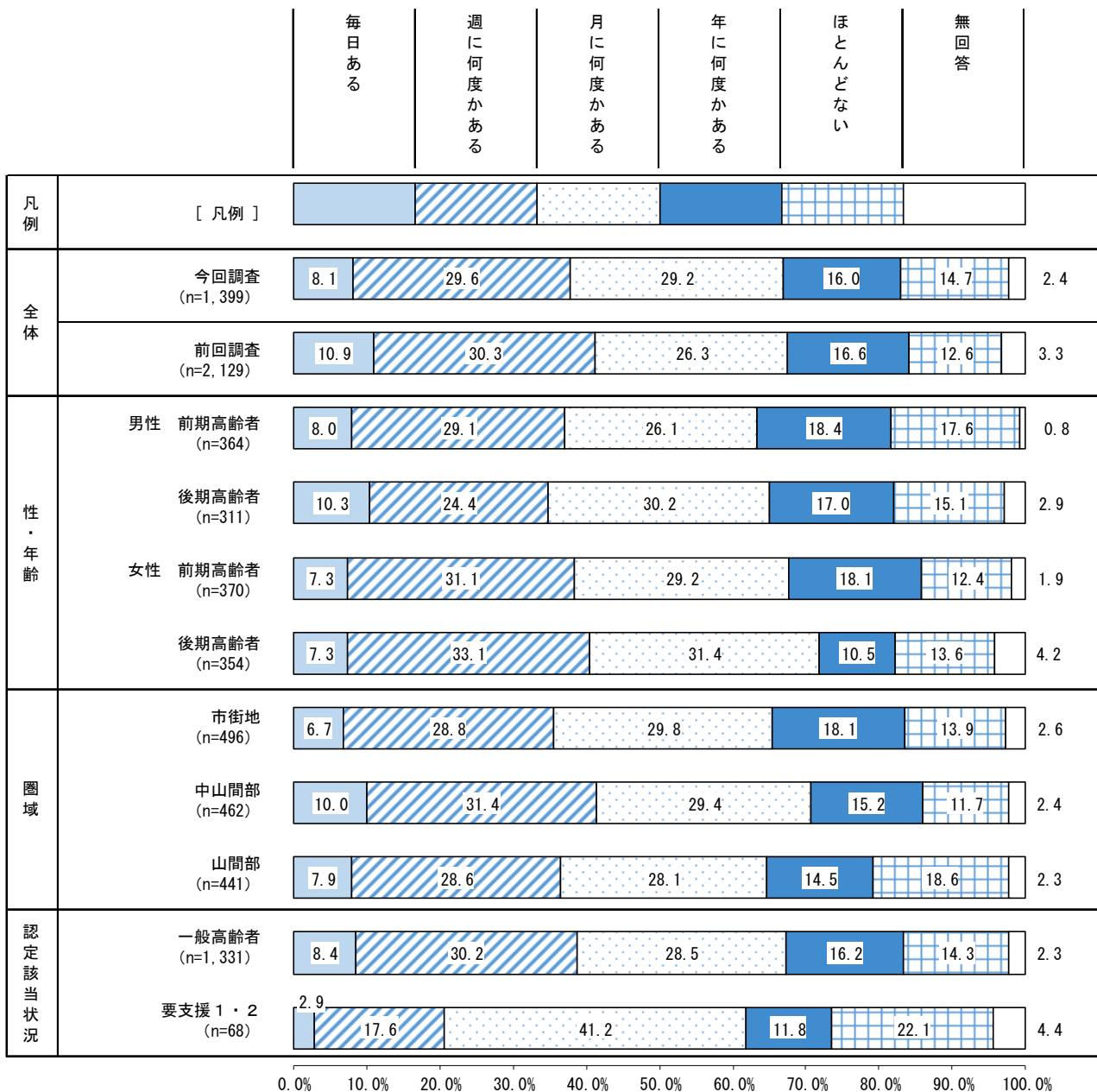
		母数 (n)	何かあったときの相談相手(MA)							無回答
			老人クラブ・町内会・	民生委員	社会福祉協議会	ケアマネジャー	看護師・歯科医師	地域包括支援センター・市役所	その他	
全体		1,399	10.4	14.2	4.8	30.3	15.8	4.8	33.0	9.8
性・年齢	男性 前期高齢者	364	14.8	7.4	3.6	31.6	13.2	4.7	42.6	5.8
	後期高齢者	311	12.2	17.7	4.8	29.6	15.4	3.5	29.9	9.3
	女性 前期高齢者	370	7.8	12.2	3.5	30.5	14.6	5.7	36.8	8.9
	後期高齢者	354	7.1	20.1	7.3	29.4	20.1	5.1	21.8	15.3
圏域	市街地	496	6.7	9.5	4.6	28.8	14.7	4.8	38.3	9.7
	中山間部	462	13.2	18.0	5.6	33.1	13.9	5.0	27.1	10.8
	山間部	441	11.8	15.4	4.1	29.0	19.0	4.5	33.1	8.8
認定該当状況	一般高齢者	1,331	10.7	13.3	3.2	30.3	14.9	4.8	34.0	10.0
	要支援1・2	68	5.9	30.9	36.8	30.9	33.8	4.4	13.2	5.9
家族構成	1人暮らし	220	10.0	22.7	3.6	26.8	18.2	5.5	32.7	7.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	604	10.1	14.4	5.0	32.9	16.9	4.0	31.1	8.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	79	7.6	8.9	6.3	26.6	12.7	7.6	39.2	6.3
	息子・娘との2世帯	369	12.7	10.3	2.4	29.8	14.6	4.3	34.7	13.0
	その他	109	8.3	12.8	12.8	27.5	11.9	7.3	36.7	8.3

(3) 友人・知人との関係性

●問6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)

【全体】
○ 友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が29.6%で最も多く、次いで「月に何度かある」が29.2%、「年に何度かある」が16.0%となっています。
○ 前回調査と比べて、友人・知人に会う頻度が減少傾向となっています。
【性・年齢】
○ 女性 後期高齢者は、比較的友人・知人と会う傾向にあります。
○ 「ほとんどない」は男性 前期高齢者が17.6%と多くなっています。
【圏域】
○ 山間部では、「ほとんどない」が18.6%と多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2で、「ほとんどない」が22.1%と多くなっています。

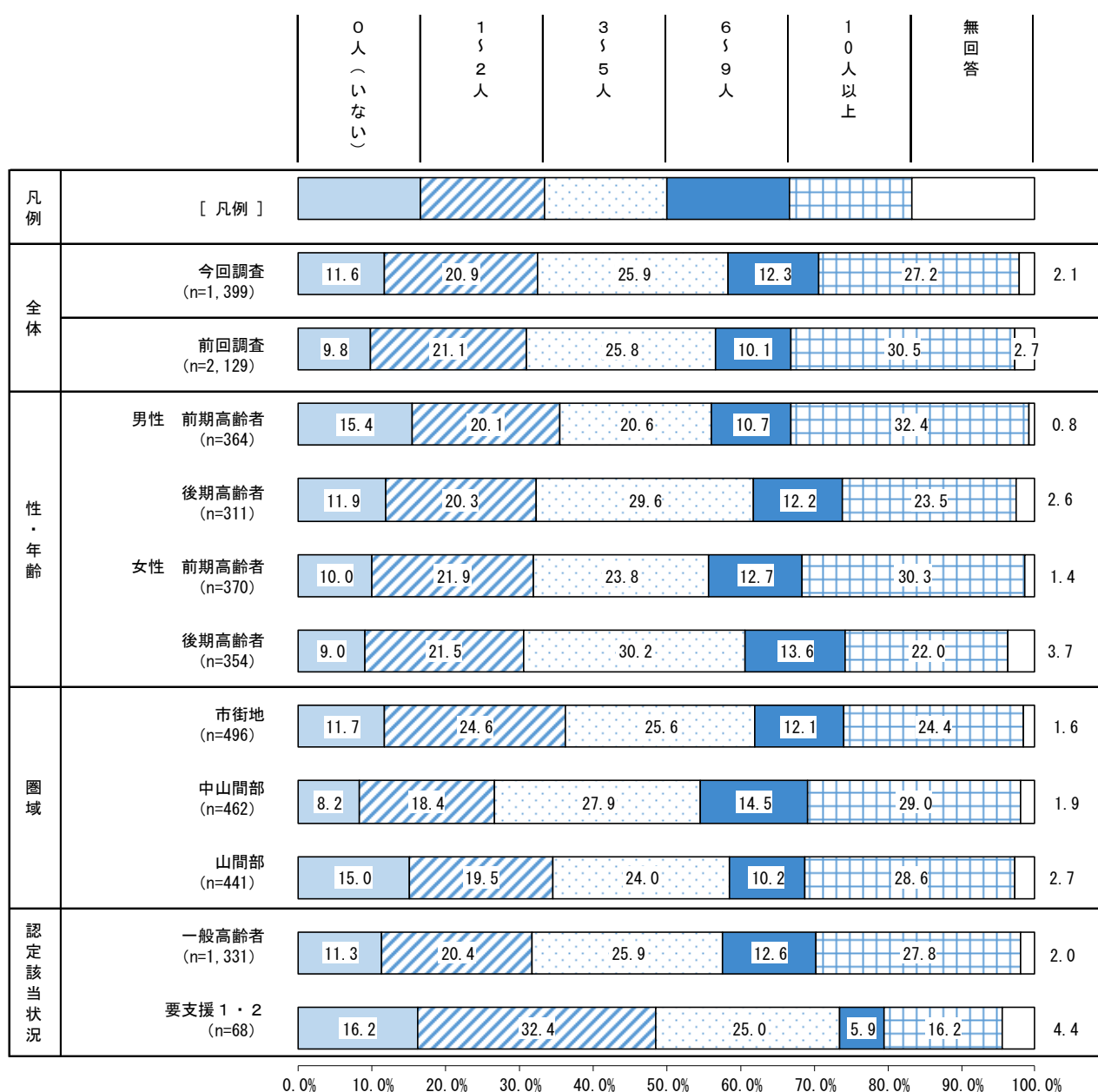
【友人・知人と会う頻度】



●問6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「10人以上」が27.2%で最も多く、次いで「3～5人」が25.9%、「1～2人」が20.9%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 「0人(いない)」は男性 前期高齢者が15.4%と多くなっています。
 ○ 「10人以上」は前期高齢者では約3割、後期高齢者では約2割となっています。
- 【圏域】**
 ○ 「0人(いない)」は中山間部が8.2%と少なく、山間部が15.0%と多くなっています。
 ○ 「10人以上」は市街地が24.4%と少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 要支援1・2では、“2人以下”が約5割となっています。

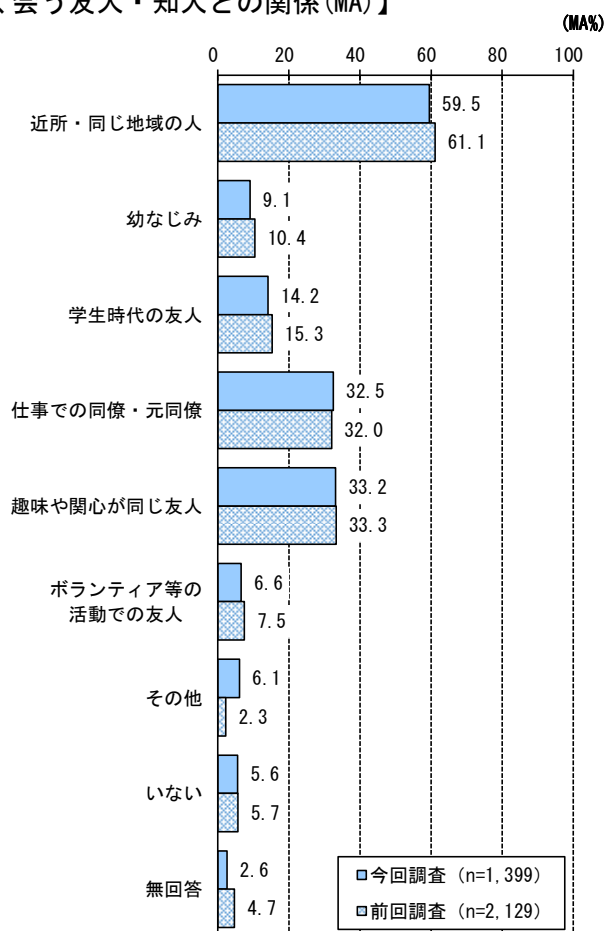
【この1か月間で会った友人・知人の数】



●問6(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- 【全体】**
 ○ よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が59.5%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が33.2%、「仕事での同僚・元同僚」が32.5%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男性 前期高齢者以外では「近所・同じ地域の人」が多くなっています。
 ○ 男性 前期高齢者では「仕事での同僚・元同僚」が約5割と多くなっています。
 ○ 「いない」は男性 前期高齢者が7.4%と多くなっています。

【よく会う友人・知人との関係(MA)】



単位：%

		母数 (n)	よく会う友人・知人との関係(MA)								
			の近所・同じ地域	幼なじみ	学生時代の友人	元仕事での同僚・	じ趣味や関心が同	のボランティア等	その他	いない	無回答
全体		1,399	59.5	9.1	14.2	32.5	33.2	6.6	6.1	5.6	2.6
性・年齢	男性 前期高齢者	364	▼48.9	11.5	18.7	△49.2	31.0	7.4	8.0	7.4	1.1
	後期高齢者	311	58.5	7.7	10.0	26.0	32.5	4.8	6.8	5.8	3.5
	女性 前期高齢者	370	58.6	8.4	17.6	38.6	36.2	8.4	4.9	5.1	1.4
	後期高齢者	354	△72.3	8.5	9.6	▼14.4	33.1	5.4	5.1	4.2	4.5
圏域	市街地	496	51.0	8.5	15.9	35.7	37.5	5.2	5.8	5.8	2.8
	中山間部	462	66.9	11.5	14.7	30.1	34.2	6.1	5.8	3.7	1.7
	山間部	441	61.5	7.3	11.6	31.3	27.4	8.6	6.8	7.5	3.2
認定該当状況	一般高齢者	1,331	59.2	8.9	14.5	33.5	33.9	6.8	6.2	5.5	2.5
	要支援1・2	68	66.2	11.8	7.4	▼11.8	▼20.6	2.9	5.9	8.8	4.4

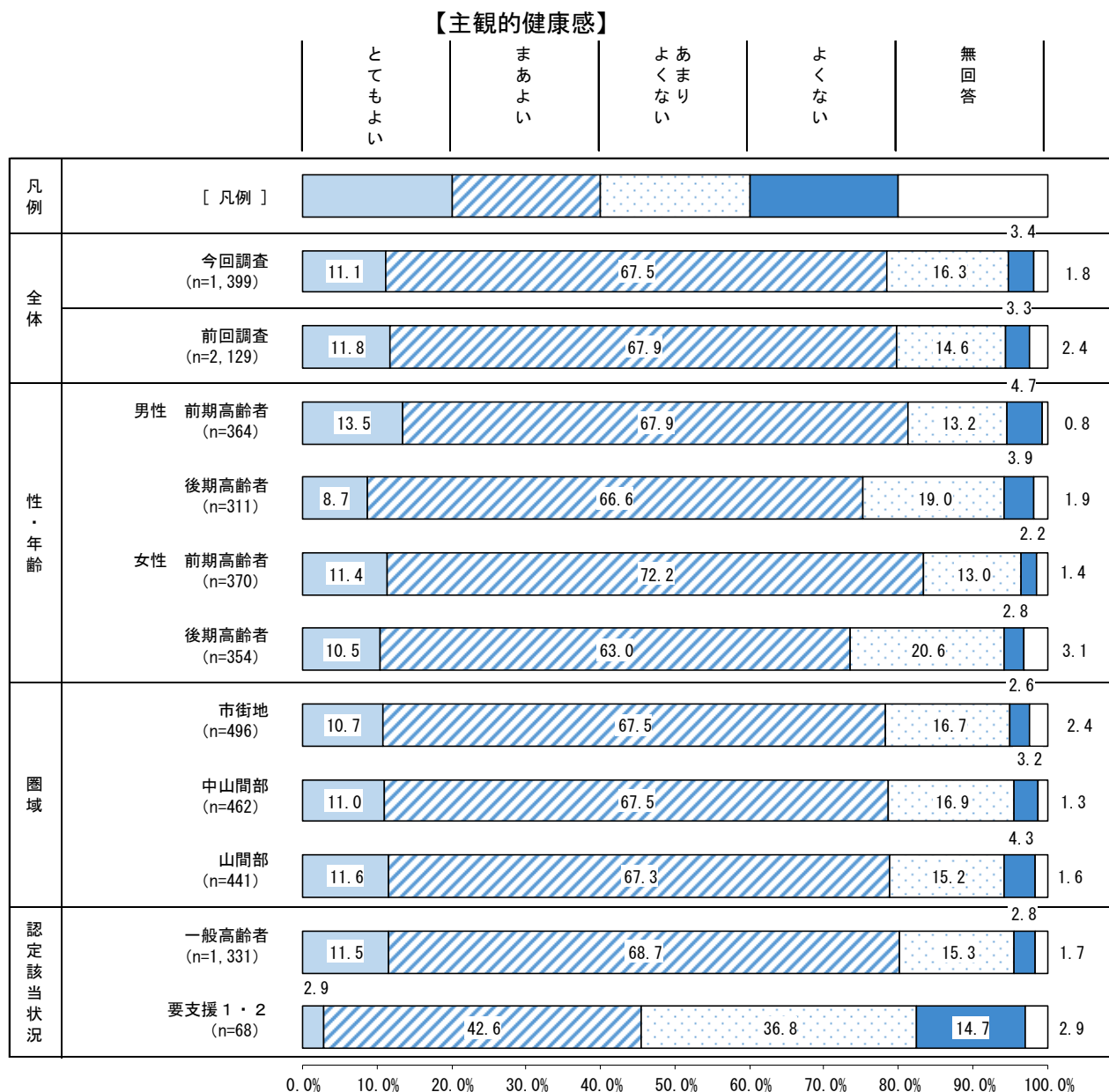
9. 健康について

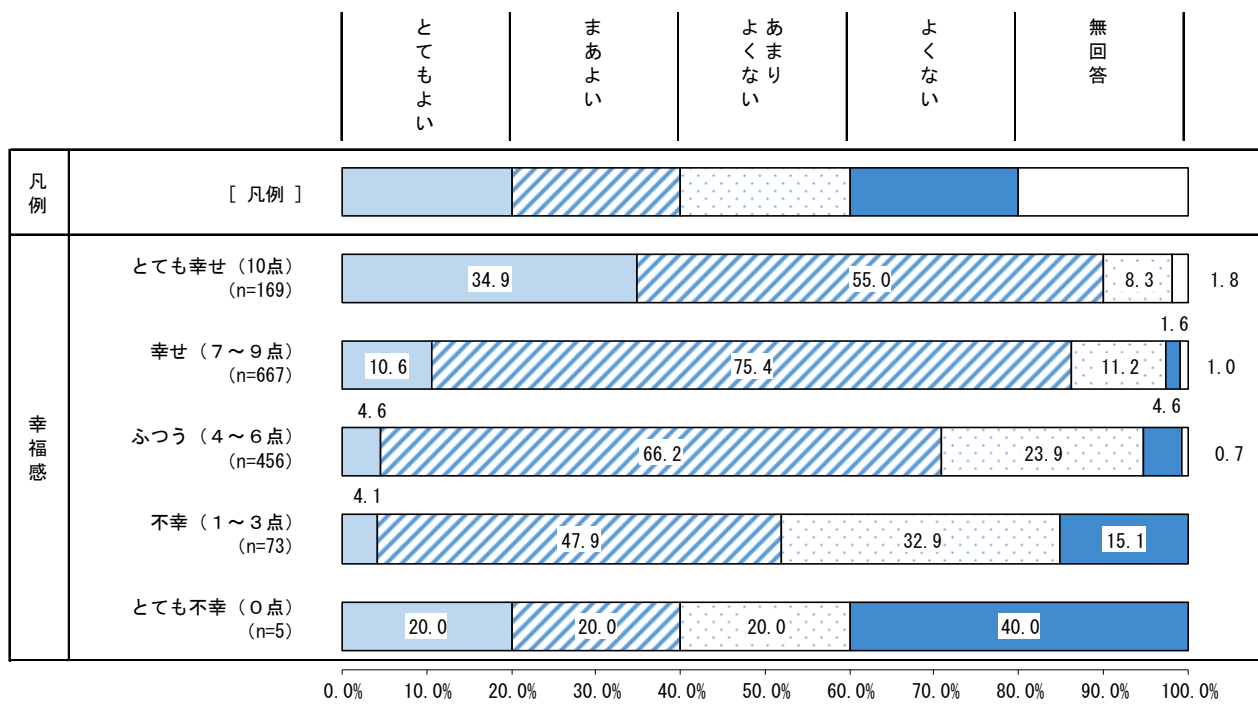
(1) 健康状態

① 主観的な健康感

●問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

【全体】
○ 主観的健康感について、「まあよい」が 67.5%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 16.3%、「とてもよい」が 11.1%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“健康状態がよい方”は 78.6%となっています。
【性・年齢】
○ 「とてもよい」は男性 後期高齢者が 8.7%と少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、「とてもよい」が 2.9%、「まあよい」を合わせても半数を下回っています。
【幸福感】
○ 「とても不幸(0点)」を除くと、主観的な健康観は幸福感が高いほど“健康状態がよい方”多くなっています。





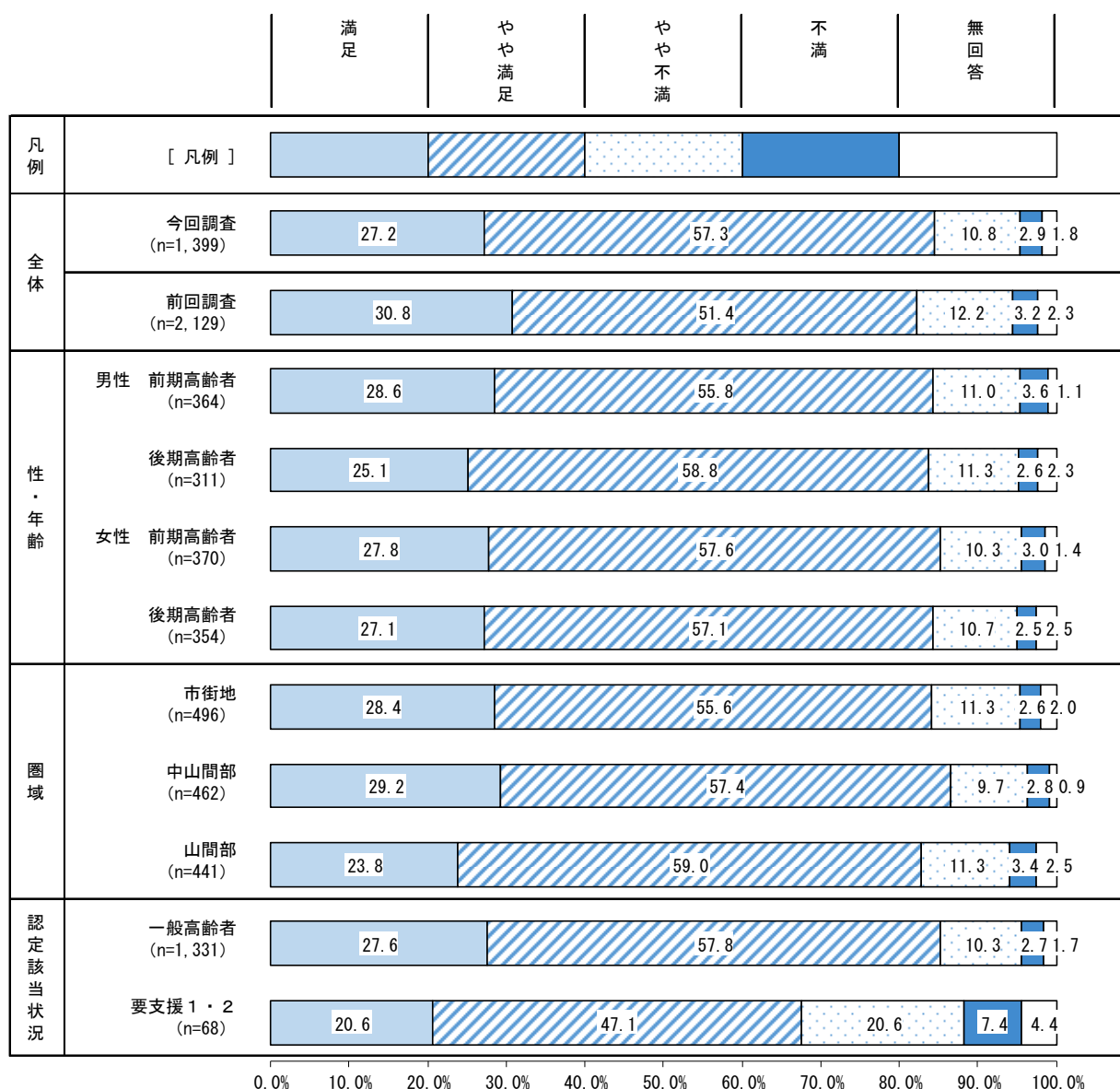
●問7(2) 毎日の生活に満足していますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 毎日の生活に満足しているかについて、「やや満足」が57.3%で最も多く、次いで「満足」が27.2%、「やや不満」が10.8%となっています。「満足」と「やや満足」を合わせた“概ね満足”では84.5%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、“概ね満足”は多くなっています。

【圏域】
 ○ 「満足」は中山間部が多く、山間部が少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要支援1・2では、一般高齢者と比べて「不満」「やや不満」の割合が約2倍となっています。

【生活の満足度】

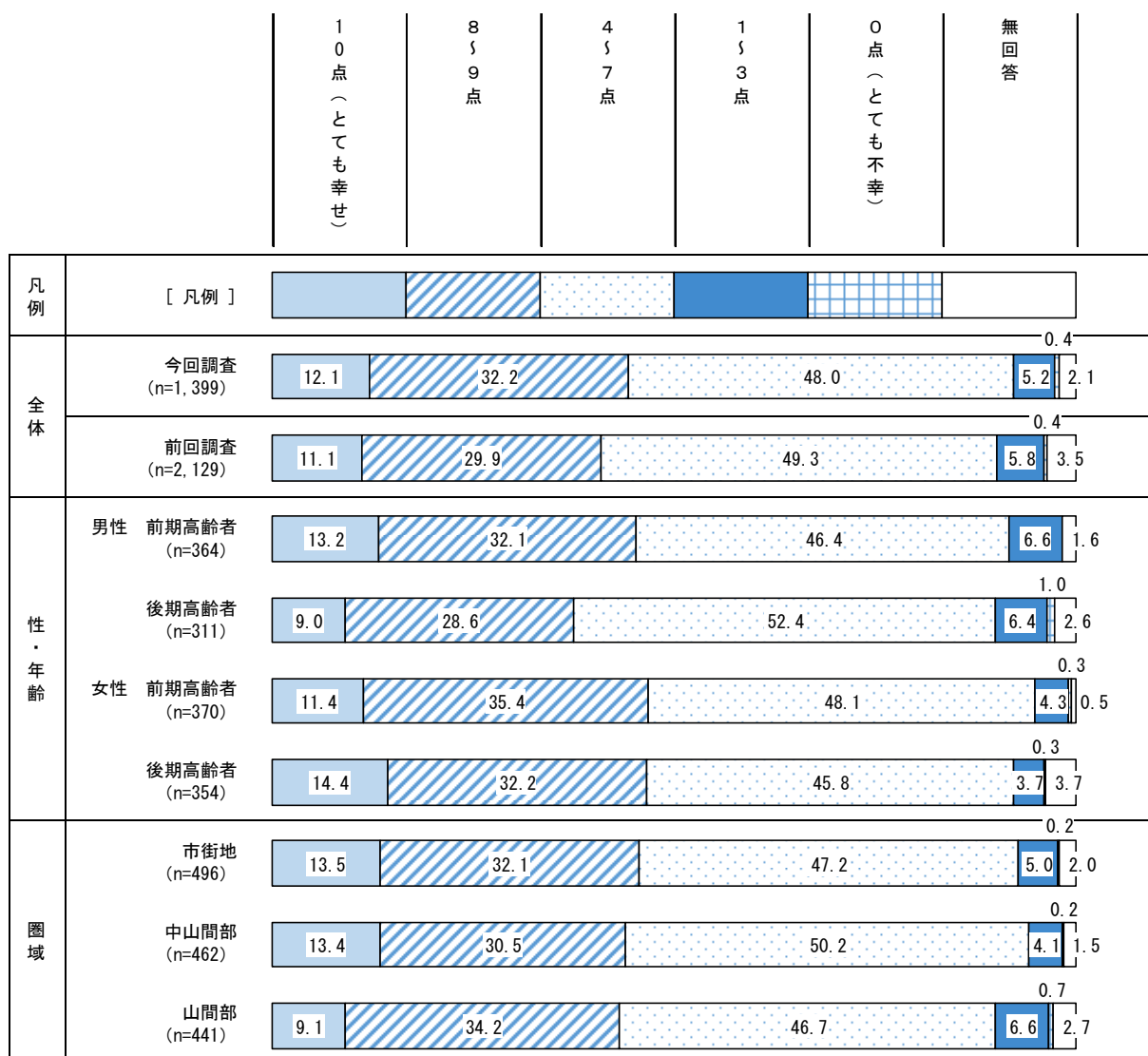


② こころの健康

●問7(3) あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ)

【全体】
○ 現在どの程度幸せかについて、10点満点でたずねたところ、「8～9点」が32.2%で最も多く、次いで「10点（とても幸せ）」が12.1%、「4～7点」が48.0%となっています。
○ 「8点以上」は44.3%と、前回調査（41.0%）を上回っています。
【性・年齢】
○ “8点以上”は男性 後期高齢者では前期高齢者に比べて少なくなっています。
【圏域】
○ 山間部は「10点（とても幸せ）」が9.1%と少なくなっています。

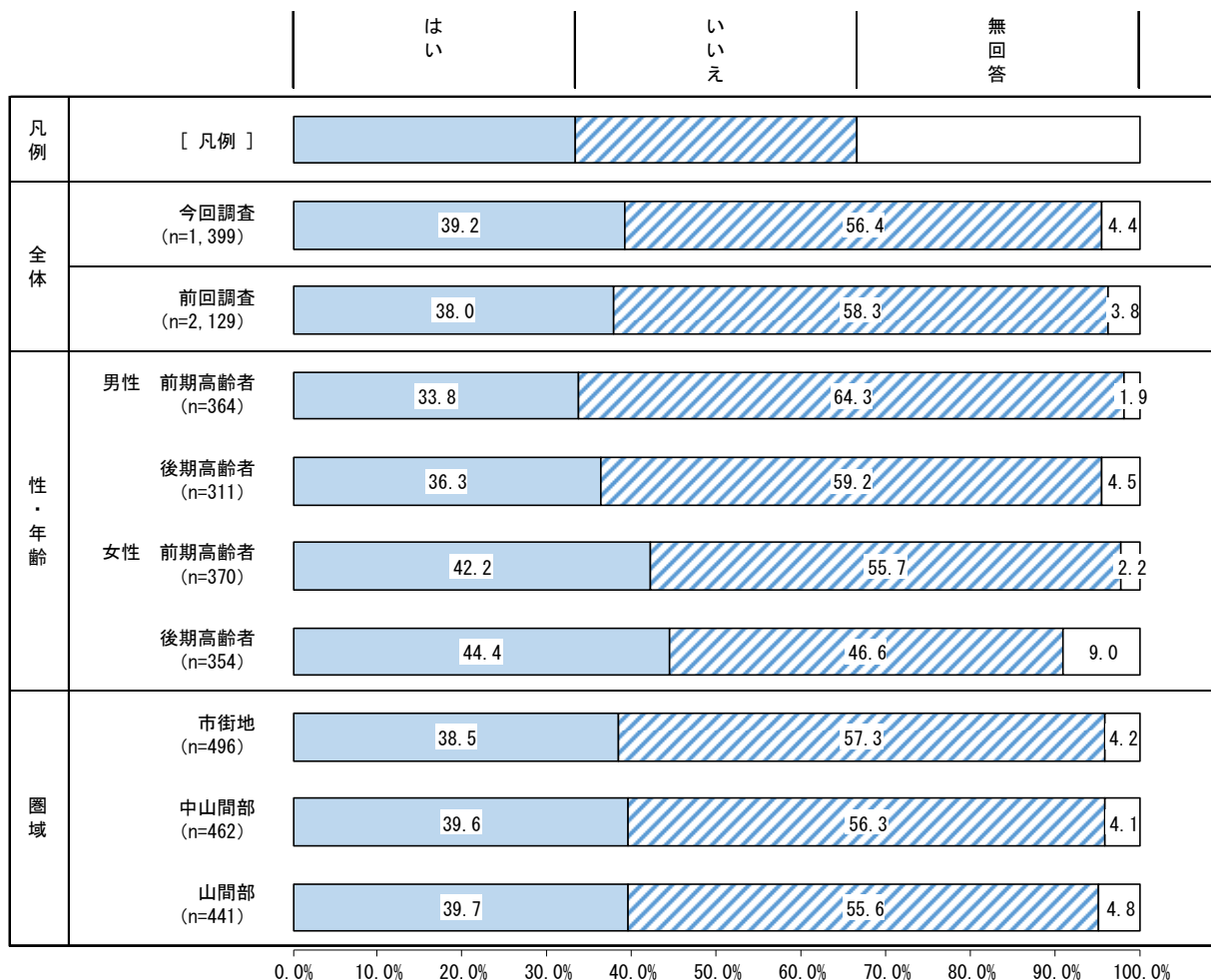
【幸福感】



- 問7(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が39.2%、「いいえ」が56.4%となっています。

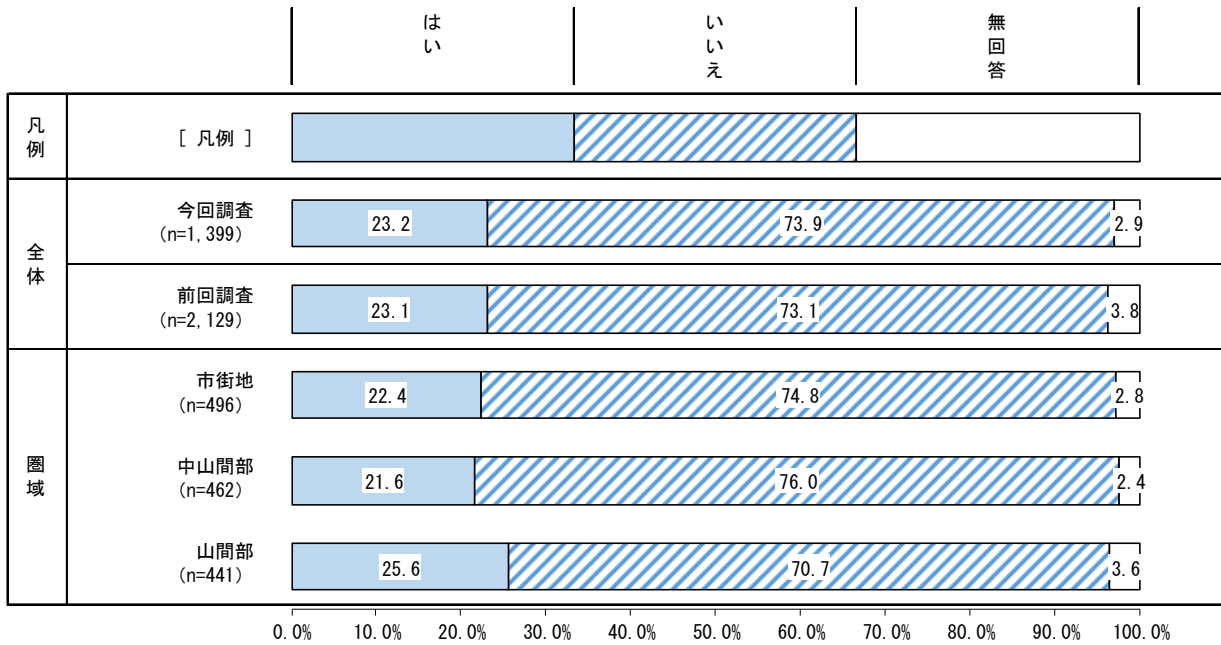
【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】



- 問7(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

【全体】
 ○ どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が23.2%、「いいえ」が73.9%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったか】



(2) 飲酒・喫煙

●問7(6) お酒は飲みますか。(1つだけ)

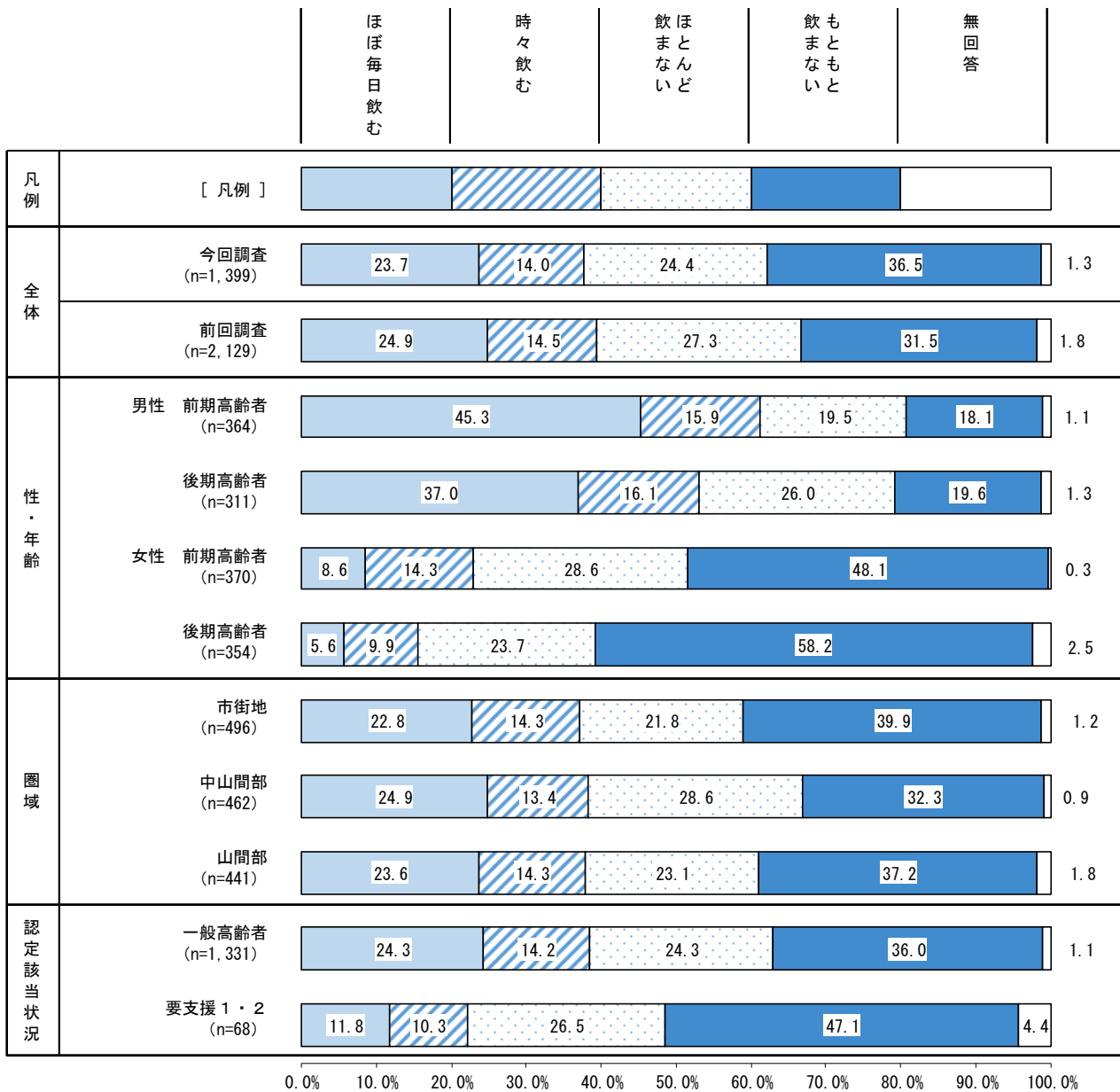
【全体】
 ○ 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が36.5%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.4%、「ほぼ毎日飲む」が23.7%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「ほぼ毎日飲む」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日飲む」が多くなっています。
 ○ 「ほぼ毎日飲む」は女性 後期高齢者では5.6%と少なくなっています。

【圏域】
 ○ 「ほぼ毎日飲む」は中山間部が24.9%とやや多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要支援1・2では、「ほぼ毎日飲む」が約1割となっています。

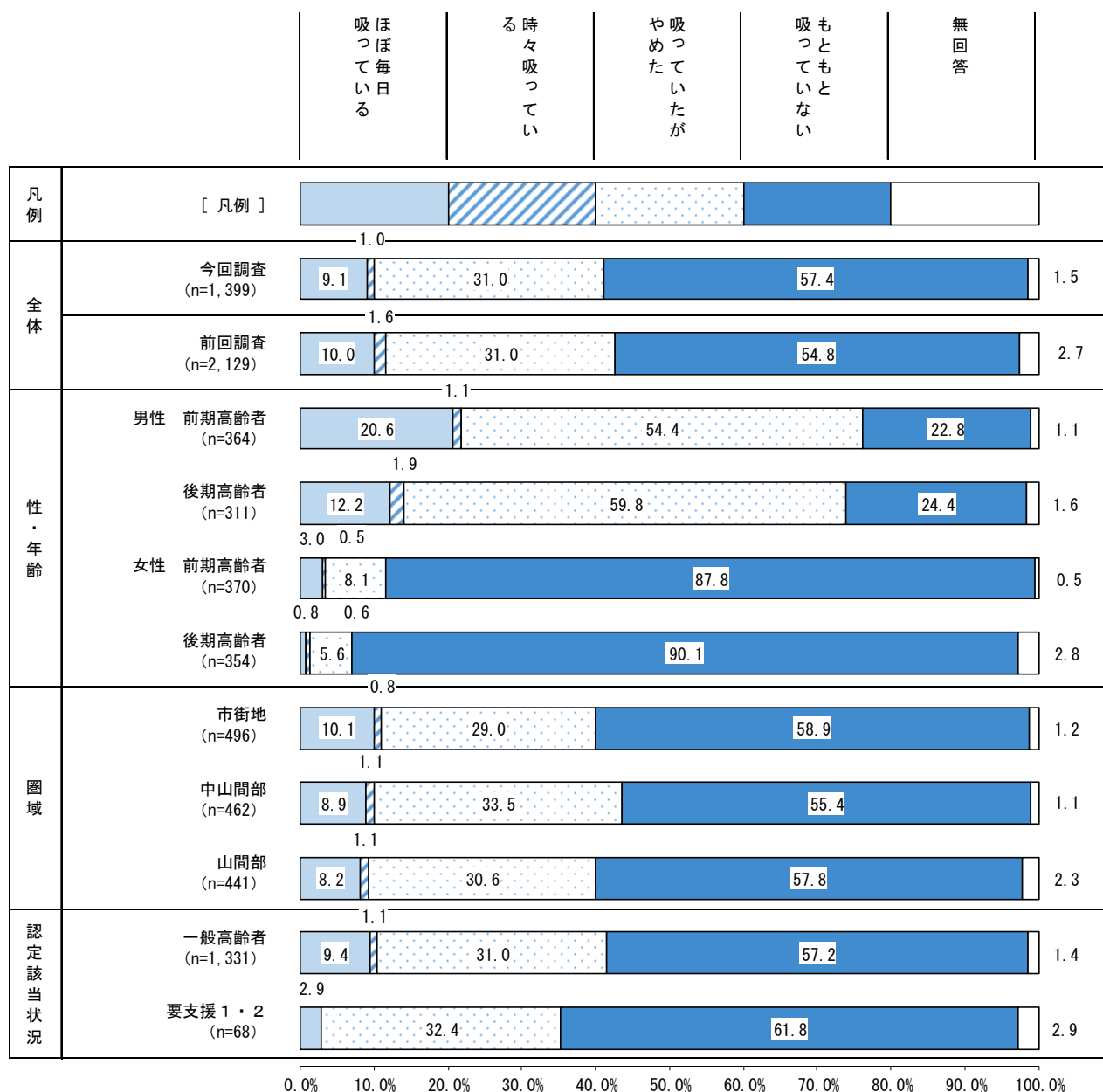
【飲酒の状況】



●問7(7) タバコは吸っていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が57.4%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が31.0%、「ほぼ毎日吸っている」が9.1%となっています。
 - 前回調査と比べて、吸わない人が多い傾向がみられます。
- 【性・年齢】**
- 男性 前期高齢者では「ほぼ毎日吸っている」が約2割と多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「ほぼ毎日吸っている」は一般高齢者で9.4%、要支援1・2で2.9%と少なくなっています。

【喫煙の状況】



(3) 病気の状況

●問 7(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【全体】

○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 40.5%で最も多く、次いで「目の病気」が 16.5%、「ない」が 14.8%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに、男性では女性に比べ「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺」が多く、女性では男性に比べて「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなっています。

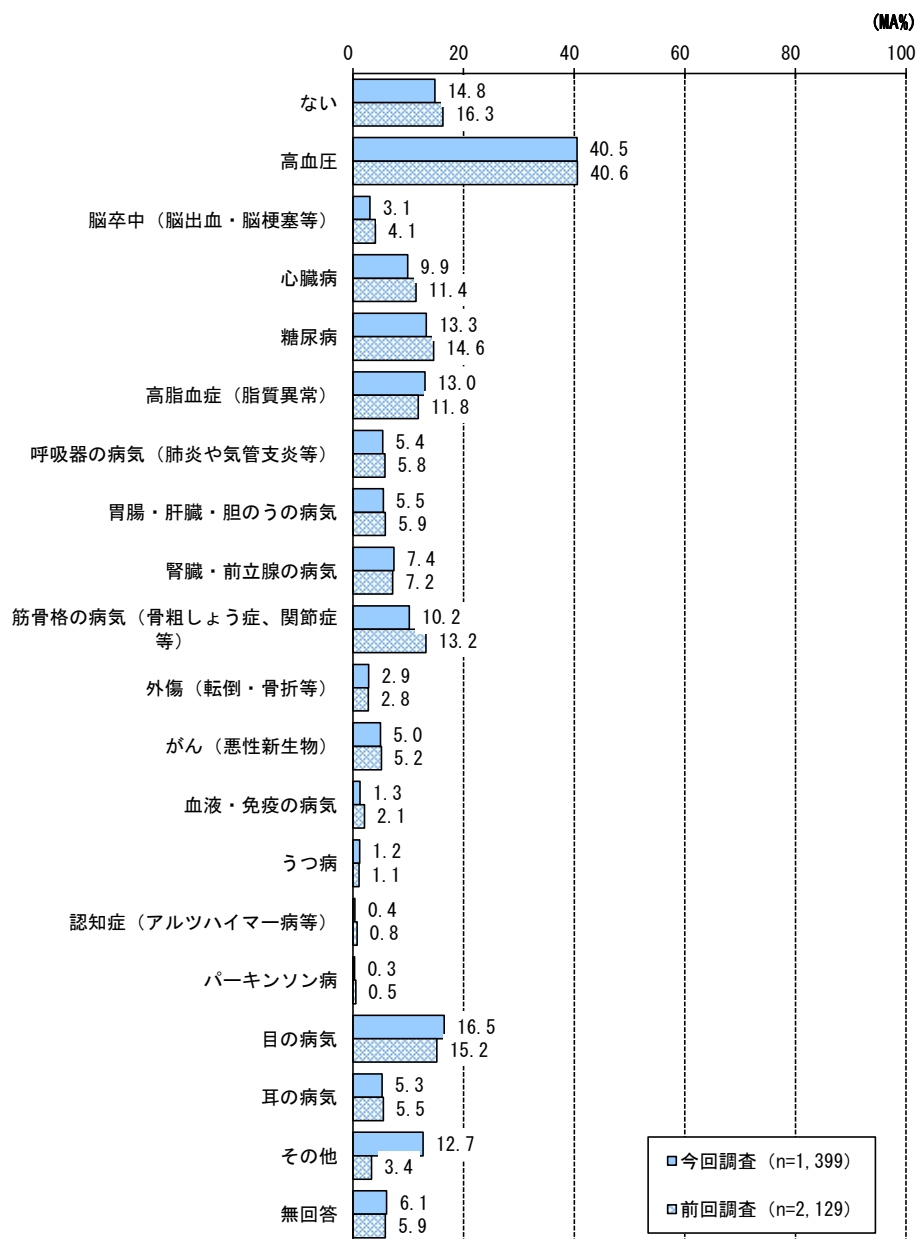
【圏域】

○ 「ない」は山間部では 16.1%と、やや多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「ない」は一般高齢者で 15.3%であるのに対し、要支援 1・2 では 5.9%と少なくなっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



単位：％

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		ない	高血圧	(脳卒中・ 脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	(呼吸器の 肺炎や気管支炎等)	胆のう・ 膵臓・ 肝臓	腎臓・ 前立腺の 病気	(筋骨格の 病気・ 関節症等)	
全体	1,399	14.8	40.5	3.1	9.9	13.3	13.0	5.4	5.5	7.4	10.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	364	19.5	41.8	1.6	11.0	16.2	14.6	4.4	4.9	9.3	3.3
	後期高齢者	311	11.3	39.5	5.8	16.7	16.1	6.1	10.0	4.8	16.7	5.5
	女性 前期高齢者	370	17.6	35.1	3.0	5.7	8.4	19.2	4.3	5.4	1.1	14.9
	後期高齢者	354	10.2	45.5	2.3	7.1	13.0	11.0	3.7	6.8	3.7	16.7
圏域	市街地	496	13.7	38.3	2.6	8.5	12.9	15.1	6.0	7.1	7.7	11.5
	中山間部	462	14.7	45.5	3.0	11.9	13.6	12.1	5.2	3.0	6.3	10.2
	山間部	441	16.1	37.6	3.6	9.3	13.4	11.6	5.0	6.3	8.2	8.8
認定該当状況	一般高齢者	1,331	15.3	40.0	2.6	9.2	13.1	13.0	5.0	5.5	7.3	9.2
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	68	5.9	50.0	11.8	△ 22.1	16.2	13.2	13.2	5.9	8.8	△ 29.4

単位：％

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		外傷 (転倒・ 骨折等)	がん (悪性 新生物)	血液・ 免疫の 病気	うつ 病	(認知症 アルツ ハイマー 病等)	パー キンソン 病	目の 病気	耳の 病気	その 他	無 回 答	
全体	1,399	2.9	5.0	1.3	1.2	0.4	0.3	16.5	5.3	12.7	6.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	364	1.4	6.3	1.4	0.8	-	-	12.6	3.8	13.5	4.9
	後期高齢者	311	3.9	5.8	1.9	1.6	1.3	1.0	19.3	9.0	11.6	5.8
	女性 前期高齢者	370	1.9	5.4	0.3	1.9	-	-	15.7	3.2	13.0	5.9
	後期高齢者	354	4.8	2.5	1.7	0.6	0.3	0.3	18.9	5.6	12.4	7.9
圏域	市街地	496	3.2	5.8	1.2	1.4	0.4	0.4	17.3	4.2	11.5	5.6
	中山間部	462	3.7	4.3	1.1	0.9	0.6	0.2	16.9	5.2	12.8	6.5
	山間部	441	1.8	4.8	1.6	1.4	-	0.2	15.2	6.6	13.8	6.3
認定該当状況	一般高齢者	1,331	2.3	5.0	1.1	1.2	0.2	0.2	16.4	5.1	12.7	6.2
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	68	△ 16.2	5.9	4.4	1.5	2.9	2.9	19.1	8.8	11.8	4.4

- 問7(9) 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。(1つだけ)

【全体】

- 治る見込みのない病気になった場合、最後はどこで迎えたいかについて、「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が52.6%で最も多く、次いで「病院等医療施設」が25.6%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が8.6%となっています。
- 前回調査と比べて、「在宅」や「在宅に準ずる施設（サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等）」が多くなっています。

【性・年齢】

- 男性 後期高齢者では、「在宅」が67.5%と多くなっています。
- 女性 前期高齢者では、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が13.0%と多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「病院等医療施設」が多くなっています。

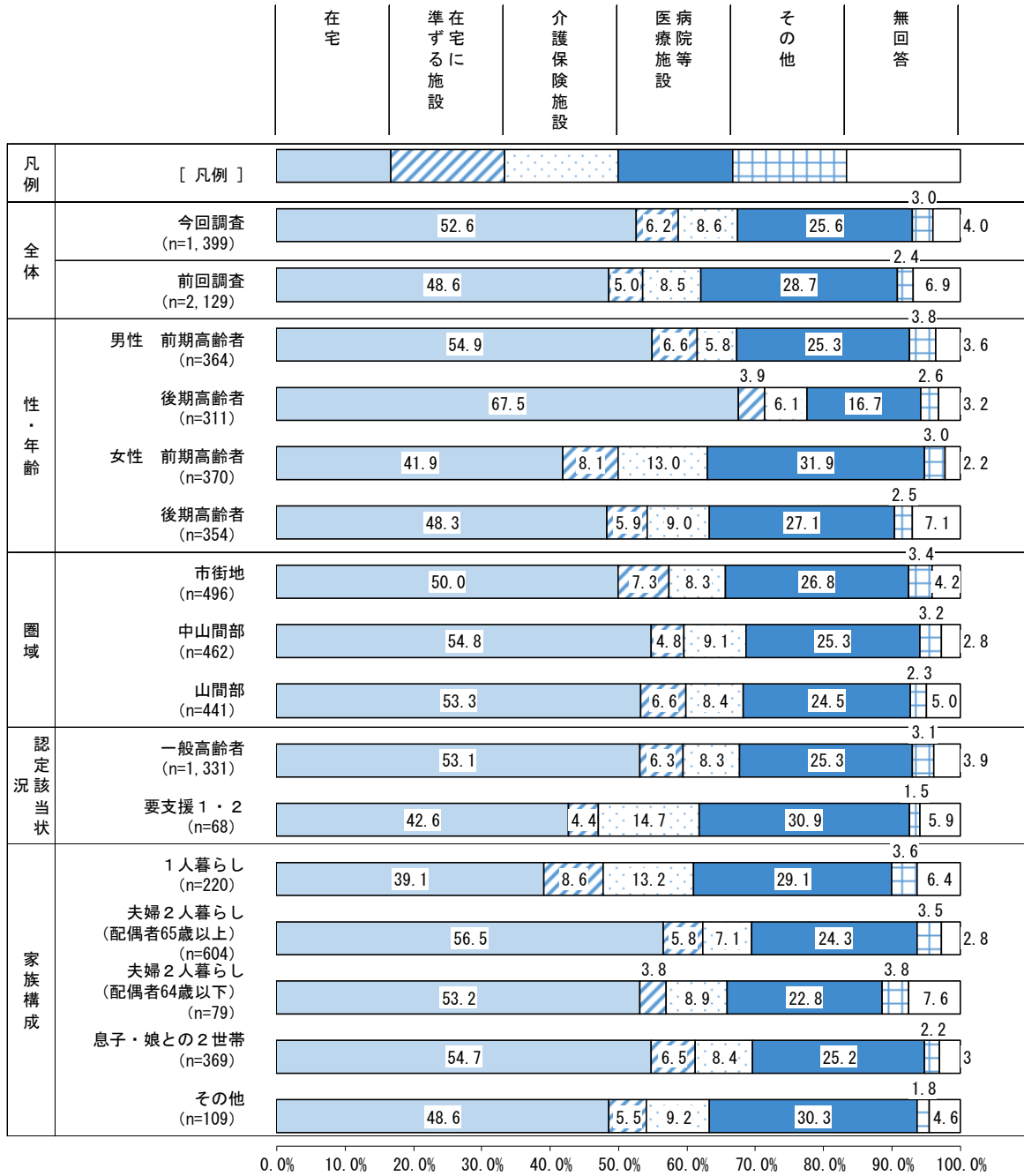
【認定該当状況】

- 一般高齢者では「在宅」が約5割、要支援1・2では4割となっています。
- 要支援1・2では、一般高齢者に比べて「在宅に準ずる施設（サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等）」が少なくなり、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは「在宅」が39.1%と少なくなっています。

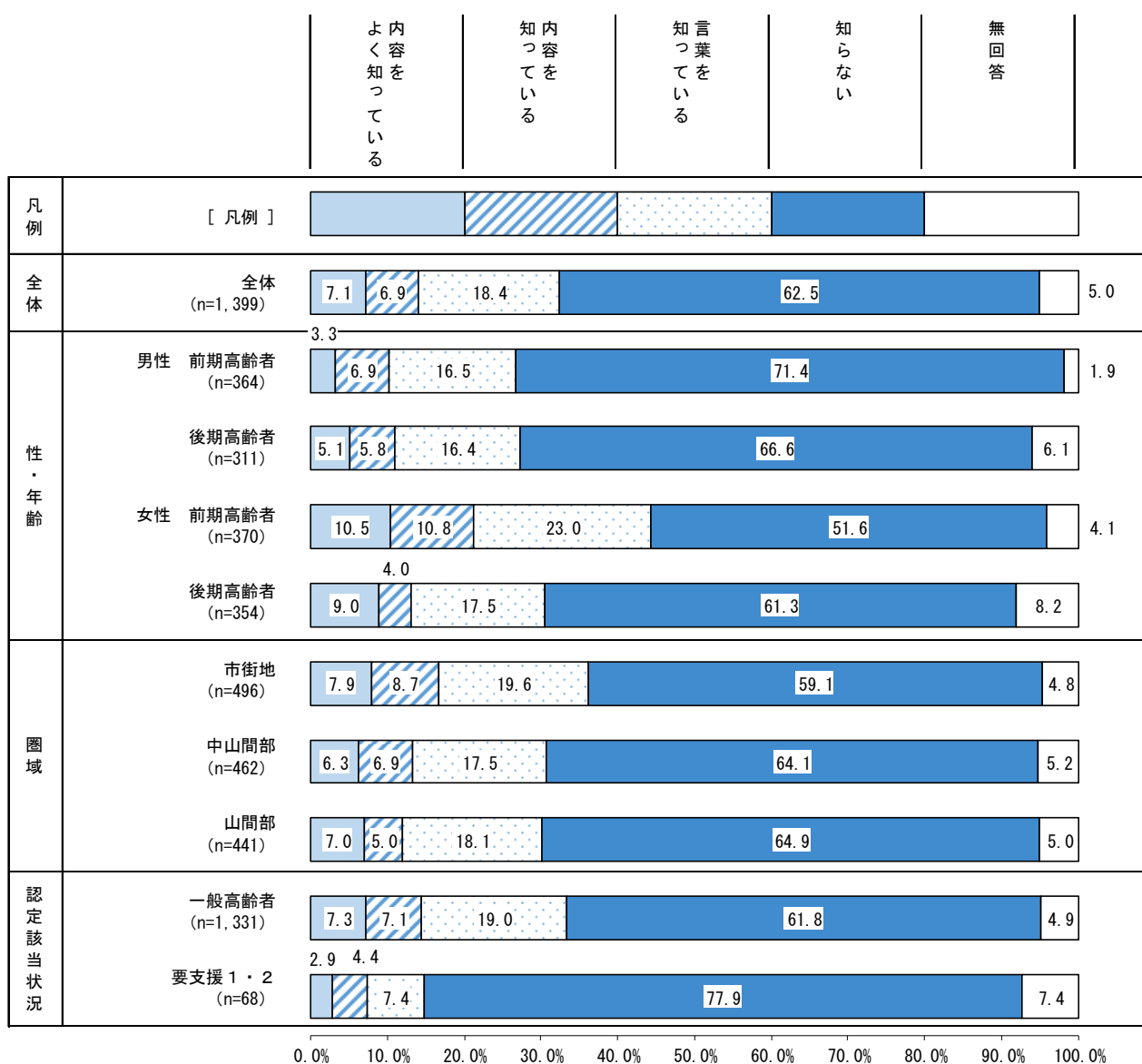
【最期を迎えたい場所】



●問7(10) 「フレイル」を知っていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 「フレイル」の認知度について、「知らない」が62.5%で最も多く、次いで「言葉を知っている」が18.4%、「内容をよく知っている」が7.1%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 女性 前期高齢者では「内容をよく知っている」が10.5%、「内容を知っている」が10.8%と多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 市街地では「知らない」が59.1%と比較的少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 要支援1・2では「知らない」が約8割と多くなっています。

【フレイルの認知状況】



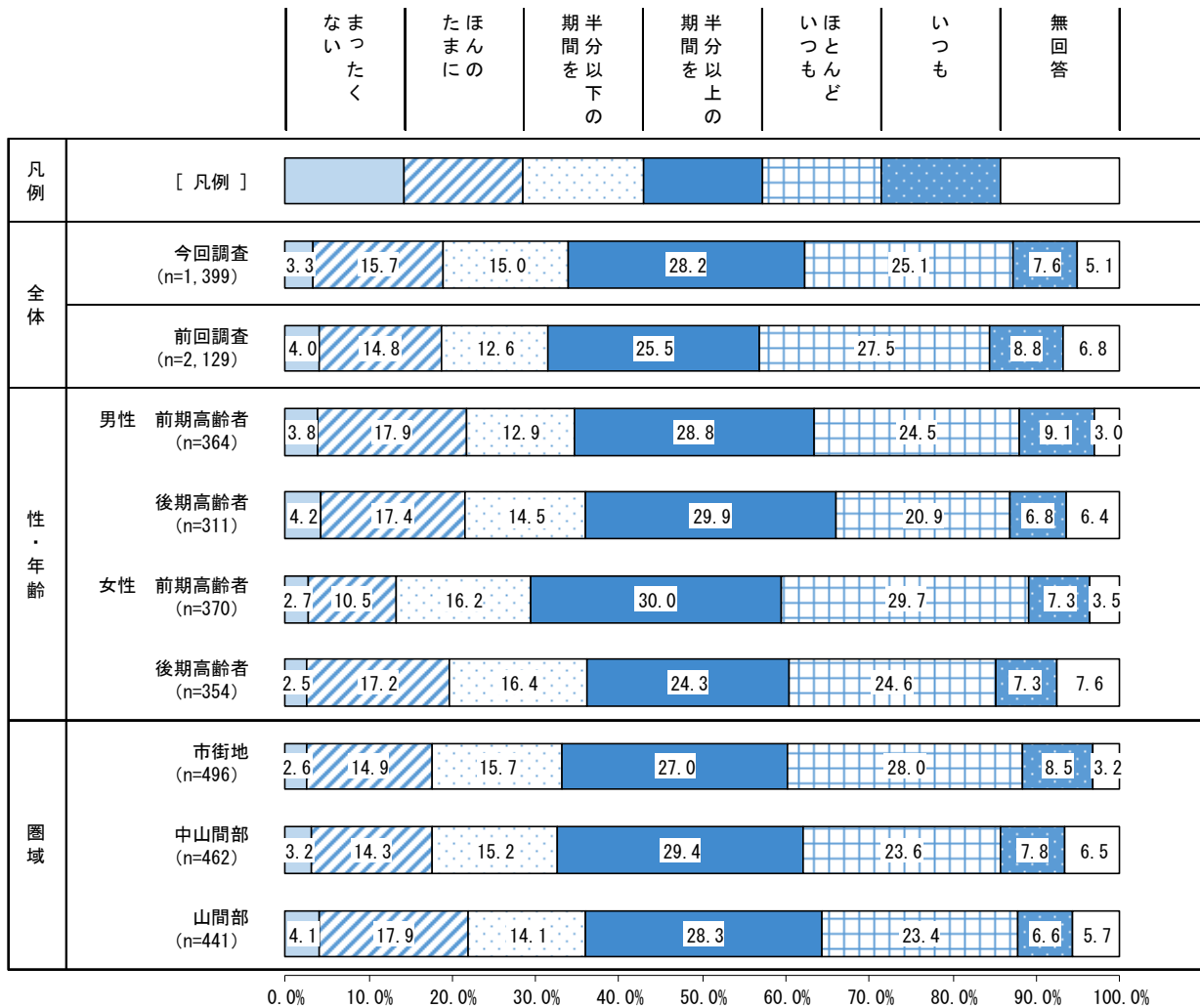
(4) 日常生活の状況

●問7(11) 以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください。(1つの質問につき1つだけ)

① 明るく、楽しい気分で過ごした

【全体】
○ 明るく、楽しい気分で過ごしたについて、「半分以上の期間を」が28.2%で最も多く、次いで「ほとんどいつも」が25.1%、「ほんのたまに」が15.7%となっています。

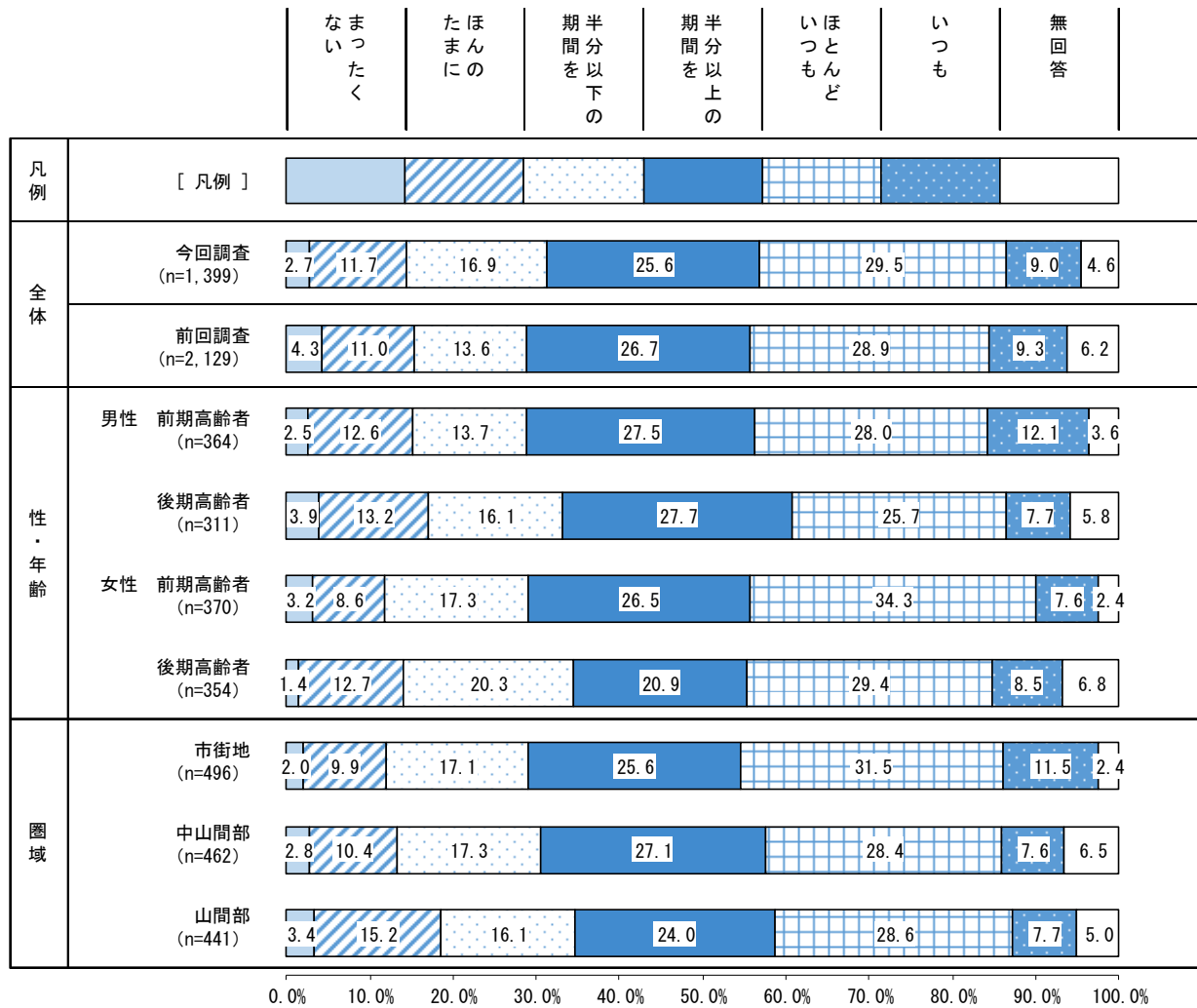
【明るく、楽しい気分で】



② 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

【全体】
 ○ 落ち着いた、リラックスした気分で過ごしたについて、「ほとんどいつも」が29.5%で最も多く、次いで「半分以上の期間を」が25.6%、「半分以下の期間を」が16.9%となっています。

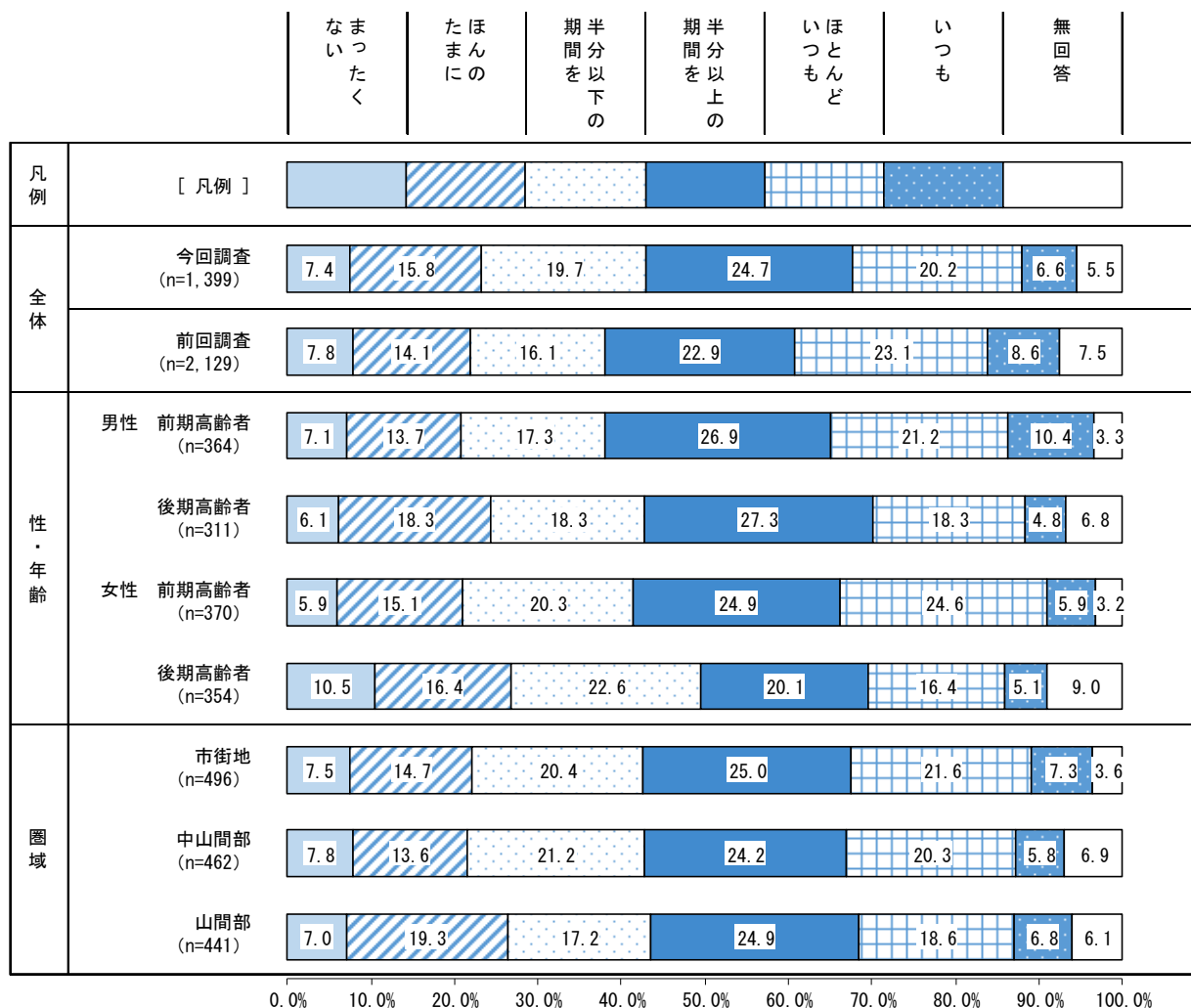
【落ち着いた、リラックスした気分で】



③ 意欲的で、活動的に過ごした

【全体】
 ○ 意欲的で、活動的に過ごしたについて、「半分以上の期間を」が24.7%で最も多く、次いで「ほとんどいつも」が20.2%、「半分以下の期間を」が19.7%となっています。

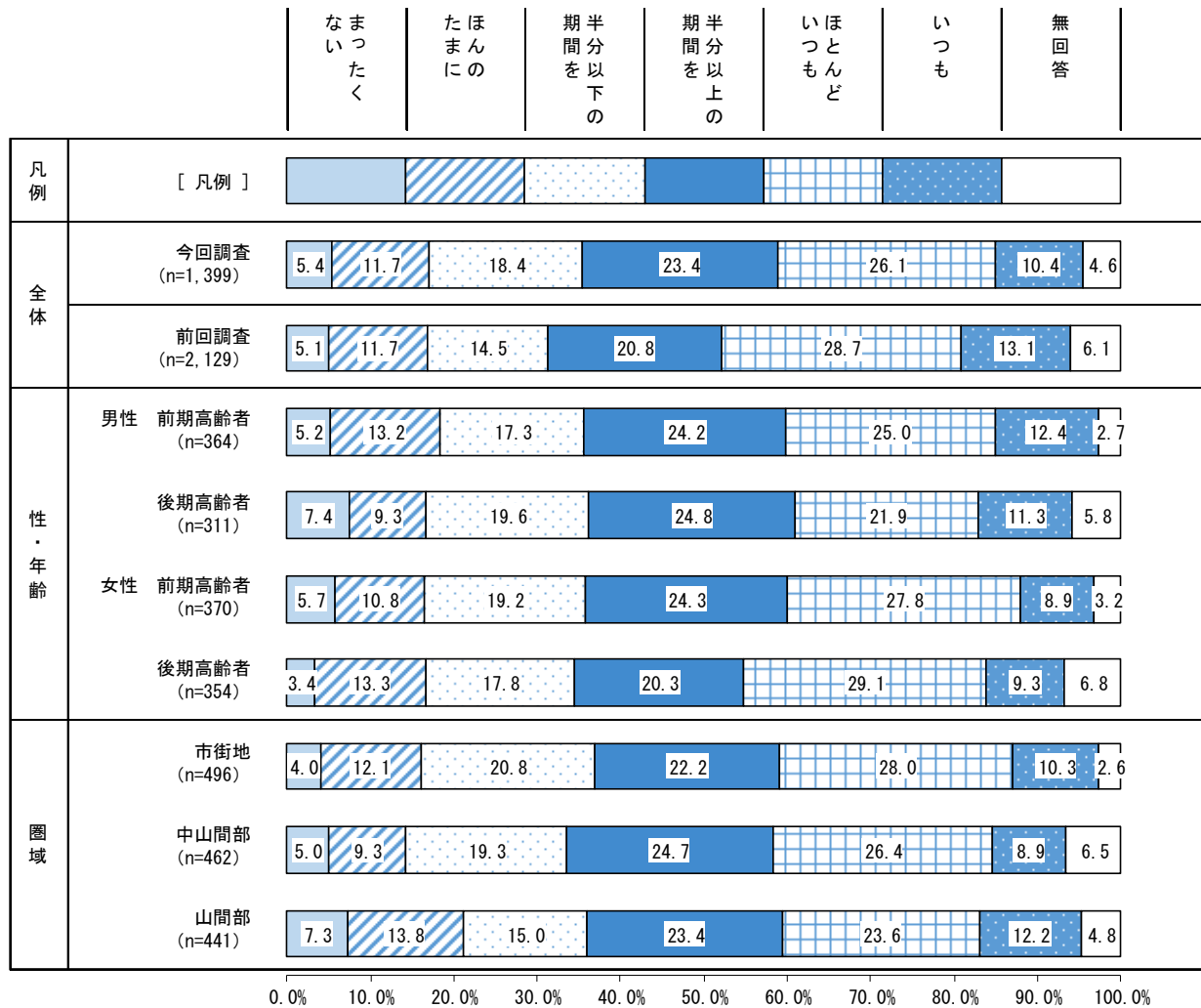
【意欲的で、活動的に】



④ ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

【全体】
 ○ ぐっすりと休め、気持ちよくめざめたについて、「ほとんどいつも」が26.1%で最も多く、次いで「半分以上の期間を」が23.4%、「半分以下の期間を」が18.4%となっています。

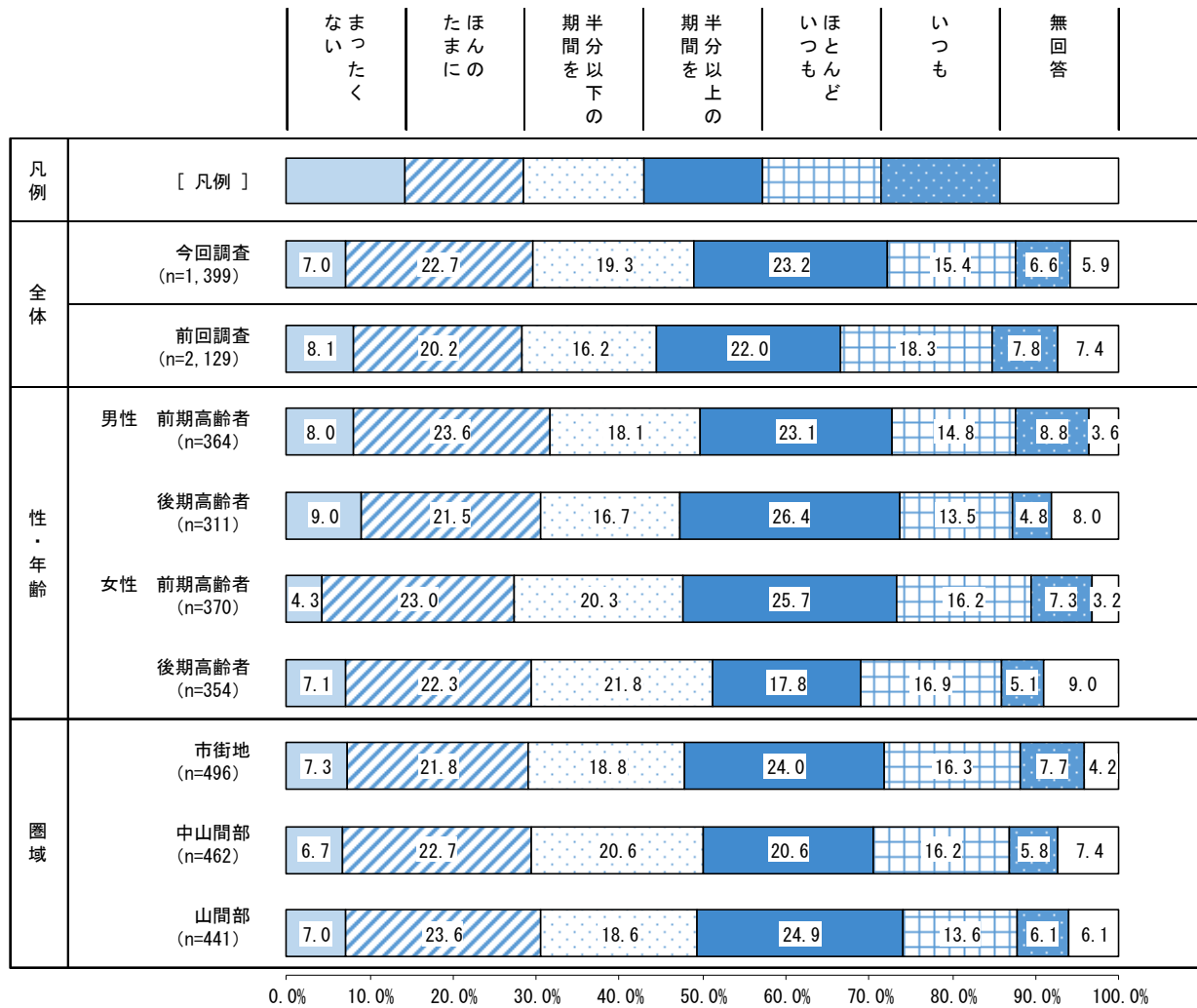
【ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた】



⑤ 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

【全体】
 ○ 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあったについて、「半分以上の期間を」が23.2%で最も多く、次いで「ほんのたまに」が22.7%、「半分以下の期間を」が19.3%となっています。

【興味のあることがたくさんあった】



(5) 通院等の状況

●問7(12) かかりつけ医はありますか。(1つだけ)

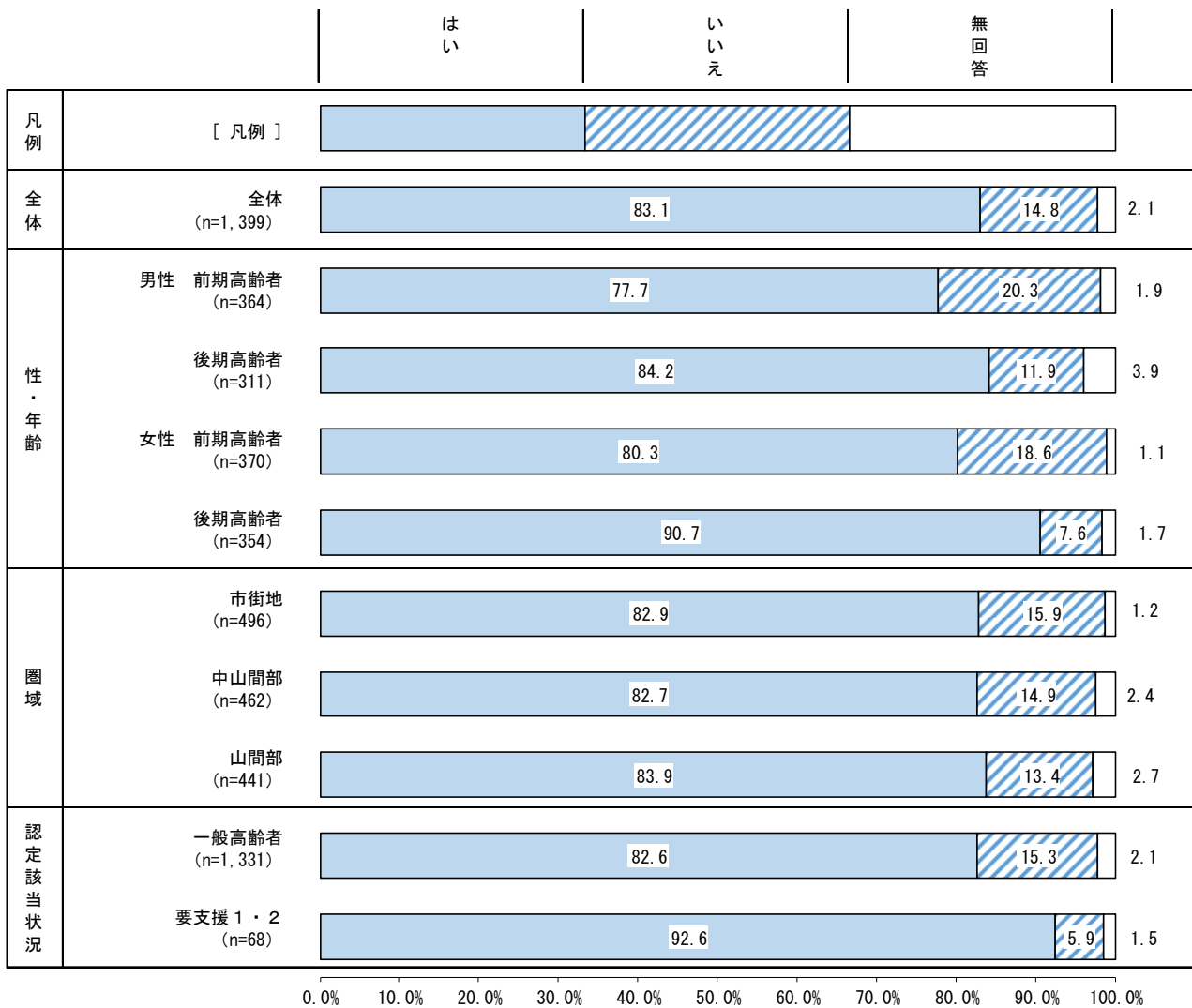
【全体】
 ○ かかりつけ医の有無について、「はい」が83.1%、「いいえ」が14.8%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 「はい」は山間部が83.9%とわずかに多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要支援1・2では、「はい」が92.6%と多くなっています。

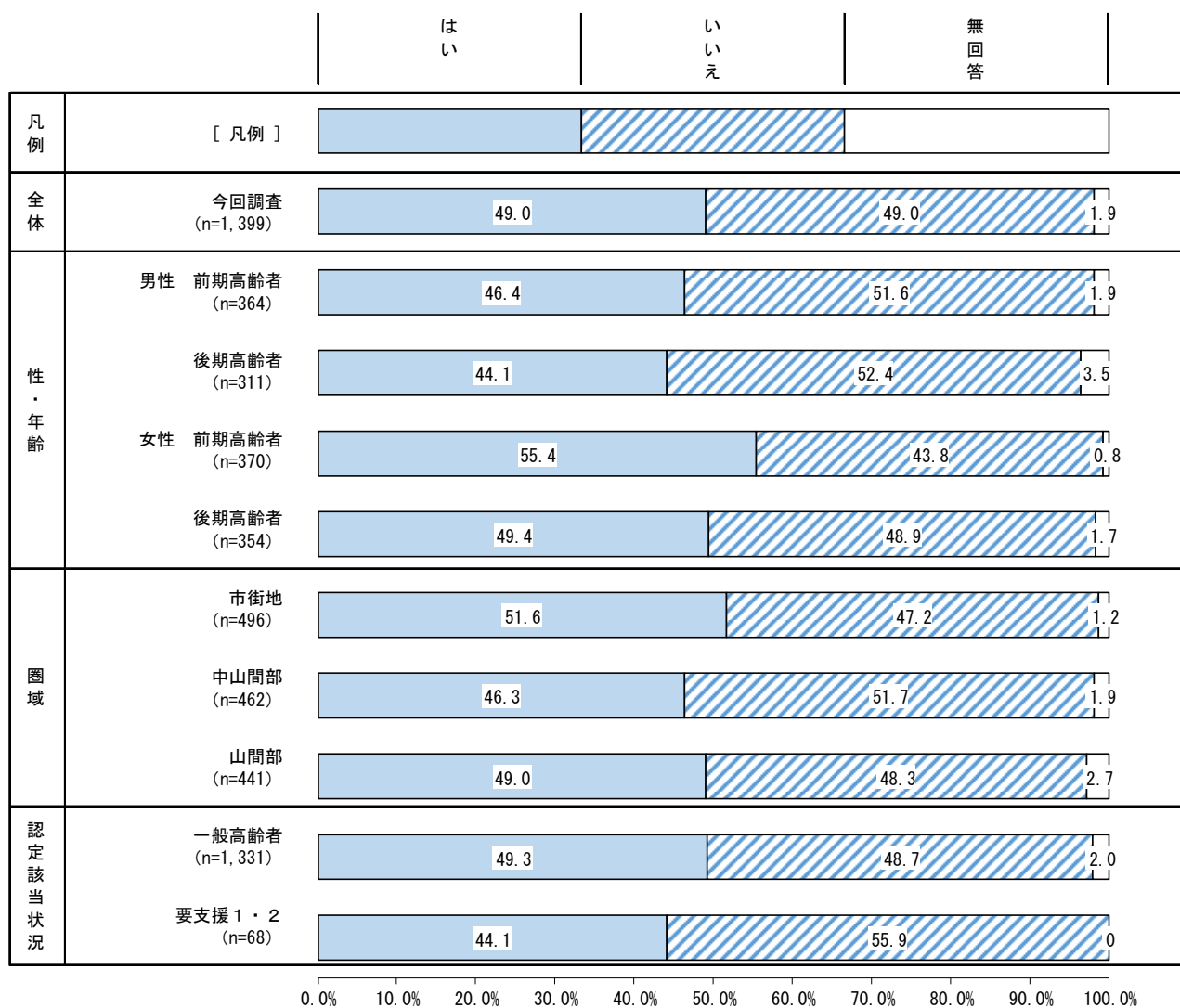
【かかりつけ医の有無】



●問7(13) 定期的に歯科検診を受けていますか（1つだけ）

- 【全体】**
 ○ 定期的に歯科検診を受診しているかについて、「はい」「いいえ」ともに49.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 「はい」は市街地で51.6%と多くなっています。
 ○ 「いいえ」は中山間部が51.7%と多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 要支援1・2では、一般高齢者に比べて「はい」が約5ポイント少なくなっています。

【歯科検診の受診状況】



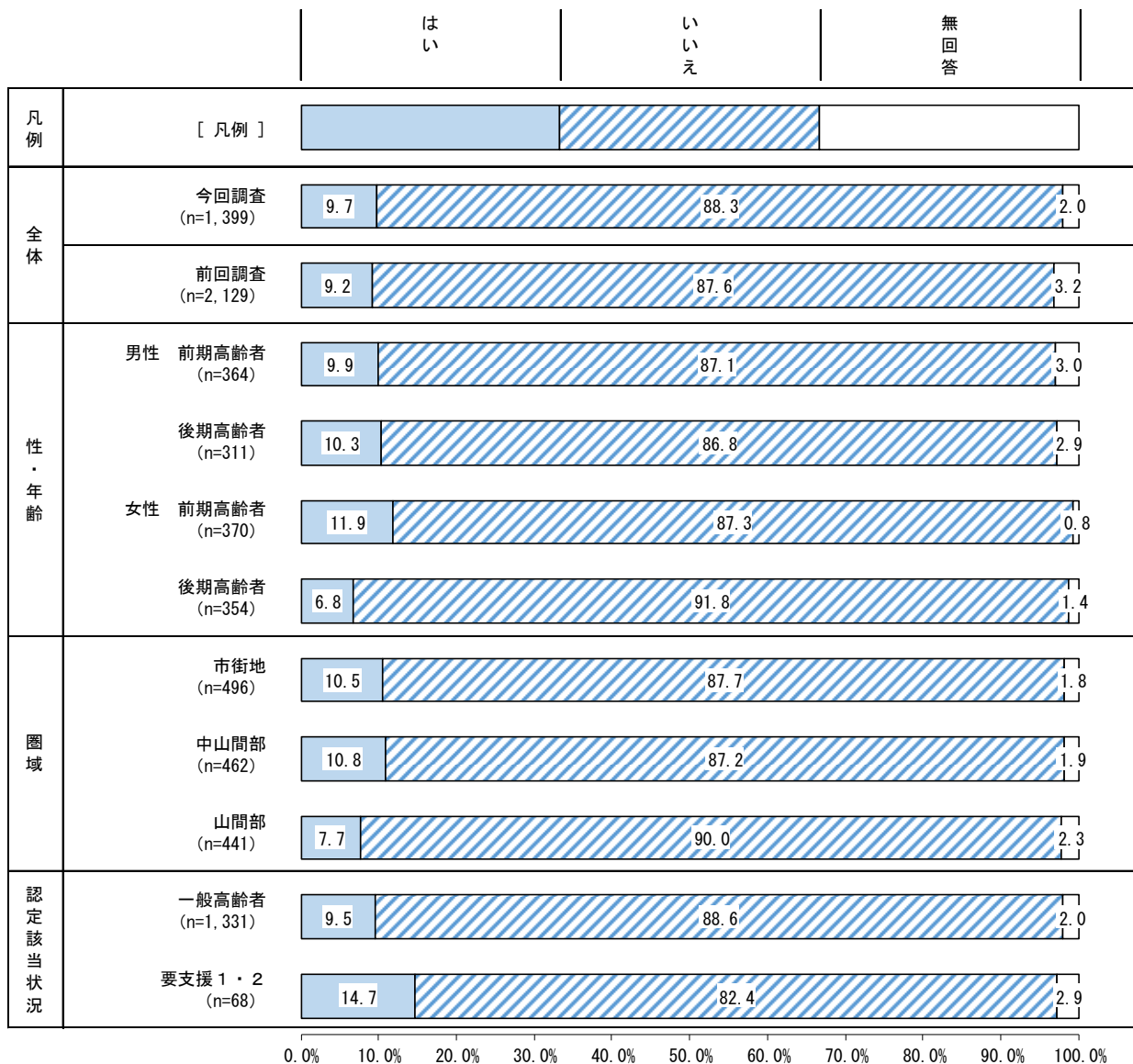
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状の有無

●問8(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

【全体】
○ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状があるかについて、「はい」が 9.7%、「いいえ」が 88.3%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は女性 前期高齢者が 11.9%と多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は山間部が 7.7%と少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は要支援 1・2では 14.7%となっています。

【自身や家族の認知症の症状有無】

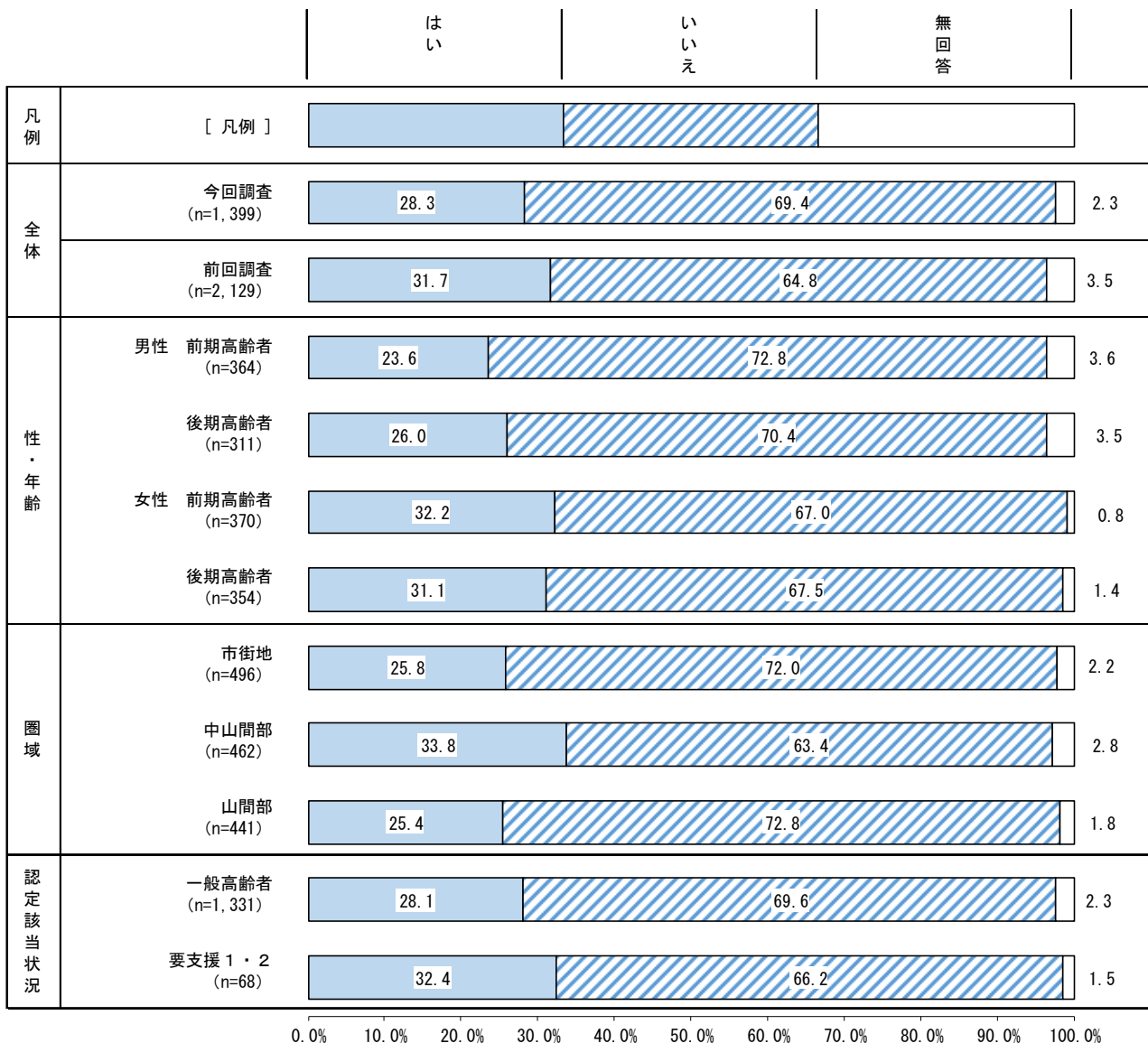


(2) 認知症の相談窓口の周知状況

●問8(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

【全体】
○ 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が28.3%、「いいえ」が69.4%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は中山間部が33.8%と多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、一般高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】

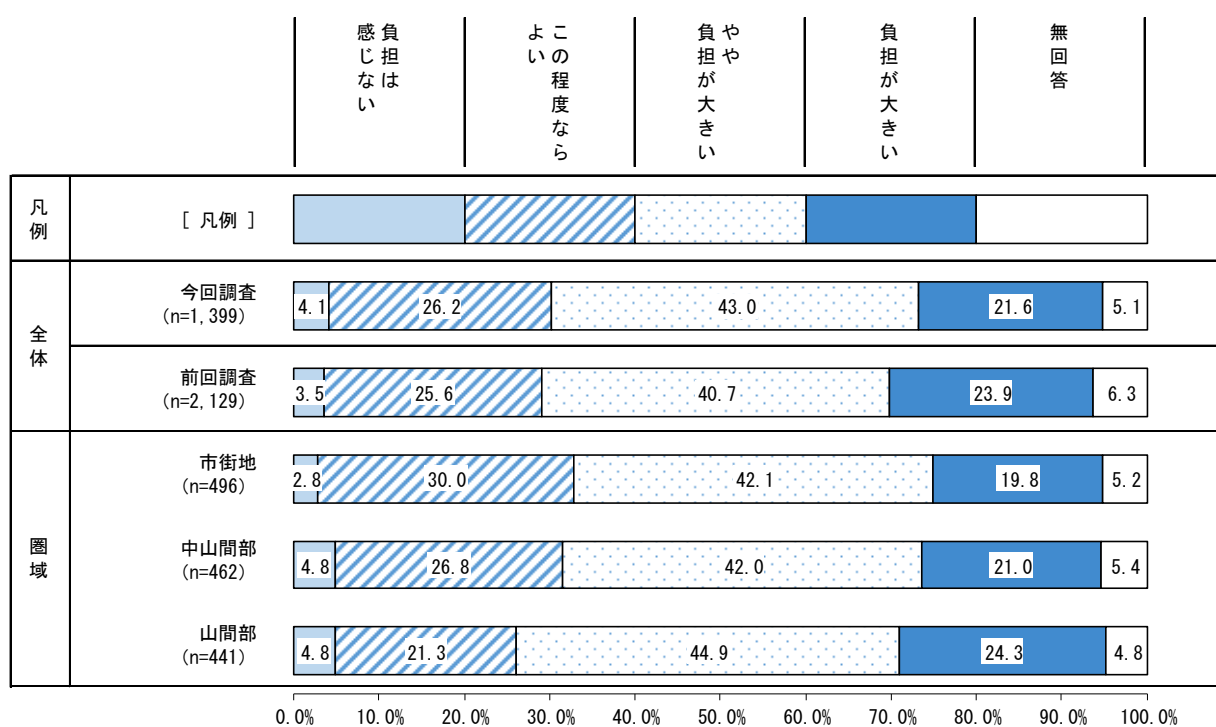


11. 介護保険サービスについて

●問9(1) あなたの介護保険料についての経済的負担感はどうですか(1)。(1つだけ)

- 【全体】**
- 介護保険料についての経済的負担感について、「やや負担が大きい」が43.0%で最も多く、次いで「この程度ならよい」が26.2%、「負担が大きい」が21.6%となっています。「負担は感じない」「この程度ならよい」を合わせた“負担可能な人”は約3割となっています。また、「やや負担が大きい」「負担が大きい」を合わせた“負担困難な人”は6割を超えています。
 - 前回調査と比べて、「負担が大きい」が少なくなっています。
- 【圏域】**
- 山間部では「負担が大きい」が24.3%と多くなっています。

【介護保険料の負担】

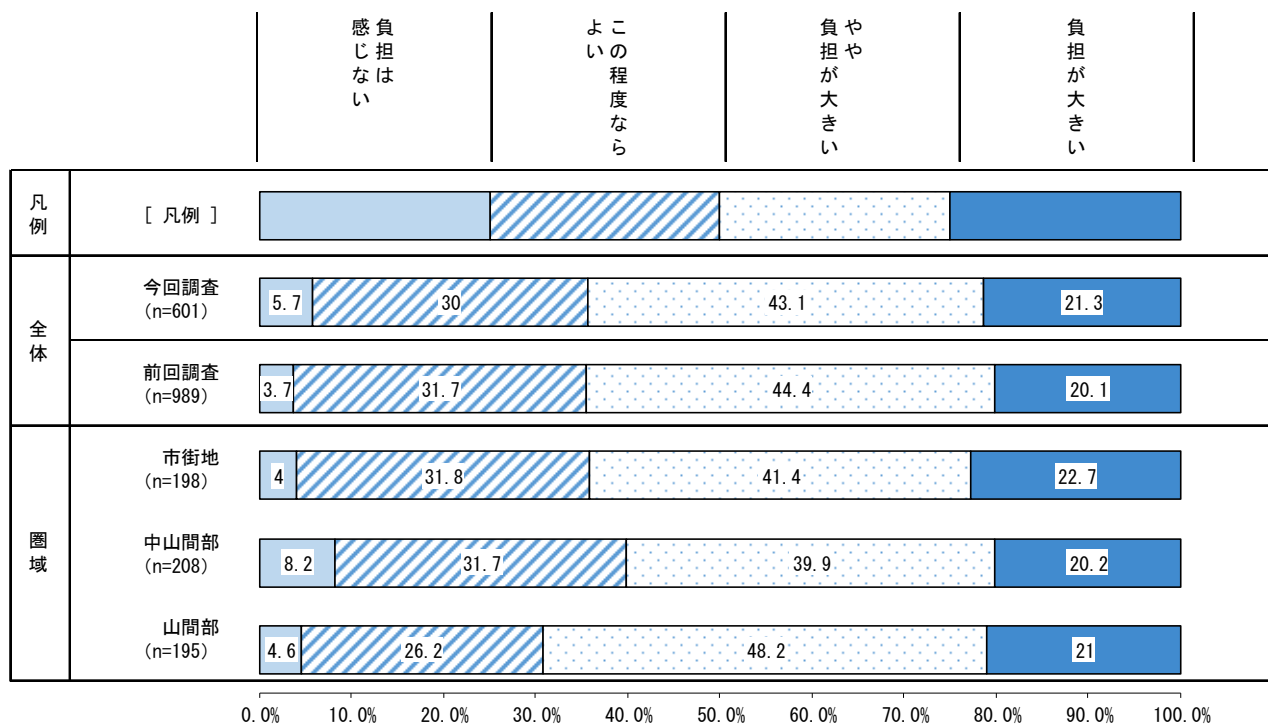


●問9(2) サービス利用に伴う自己負担分について経済的負担感はどうか。(1つだけ)

【全体】
 ○ サービス利用に伴う自己負担分の経済的負担感について、「やや負担が大きい」が43.1%で最も多く、次いで「この程度ならよい」が30.0%、「負担が大きい」が21.3%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、差はみられませんでした。

【圏域】
 ○ 山間部では、「やや負担が大きい」が48.2%と多くなっています。

【自己負担額の負担】

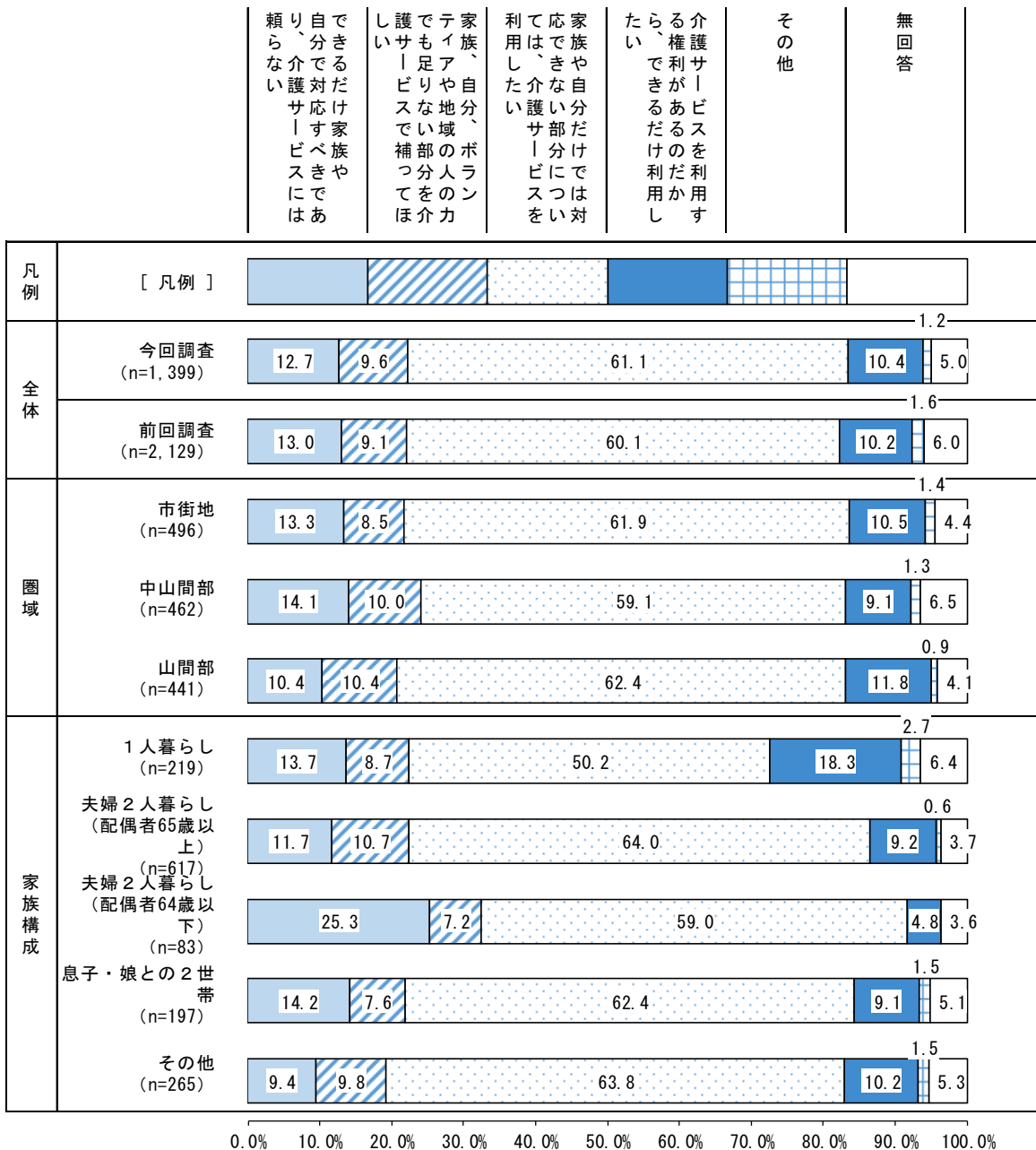


※割合は、「サービスを利用していない」「無回答」を除いて計算しています。

●問9(3) あなたの介護サービスの利用について、どのようにお考えですか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 介護サービスの利用についての考えについて、「家族や自分だけでは対応できない部分については、介護サービスを利用したい」が 61.1%で最も多く、次いで「できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない」が 12.7%、「介護サービスを利用する権利があるのだから、できるだけ利用したい」が 10.4%となっています。
- 【圏域】**
- 山間部では、「できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない」が 10.4%と少なくなっています。
- 【家族構成】**
- 1人暮らしでは、「介護サービスを利用する権利があるのだから、できるだけ利用したい」が 18.3%と多くなっています。
 - 夫婦2人暮らし（配偶者 64歳以下）では、「できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない」が 25.3%と多くなっています。

【介護サービス利用についての考え】



- 問9(4) あなたは、介護サービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つだけ)

【全体】

- 介護サービスと保険料の関係についてについて、「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい」が 53.8%で最も多く、次いで「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」が 15.7%、「サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい」が 12.4%となっています。
- 前回調査と比べて、「サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい」が少なくなっています。

【性・年齢】

- 「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい」は女性後期高齢者が 47.2%と少なくなっています。

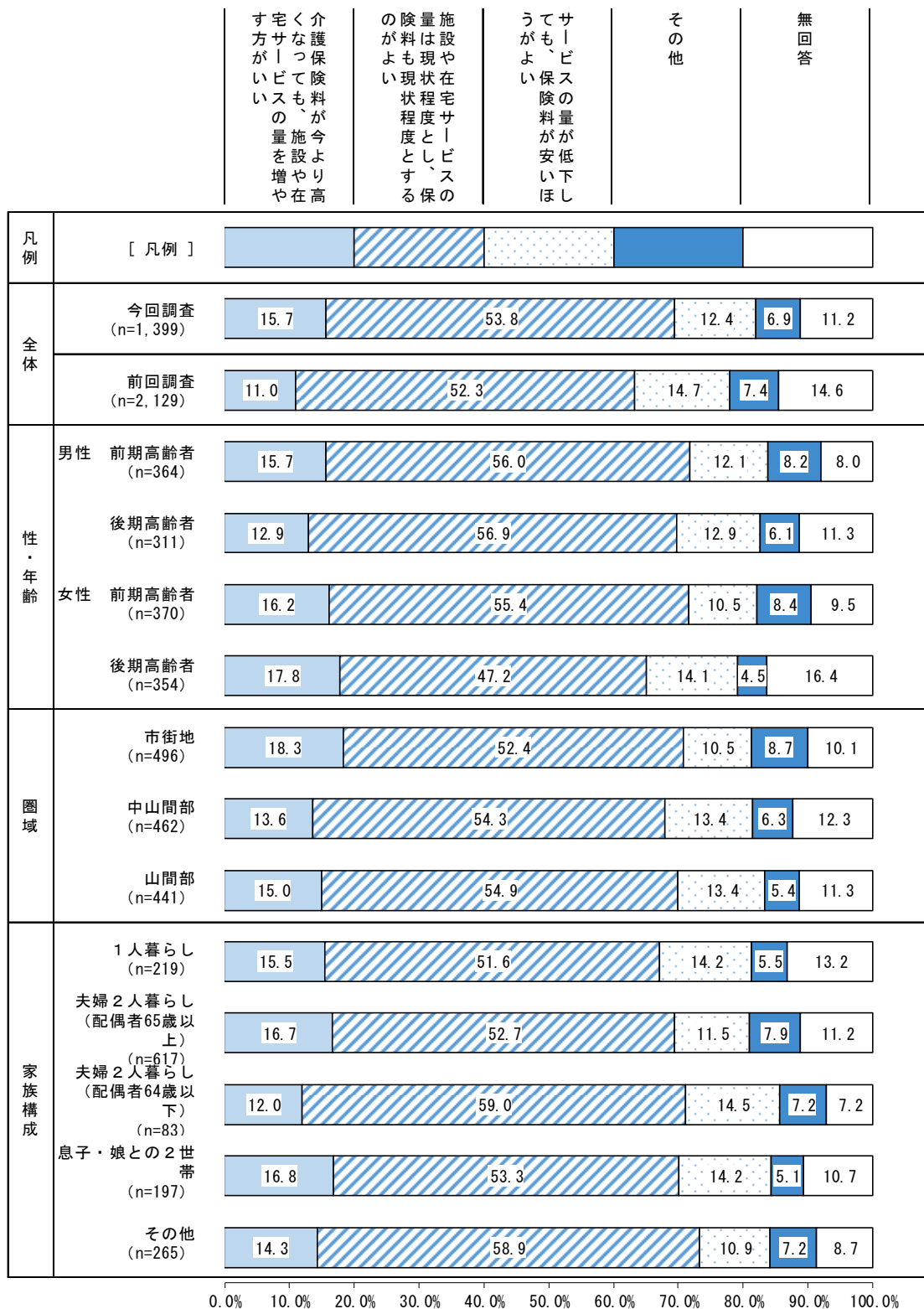
【圏域】

- 市街地では、「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」が 18.3%と多くなっています。

【家族構成】

- 夫婦2人暮らし（配偶者 64歳以下）では、「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」が 12.0%と少なくなっています。

【介護サービスと保険料の関係についての考え】

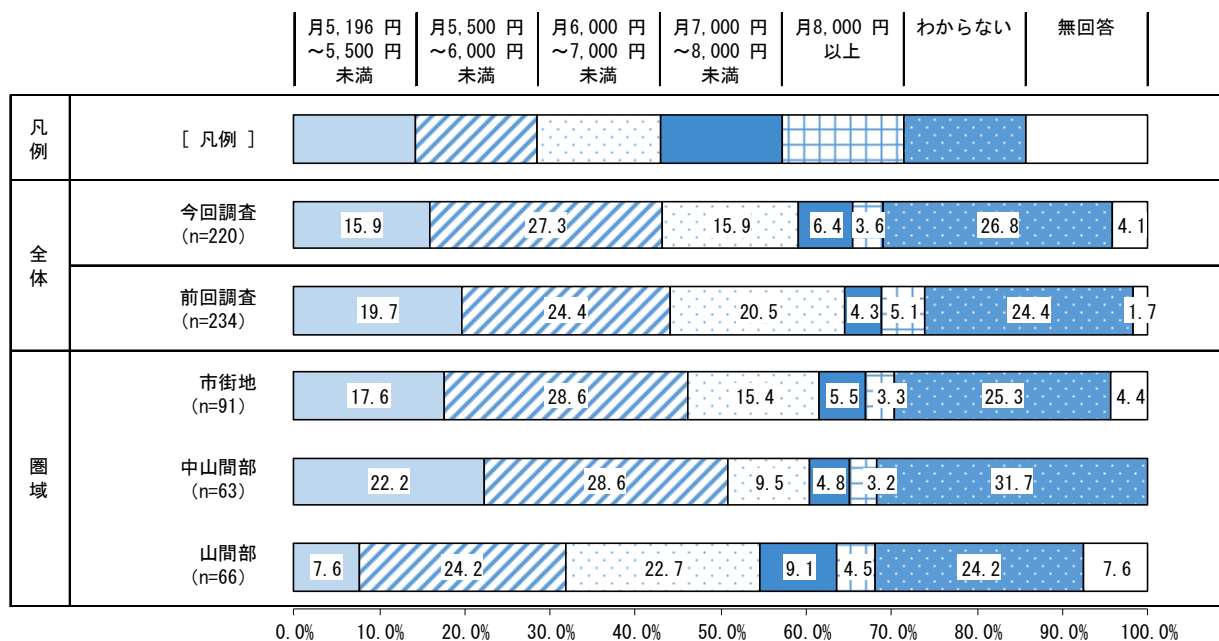


- 問9(4)-1 施設や介護サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在 月5,196円）は、いくらが適当だと思いますか。（1つだけ）

【全体】
 ○ 施設や介護サービスの量が増える場合の保険料の適当基準額について、「月5,500円～6,000円未満」が27.3%で最も多く、次いで「わからない」が26.8%、「月5,196円～5,500円未満」「月6,000円～7,000円未満」が15.9%となっています。

【圏域】
 ○ 山間部では、他に比べて適当だと思う基準額が高い傾向がみられます。

【適当だと思う基準額】

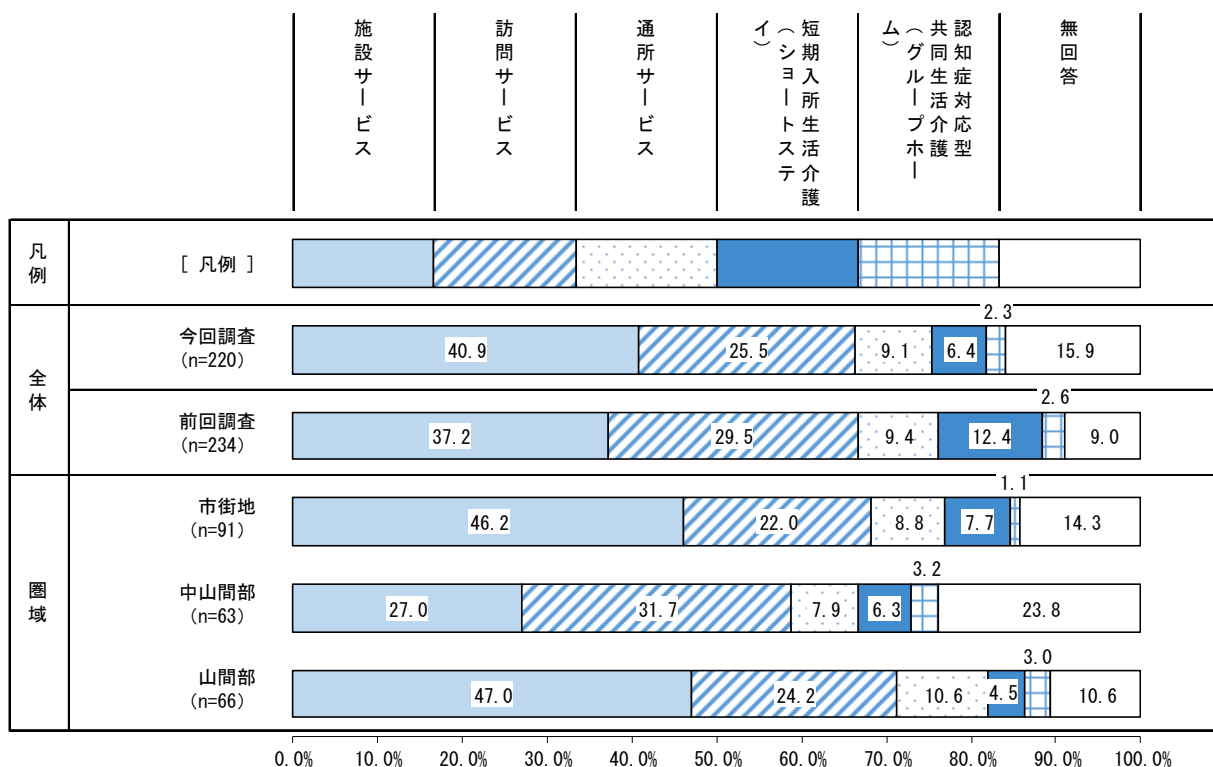


- 問9(4)-2 施設や在宅サービスの量を増やすとしたら、最も希望するのはどのサービスですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 施設や在宅サービスの量を増やすとしたら、最も希望するサービスについて、「施設サービス」が40.9%で最も多く、次いで「訪問サービス」が25.5%、「通所サービス」が9.1%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、「施設サービス」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 中山間部では「施設サービス」が27.0%と少なく、「訪問サービス」が31.7%と多くなっています。

【最も希望するサービス】



※施設サービス：特別養護老人ホーム、老人保健施設等

訪問サービス：訪問介護（ホームヘルパーの訪問）・訪問入浴・訪問看護（看護師の訪問）

通所サービス：通所系サービス（通所介護（デイサービス）・通所リハビリ）

短期入所生活介護（ショートステイ）：介護者の不在等により一時的に施設に入所することができるサービス

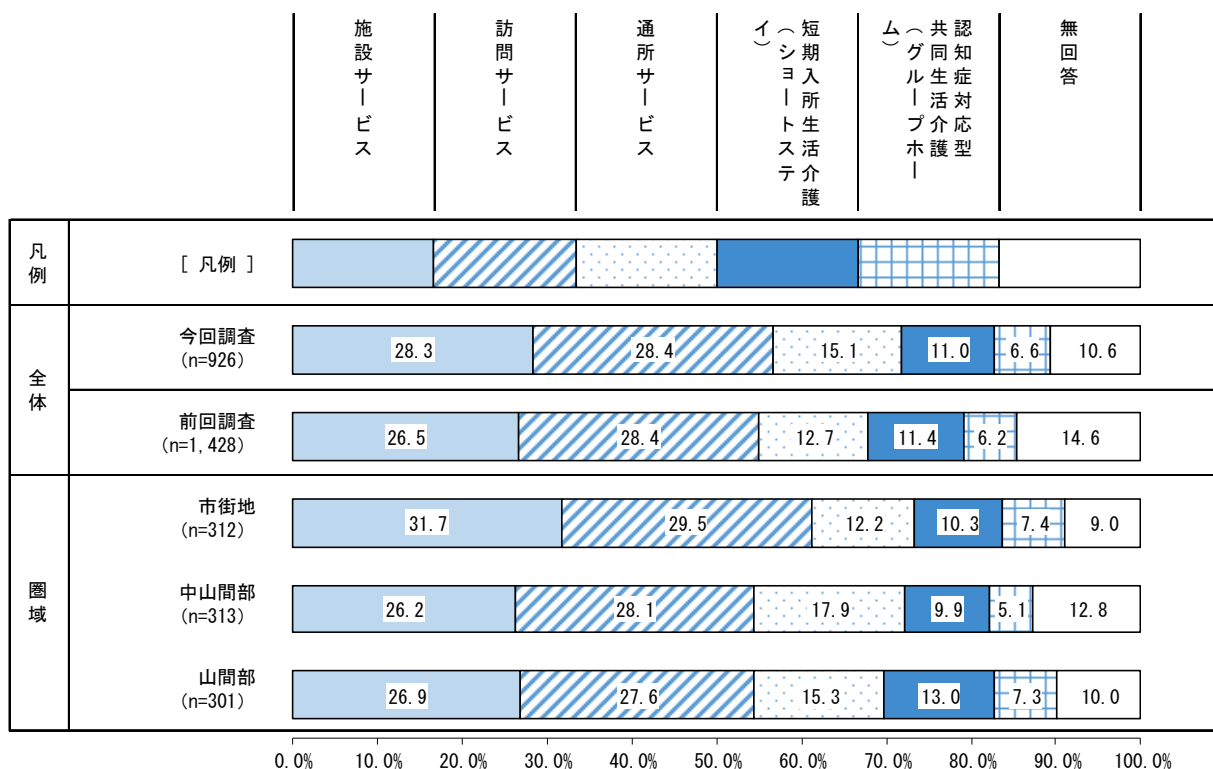
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）：認知症の人が介護を受けながら共同生活を送る施設

- 問9(4)-3 施設や在宅サービスの中で、なくなると最も困るサービスは何ですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 施設や在宅サービスでなくなると最も困るサービスについて、「訪問サービス」が28.4%で最も多く、次いで「施設サービス」が28.3%、「通所サービス」が15.1%となっています。
 ○ 前回調査と比べて、「施設サービス」、「通所サービス」、「認知症対応型共同生活介護」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 市街地では、「施設サービス」が多く、中山間部では「訪問サービス」や「通所サービス」が、山間部では「認知症対応型通所介護（グループホーム）」が多くなっています。

【なくなると最も困るサービス】



- 問9(5) 保険料を財源として亀岡市独自のサービスを行うとしたら、最も希望するのはどのサービスですか。(1つだけ)

【全体】

- 亀岡市独自サービスについてについて、「保険料が高くなるのであれば、希望しない」が32.7%で最も多く、次いで「配食サービス」が28.0%、「健康に関する教室や介護者の支援事業」が12.9%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「健康に関する教室や介護者の支援事業」が多く、女性では男性に比べて「外出の付添・見守り等」が多くなっています。
○ 男性前期高齢者では、「保険料が高くなるのであれば、希望しない」が35.4%で多くなっています。

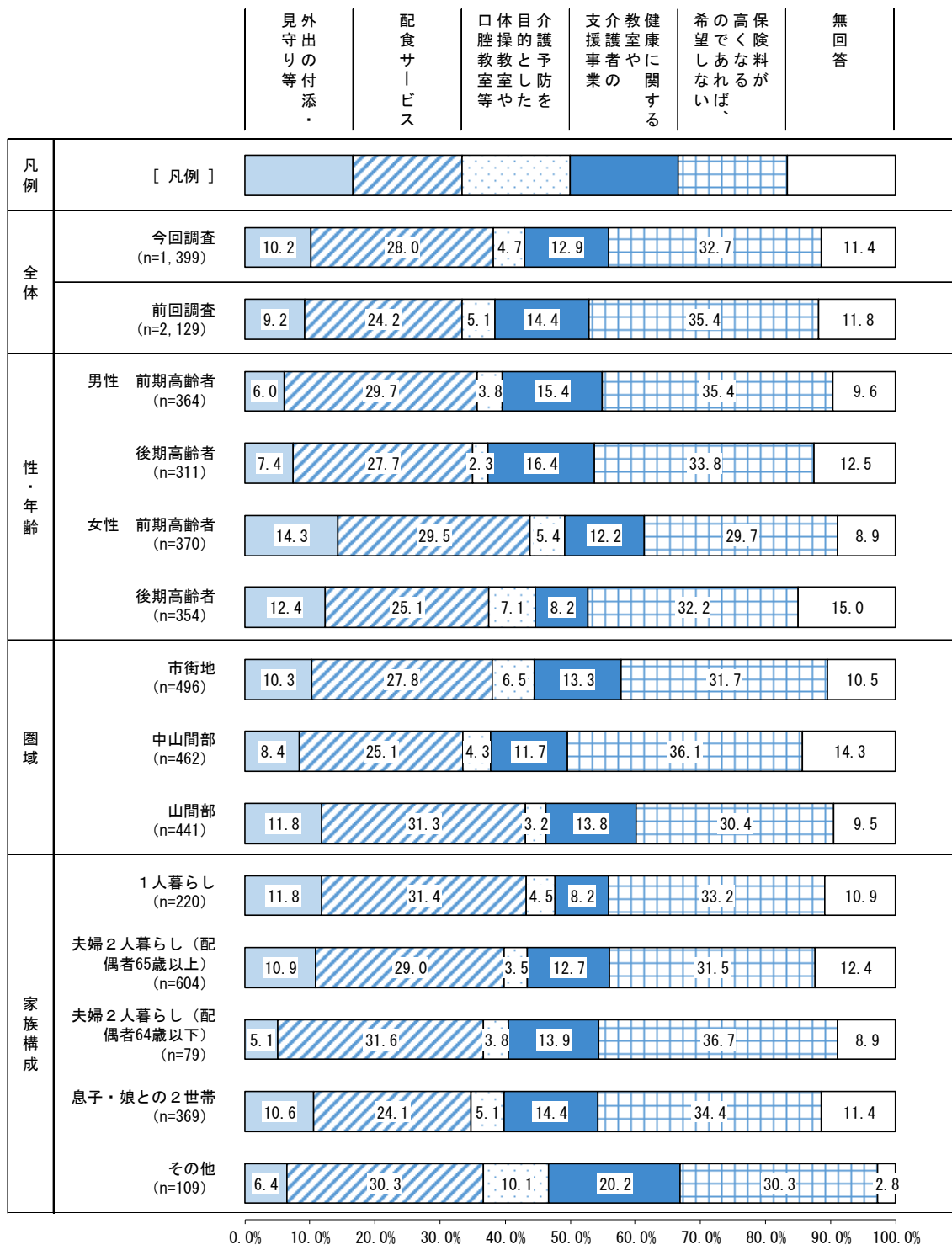
【圏域】

- 市街地では「介護予防を目的とした体操教室や口腔教室等」が6.5%と多くなっています。
○ 中山間部では「外出の付添・見守り等」が8.4%と少なく、「保険料が高くなるのであれば、希望しない」が36.1%と多くなっています。
○ 山間部では、「配食サービス」が31.3%と多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らし、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)、息子・娘との2世帯では「外出の付添・見守り等」が約1割と多くなっています。
○ 1人暮らしでは「健康に関する教室や介護者の支援事業」が8.2%と少なくなっています。

【最も希望する独自サービス】

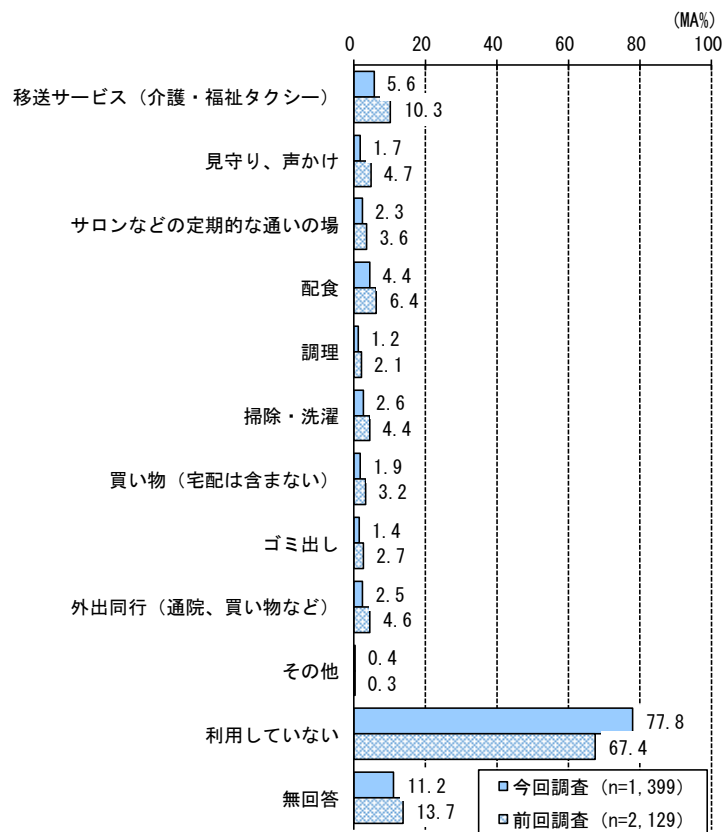


12. その他

- 問10(1) 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも)

<p>【全体】</p> <p>○ 介護サービス以外のサービスの利用状況 (MA)について、「利用していない」が 77.8%で最も多く、次いで「移送サービス (介護・福祉タクシー)」が 5.6%、「配食」が 4.4%となっています。</p> <p>○ 前回調査と比べて、「利用していない」が多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「移送サービス (介護・福祉タクシー)」は山間部が 7.3%と多くなっています。</p> <p>○ 「利用していない」は市街地が 81.3%と多くなっています。</p>

【利用している介護サービス以外の支援・サービス】



単位：%

	母数 (n)	介護サービス以外のサービスの利用状況 (MA)												
		(移送サービス (介護・福祉タクシー))	見守り、声かけ	定期的な通いの場	サロンの定期的な通いの場	配食	調理	掃除・洗濯	(買い物 (宅配は含まない))	ゴミ出し	(外出同行 (通院、買い物など))	その他	利用していない	無回答
全体	1,399	5.6	1.7	2.3	4.4	1.2	2.6	1.9	1.4	2.5	0.4	77.8	11.2	
圏域	市街地	496	4.8	1.8	1.8	4.2	1.0	1.8	1.6	1.0	1.4	0.4	81.3	9.9
	中山間部	462	5.0	1.3	2.4	3.7	1.5	2.8	2.8	1.9	1.5	0.2	76.2	13.6
	山間部	441	7.3	2.0	2.7	5.2	1.1	3.2	1.4	1.1	4.8	0.7	75.5	10.0

- 問10(2) お住まいの地域について、困りごとの相談をしたり、支援を受けやすいと感じますか。(1つだけ)

【全体】

- 相談や支援を受けやすいかについて、「4～7点」が39.6%で最も多く、次いで「1～3点」が25.5%、「0点(まったく感じない)」が17.7%となっています。
- 「10点(とても感じる)」「8～9点」を合わせた“8点以上”は6.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べ、「0点(まったく感じない)」が多くなっています。

【圏域】

- 中山間部では“8点以上”が7.8%で多くなっています。
- 山間部では、「1～3点」「0点(まったく感じない)」を合わせた“3点以下”が49.9%と多くなっています。

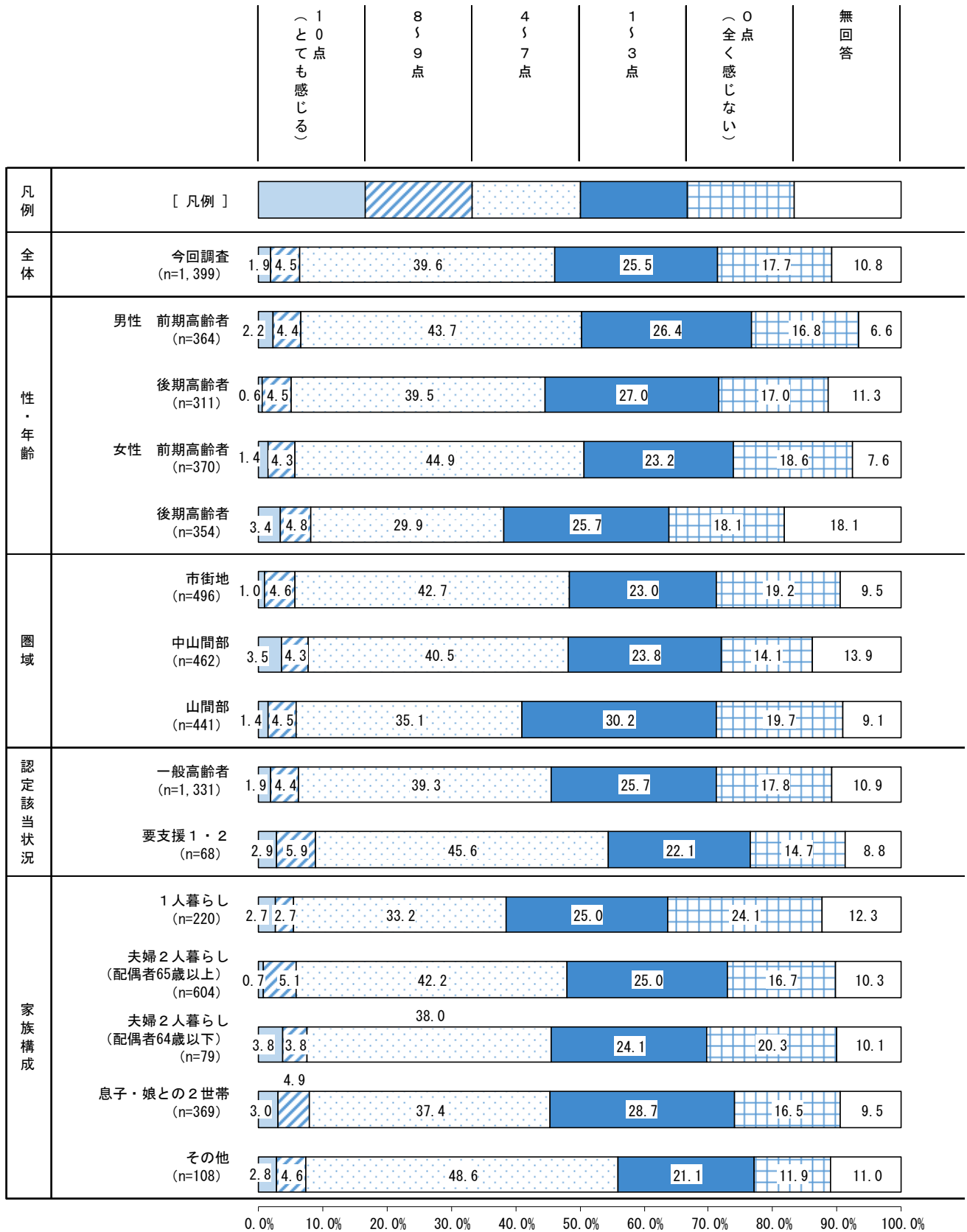
【認定該当状況】

- 要支援1・2では一般高齢者に比べ、“8点以上”が多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らし、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では、“8点以上”が5%台と少なくなっています。
- 1人暮らしでは、「0点(まったく感じない)」が24.1%と多くなっています。

【相談や支援を受けやすいか】



- 問10(3) お住まいの地域について、安心して在宅生活を継続しやすいと感じますか。(1
つだけ)

【全体】

- 安心して在宅生活を継続しやすいかについて、「4～7点」が43.7%で最も多く、次いで「1～3点」が21.5%、「0点（まったく感じない）」が13.4%となっています。
- “8点以上”は11.1%となっています。

【性・年齢】

- 女性 前期高齢者では「0点（まったく感じない）」が14.9%と多くなっています。
- 女性 後期高齢者では、“8点以上”が15.9%と多くなっています。

【圏域】

- “8点以上”は市街地で14.7%、中山間部で10.2%、山間部で8.1%となっています。
- 山間部では、「0点（まったく感じない）」が18.6%と多くなっています。

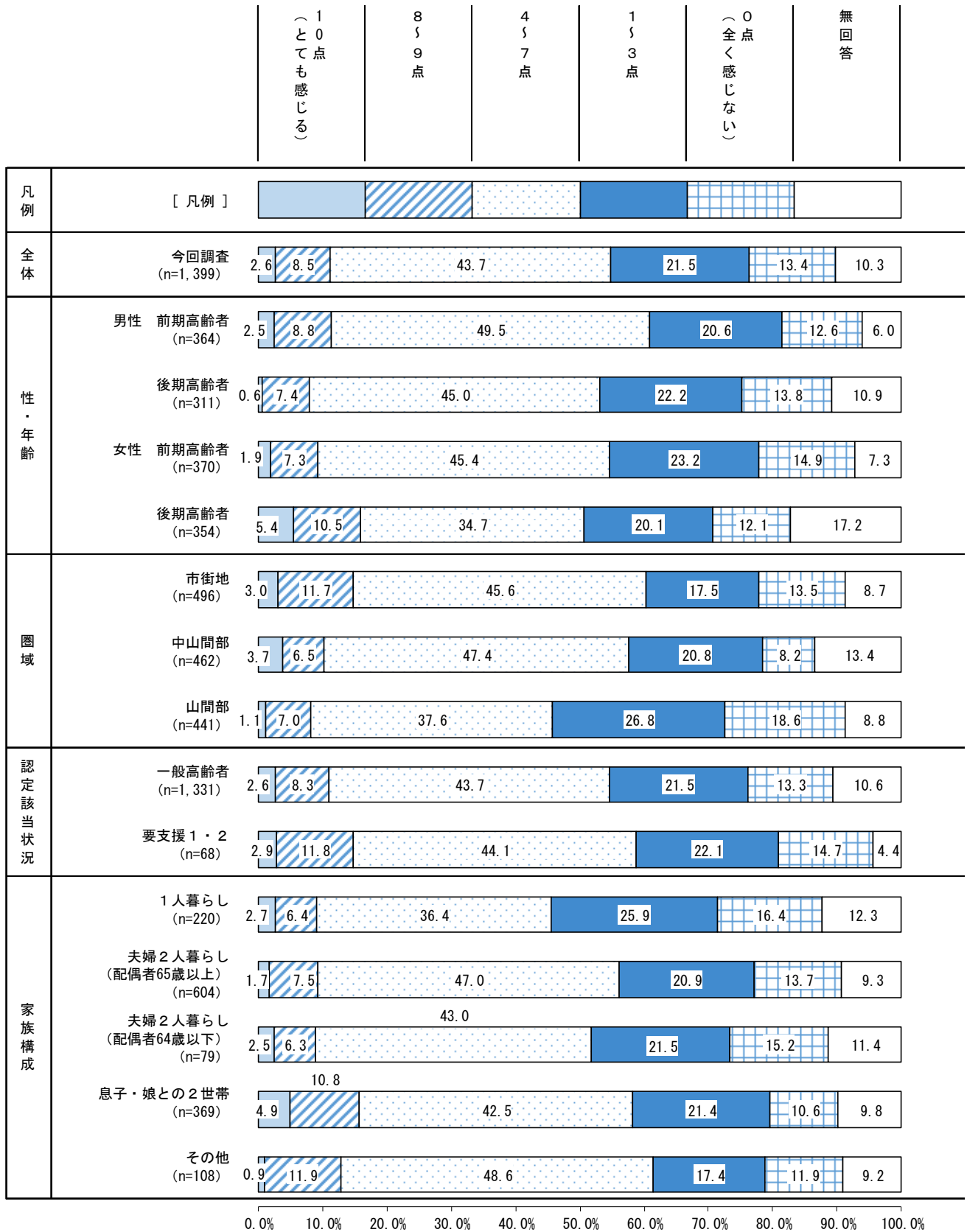
【認定該当状況】

- 要支援1・2では一般高齢者に比べ、“8点以上”が多くなっていますが、「0点（まったく感じない）」も多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、“8点以上”が1割未満と少なくなっています。
- 1人暮らしでは、「0点（まったく感じない）」が16.4%と多くなっています。

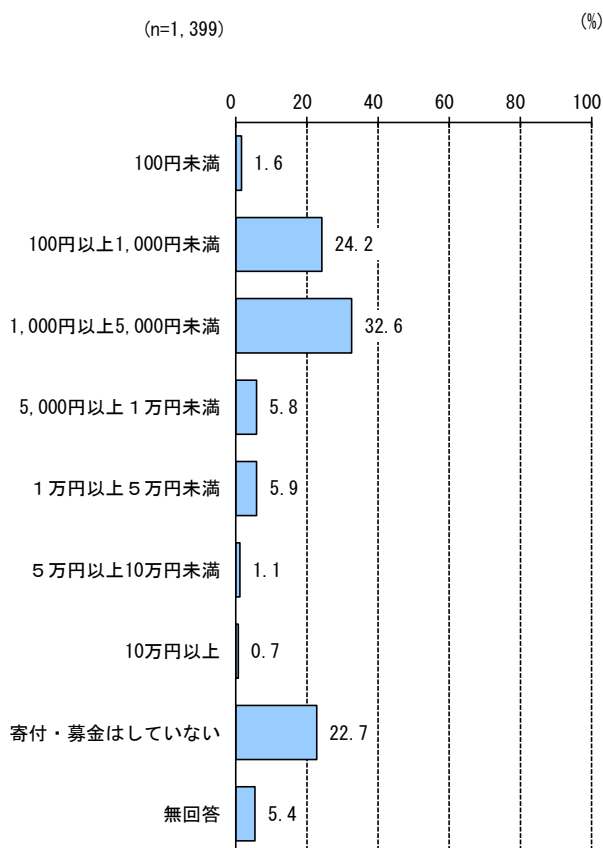
【安心して在宅生活を継続しやすいか】



- 問10(4) あなたは、この1年間に、どのくらいの現金を寄付、募金されましたか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 1年間の寄付、募金状況について、「1,000円以上5,000円未満」が32.6%で最も多く、次いで「100円以上1,000円未満」が24.2%、「寄付・募金はしていない」が22.7%となっています。

【寄付・募金の状況】



単位：%

	母数 (n)	1年間の寄付、募金状況									
		100円未満	100円以上1,000円未満	1,000円以上5,000円未満	5,000円以上1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上	寄付・募金はしていない	無回答	
全体	1,399	1.6	24.2	32.6	5.8	5.9	1.1	0.7	22.7	5.4	
圏域	市街地	496	1.8	28.2	27.6	4.2	6.9	1.2	1.0	24.0	5.0
	中山間部	462	0.9	21.4	37.2	5.8	5.2	1.5	0.2	21.0	6.7
	山間部	441	2.3	22.4	33.3	7.5	5.7	0.7	0.9	22.9	4.3

13. 生活機能評価等に関する分析

(1) 生活機能評価

●運動器の機能低下リスク（判定）

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2(5)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(6)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が14.7%、「非該当」が85.3%となっています。

○ 前回調査と比べて、「該当」が少なくなっています。

【性・年齢】

○ 女性 後期高齢者では「該当」が29.1%と多くなっています。

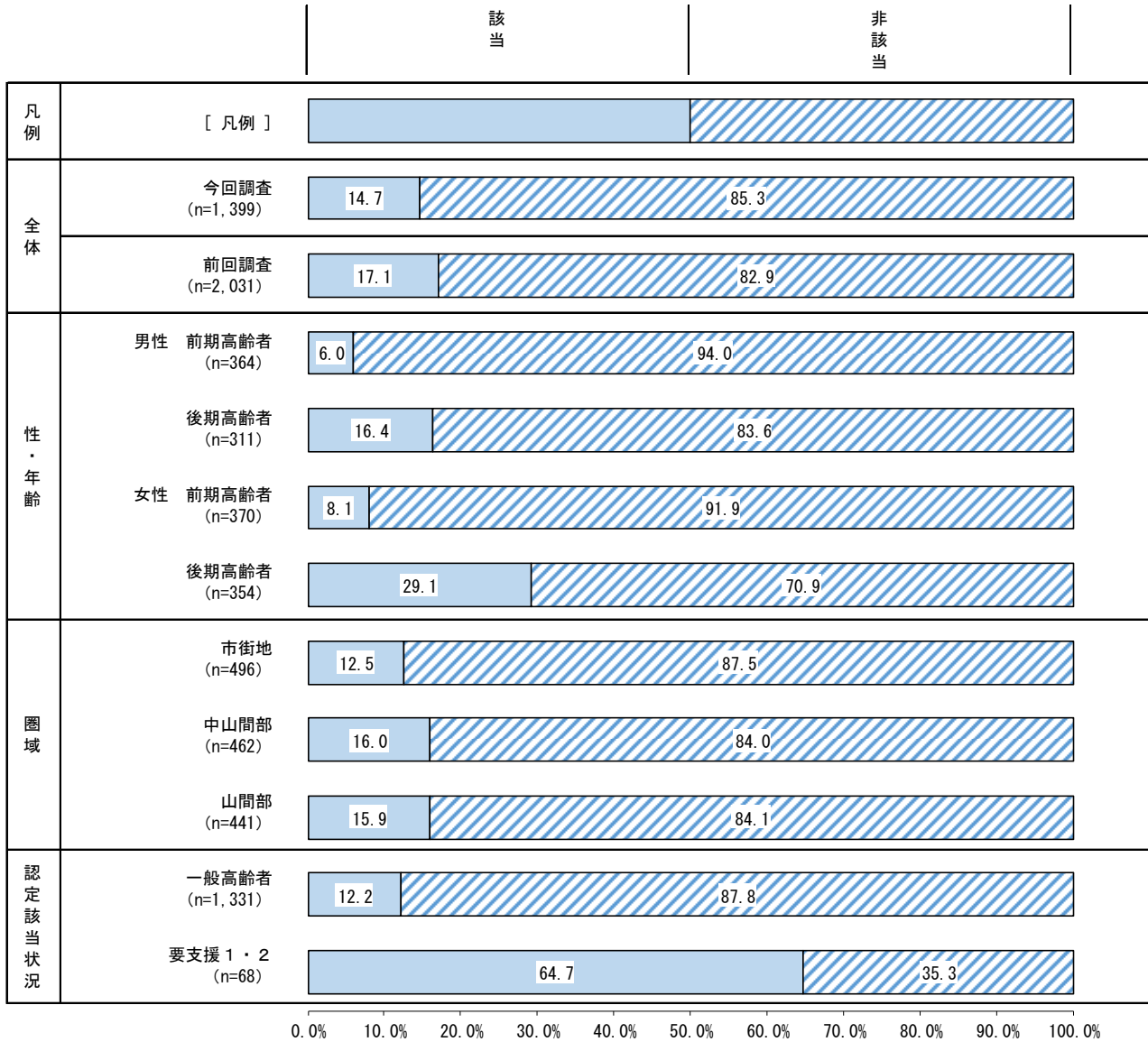
【圏域】

○ 「該当」は市街地が12.5%と少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者では約1割、要支援1・2では6割以上となっています。

【運動器の機能低下リスク】



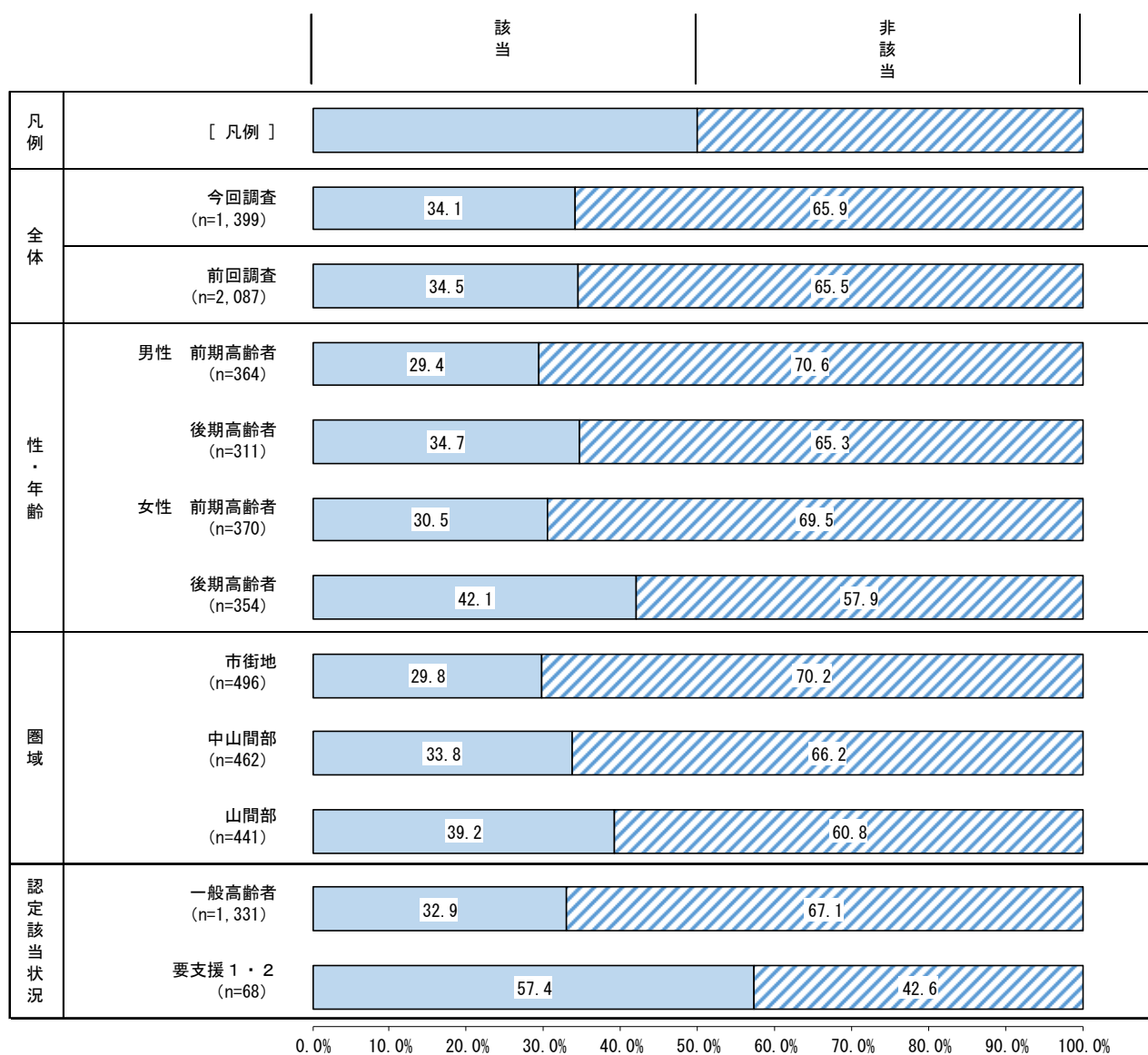
●転倒リスク（判定）

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問番号	判定設問	該当する選択肢
問 2 (5)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1 度ある

<p>【全体】 ○ 転倒リスクについて、「該当」が 34.1%、「非該当」が 65.9%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 女性 後期高齢者では「該当」が 42.1%と多くなっています。</p> <p>【圏域】 ○ 「該当」は山間部が 39.2%と多くなっています。 ○ 「非該当」は市街地が 70.2%と多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 「該当」は一般高齢者では約 3 割、要支援 1・2 では 5 割以上となっています。</p>
--

【転倒リスク】



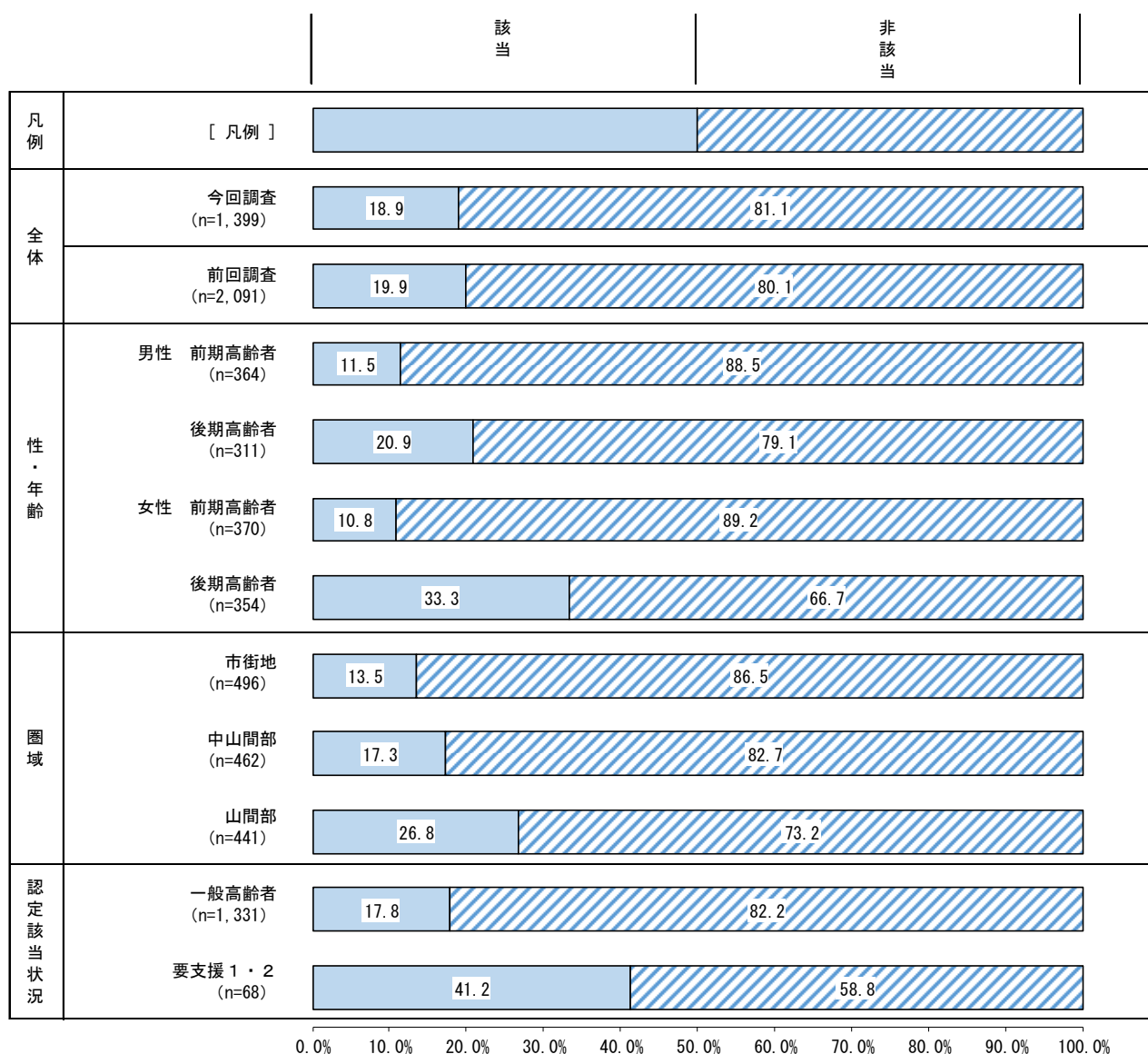
●閉じこもりのリスク（判定）

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問2(7)	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない/週1回

<p>【全体】 ○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が18.9%、「非該当」が81.1%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 女性 後期高齢者では「該当」が33.3%と多くなっています。</p> <p>【圏域】 ○ 「該当」は山間部が26.8%と多くなっています。 ○ 「非該当」は市街地が86.5%と多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 「該当」は一般高齢者では約2割、要支援1・2では4割以上となっています。</p>

【閉じこもりのリスク】



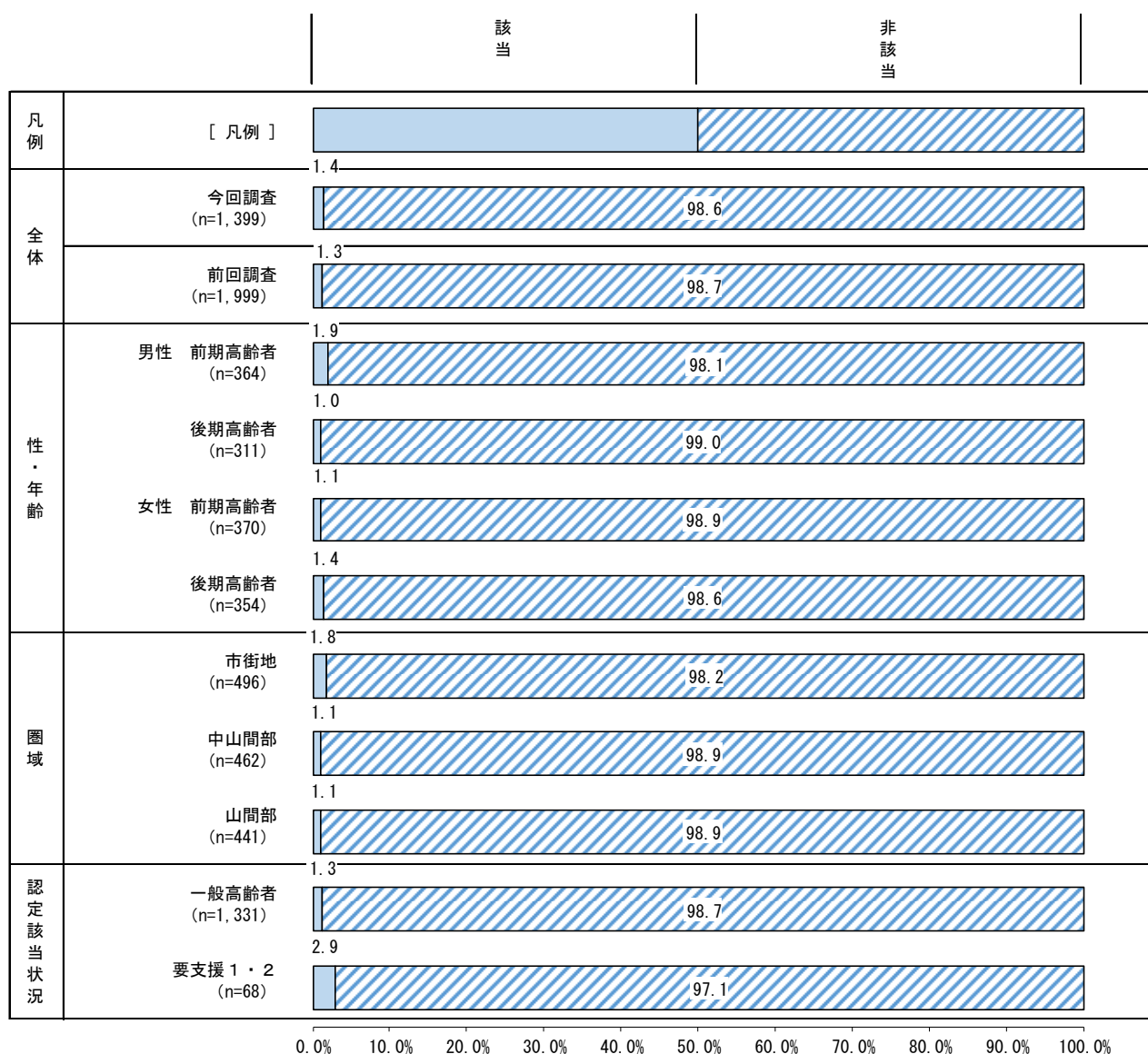
●低栄養のリスク（判定）

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満
問3(9)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

【全体】
 ○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.4%、「非該当」が98.6%となっています。
【認定該当状況】
 ○ 「該当」は一般高齢者では1.3%、要支援1・2では2.9%となっています。

【低栄養のリスク】



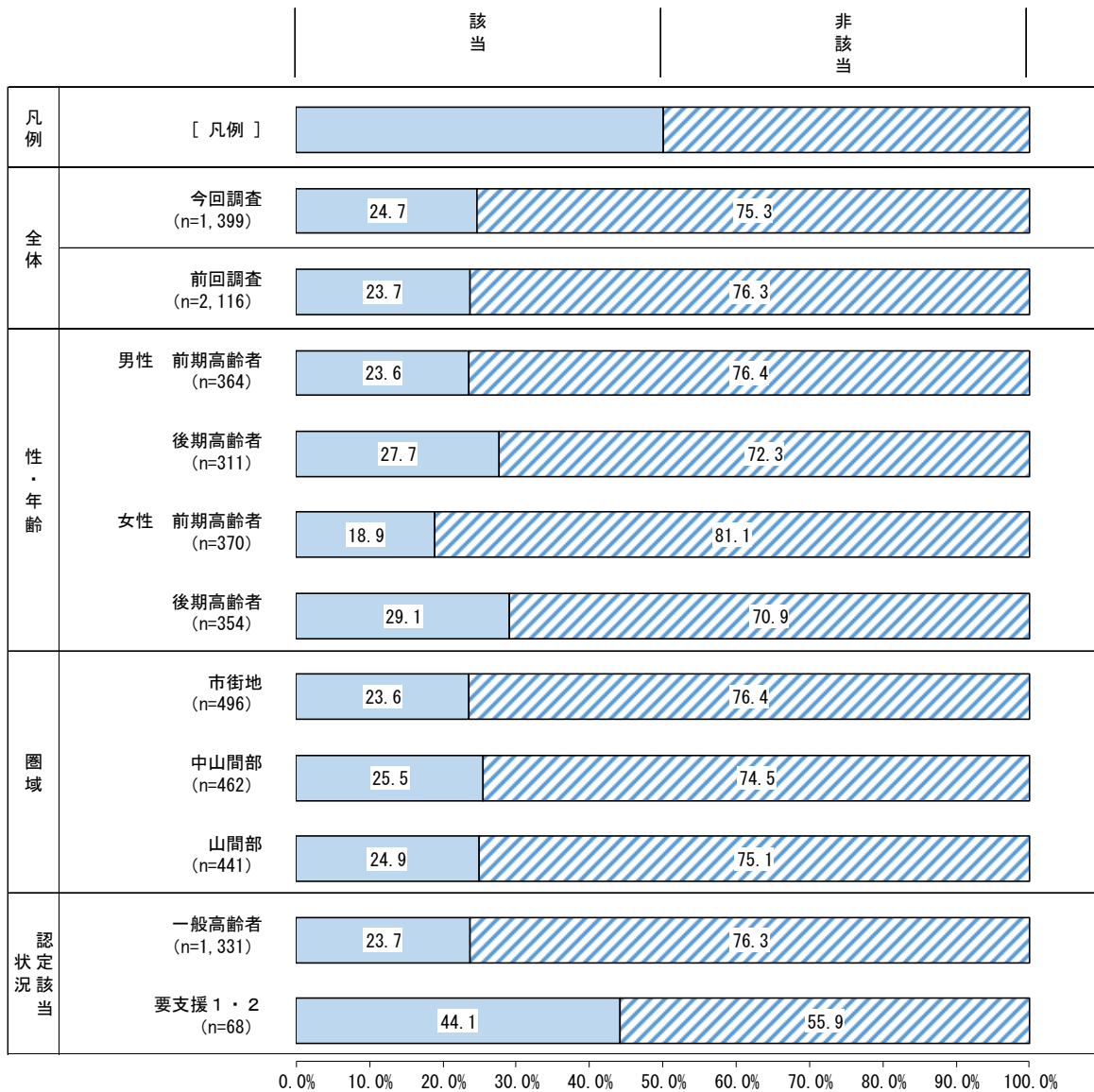
●口腔機能の低下リスク（判定）

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問3(4)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（咀嚼機能低下）	1. はい
問3(5)	お茶や汁物等でむせることがありますか（嚥下機能低下）	1. はい
問3(6)	口の渇きが気になりますか（肺炎発症リスク）	1. はい

【全体】
 ○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が24.7%、「非該当」が75.3%となっています。
【性・年齢】
 ○ 男女ともに後期高齢者では「該当」が約3割となっています。
【認定該当状況】
 ○ 「該当」は一般高齢者では約2割、要支援1・2では4割以上となっています。

【口腔機能の低下リスク】



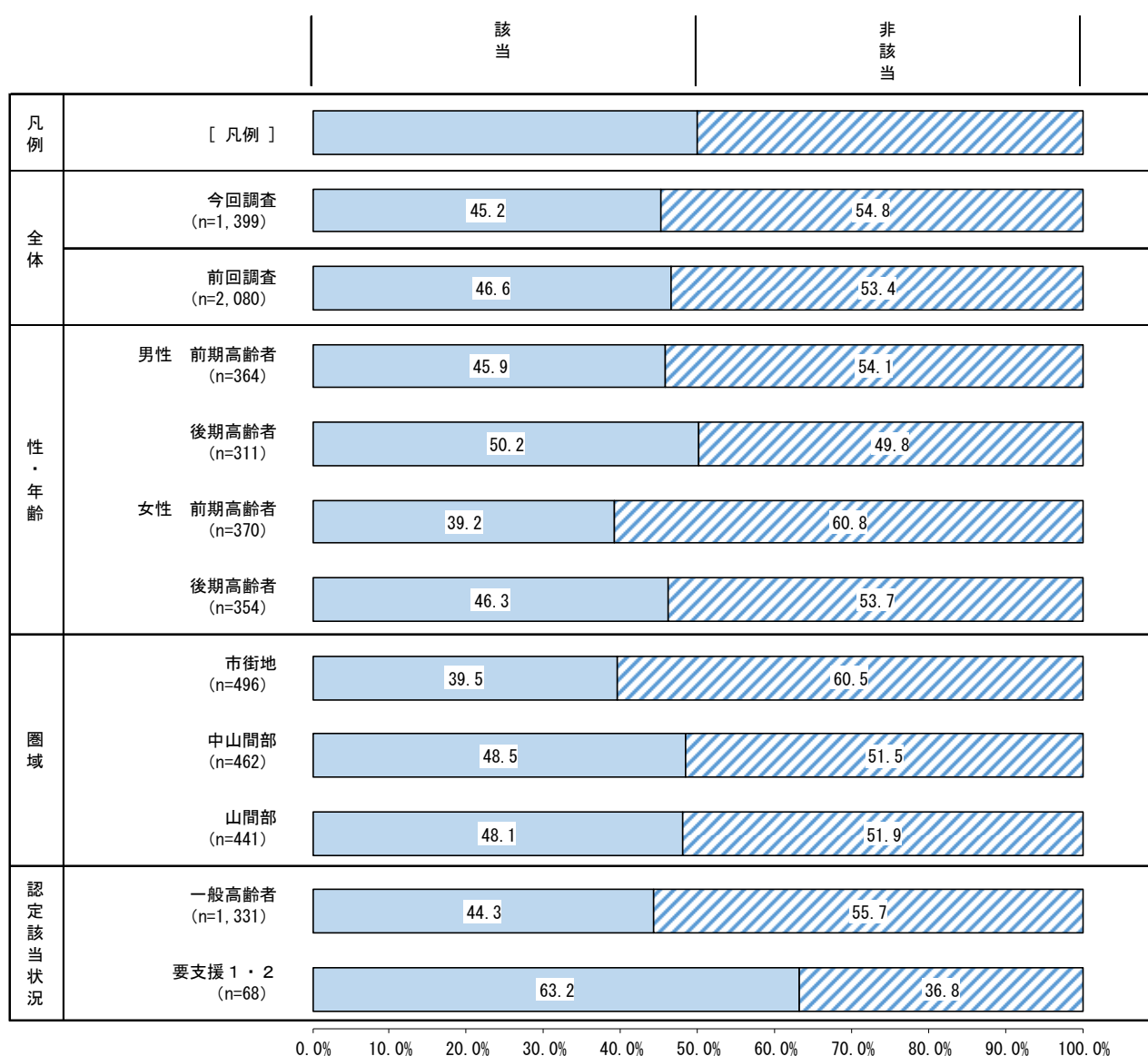
● 認知機能の低下リスク（判定）

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問 4 (1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

<p>【全体】 ○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が 45.2%、「非該当」が 54.8%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【圏域】 ○ 市街地では「非該当」が 60.5%と多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 「該当」は一般高齢者では約 4 割、要支援 1・2 では 6 割以上となっています。</p>
--

【認知機能の低下リスク】



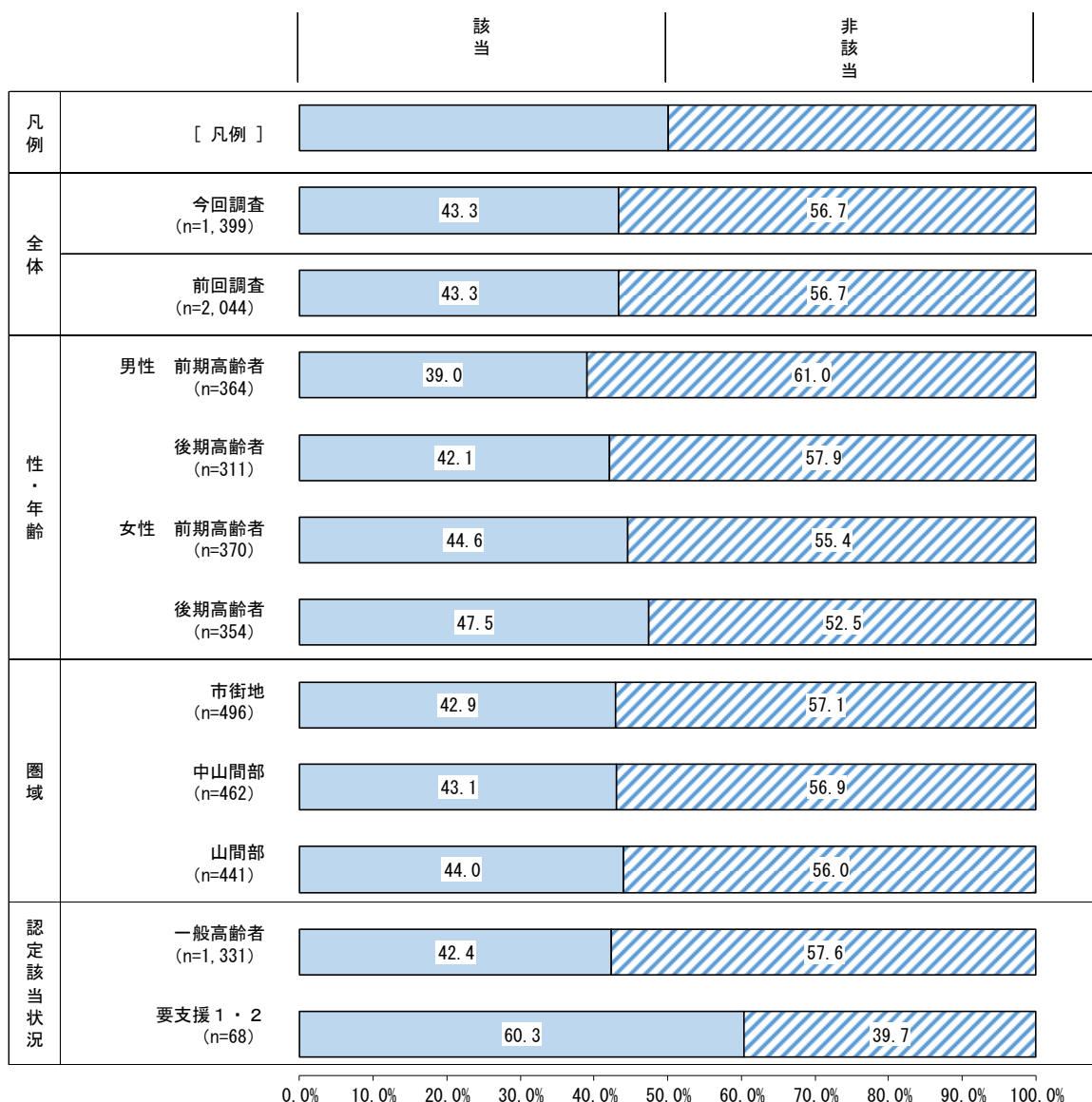
● うつのリスク（判定）

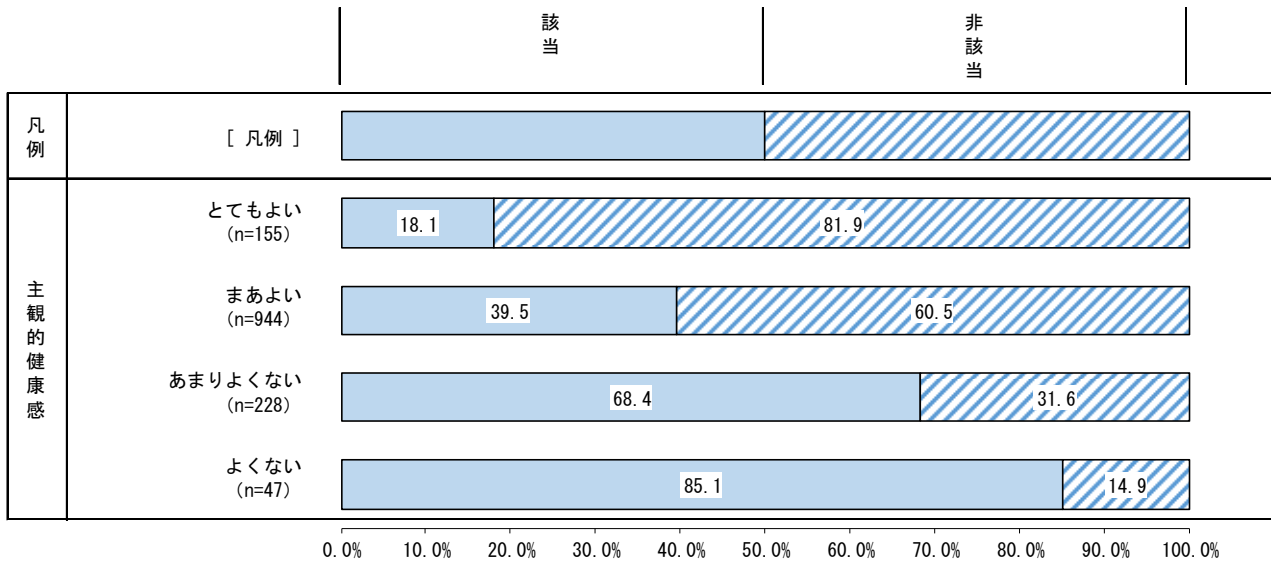
以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問番号	設問内容	該当する選択肢
問7(4)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7(5)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【全体】
 ○ うつのリスクについて、「該当」が43.3%、「非該当」が56.7%となっています。
【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
 ○ 女性 後期高齢者では「該当」が47.5%と多くなっています。
【認定該当状況】
 ○ 「該当」は一般高齢者では約4割、要支援1・2では6割以上となっています。
【主観的健康感】
 ○ 主観的健康感がよくないでは「該当」が85.1%と多くなっています。

【うつのリスク】





(3) 日常生活評価

●手段的自立度 (IADL)

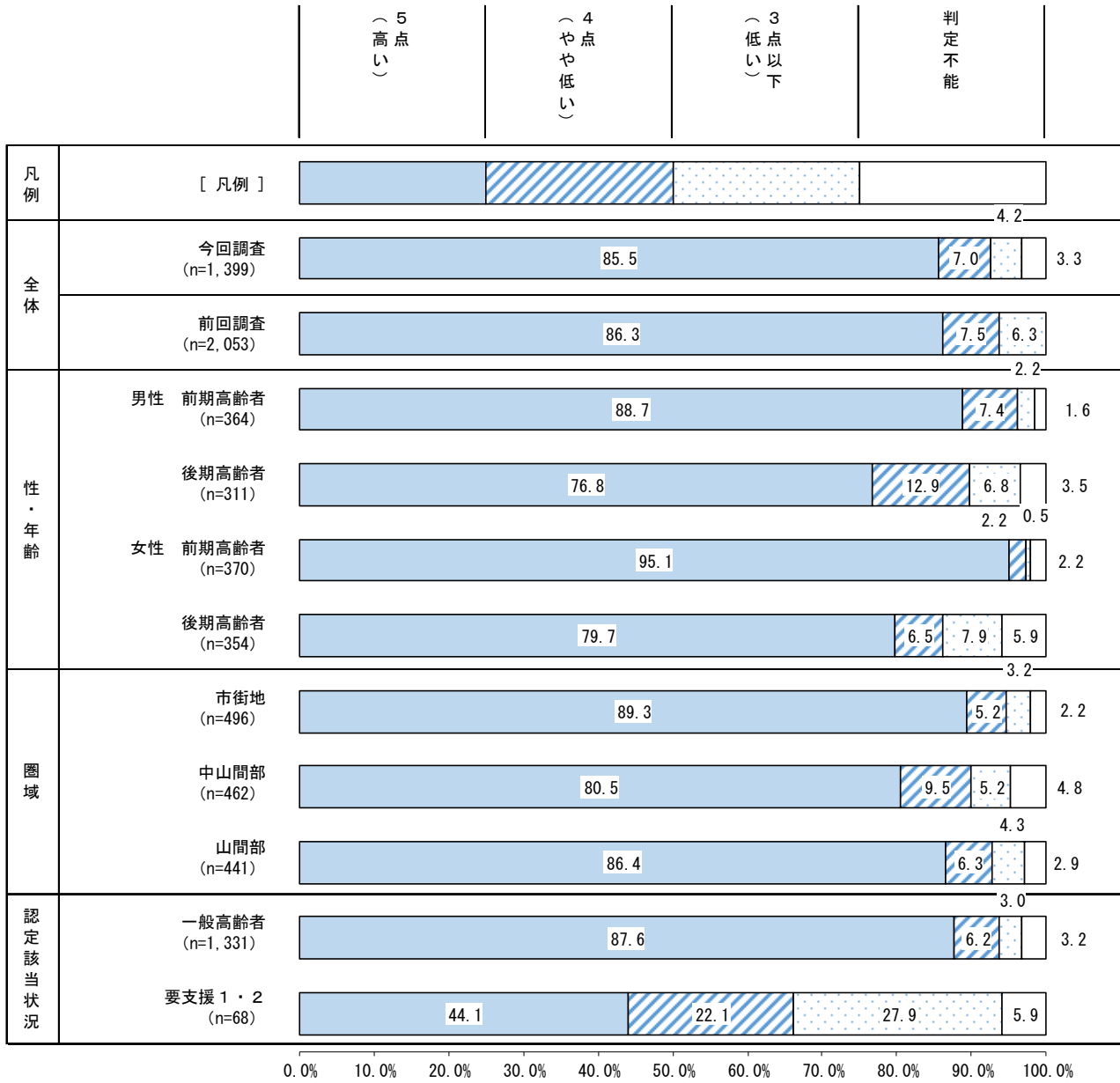
日常生活の基本的な動作の中でも、より高度な運動や記憶力を必要とされる動作について、どれだけ独力でできるかを図るための指標となります。

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問番号	設問内容	選択肢	配点
問4 (5)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	できるし、している / できるけどしていない	1点
問4 (6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している / できるけどしていない	1点
問4 (7)	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している / できるけどしていない	1点
問4 (8)	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している / できるけどしていない	1点
問4 (9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している / できるけどしていない	1点

<p>【全体】</p> <p>○ IADL について、「5点 (高い)」が 85.5%で最も多く、次いで「4点 (やや低い)」が 7.0%、「3点以下 (低い)」が 4.2%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「5点 (高い)」が多くなっています。</p> <p>○ 女性 前期高齢者では「5点 (高い)」が 95.1%と多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「5点 (高い)」は中山間部が 80.5%と少なくなっています。</p>
--

【IADL】



(3) 社会参加評価

●知的能動性

老研式活動能力指標の1つで、創作や余暇を楽しむなどの知的活動を行う能力に関する設問。

以下の設問を4点満点で判定し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価。

設問番号	設問内容	該当する 選択肢	配点
問4(10)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい	1点
問4(11)	新聞を読んでいますか	1. はい	1点
問4(12)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい	1点
問4(13)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	1点

【全体】

- 知的能動性について、「4点（高い）」が55.8%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が25.7%、「2点以下（低い）」が16.4%となっています。
- 前回調査と比べて、「4点（高い）」が少なくなっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「4点（高い）」が多くなっています。
- 「2点以下（低い）」は男性 前期高齢者が22.0%と多くなっています。

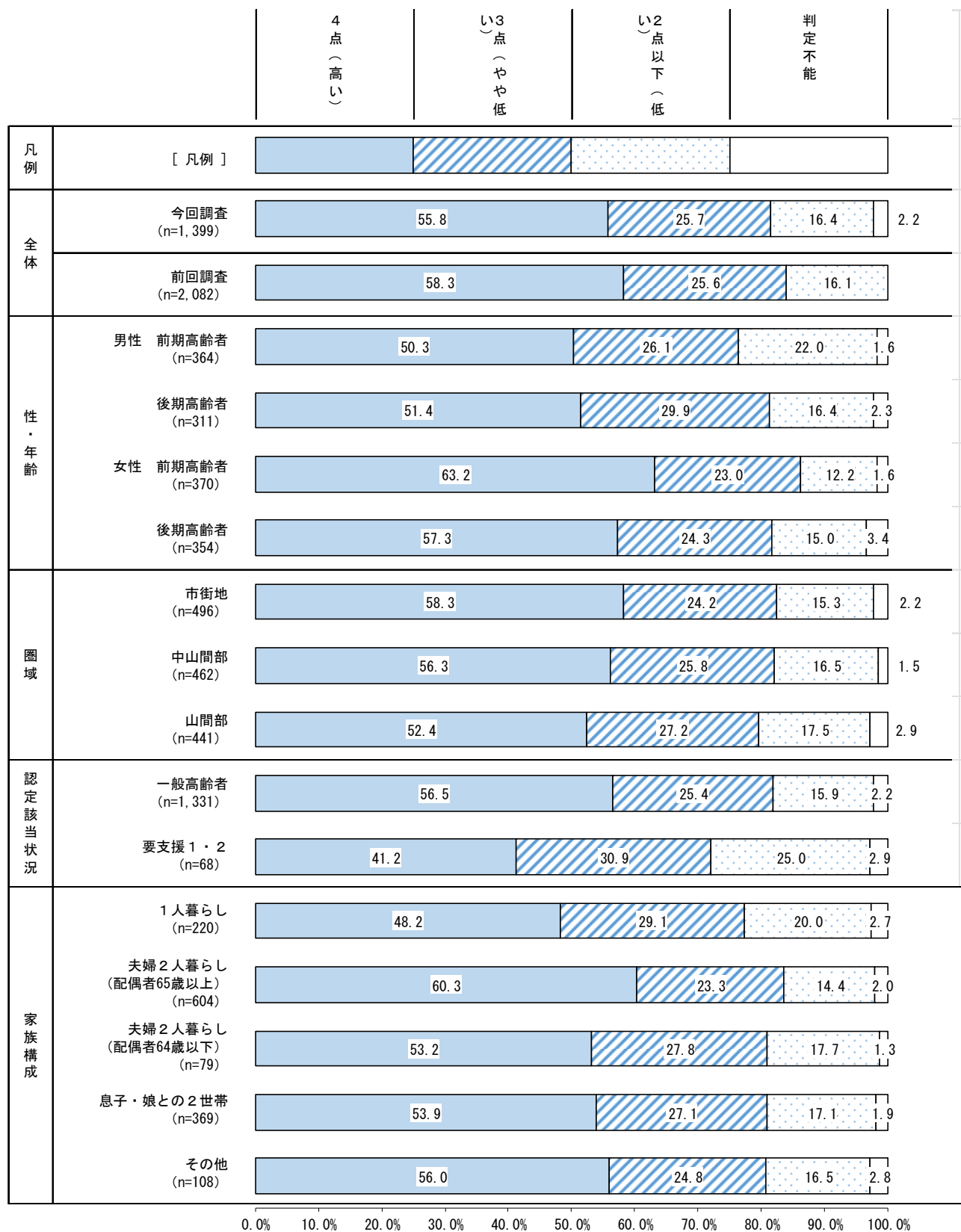
【圏域】

- 「4点（高い）」は市街地が58.3%と多くなっています。一方、「2点以下（低い）」は山間部が17.5%と多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは「4点（高い）」が48.2%と少なく、「2点以下（低い）」が20.0%と多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では「4点（高い）」が60.3%と多く、「2点以下（低い）」が14.4%と少なくなっています。

【知的能動性】



●社会的役割

老研式活動能力指標の1つで、地域で社会的な役割を果たす能力に関する設問。

以下の設問を4点満点で判定し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価。

設問番号	設問内容	該当する 選択肢	配点
問4(16)	友人の家を訪ねていますか	1. はい	1点
問4(17)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	1点
問4(18)	病人を見舞うことができますか	1. はい	1点
問4(19)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい	1点

【全体】

- 社会的役割について、「4点（高い）」が40.4%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が29.7%、「2点以下（低い）」が25.9%となっています。
- 前回調査と比べて、「4点（高い）」が少なくなっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「4点（高い）」が多くなっています。一方、男性では、「2点以下（低い）」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「2点以下（低い）」が多くなっています。

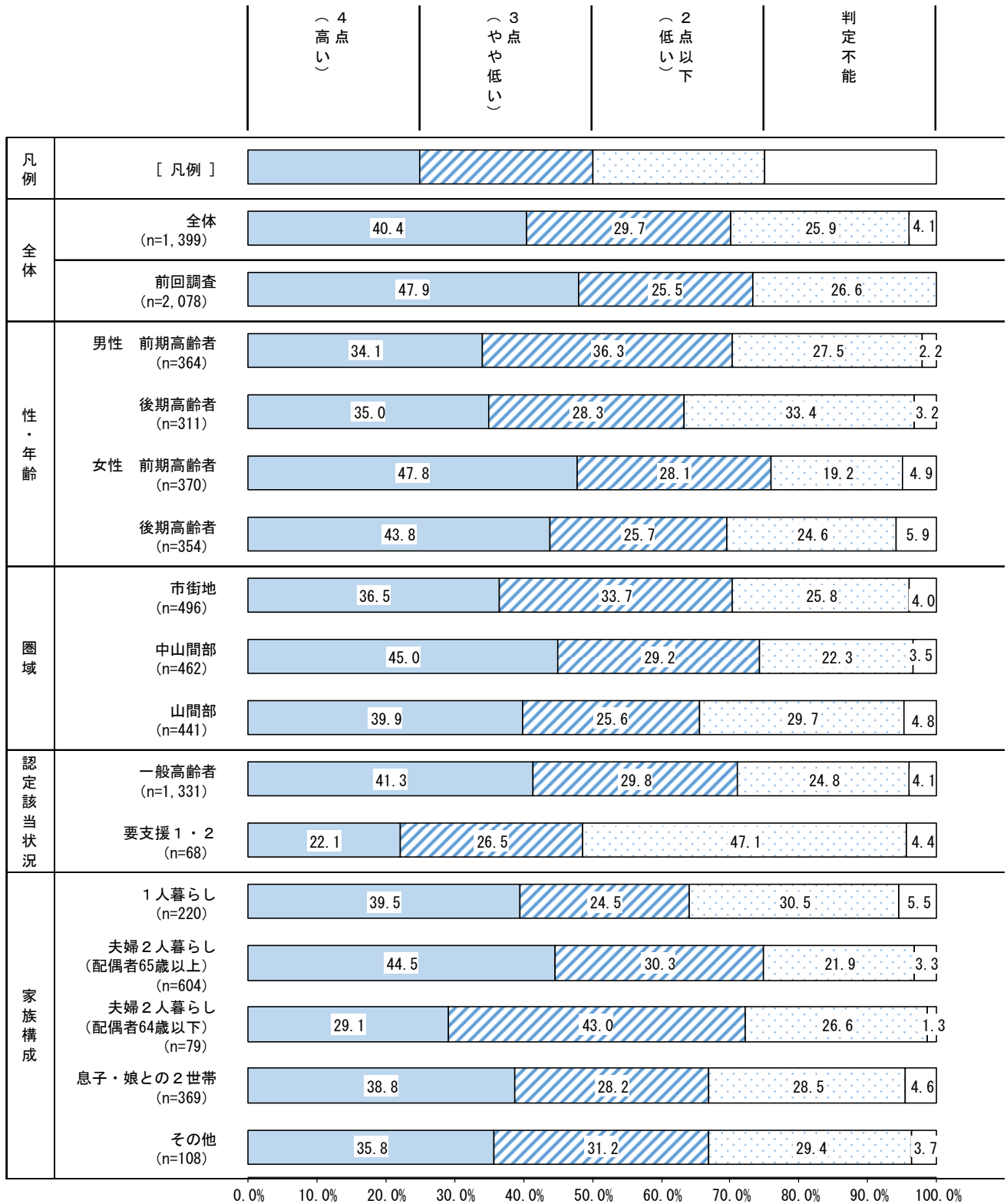
【圏域】

- 「4点（高い）」は中山間部が45.0%と多くなっています。一方、「2点以下（低い）」は山間部が29.7%と多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは「4点（高い）」が39.5%と少なく、「2点以下（低い）」が30.5%と多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では「4点（高い）」が44.5%と多く、「2点以下（低い）」が21.9%と少なくなっています。

【社会的役割】



●たすけあいの合計点

以下の設問に「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」「その他」のいずれかと回答した場合を1点として、4点満点で評価。

設問番号	設問内容	配点
問6(1)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1点
問6(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1点
問6(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1点
問6(4)	反対に、看病や世話をしてあげる人	1点

<p>【全体】</p> <p>○ たすけあいの合計点について、「4点」が81.8%で最も多く、次いで「3点」が10.1%、「2点」が4.5%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「4点」が多くなっています。</p> <p>○ 「0点」は男性 前期高齢者が2.7%と多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「4点」は市街地が84.3%と多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 「4点」は一般高齢者では約8割、要支援1・2では6割となっています。</p>

【たすけあいの合計点】

